

National Institute of Technology(KOSEN), Fukushima College

独立行政法人国立高等専門学校機構



福島工業高等専門学校要覧

2025

機械システム工学科 / 電気電子システム工学科 / 化学・バイオ工学科 / 都市システム工学科 / ビジネスコミュニケーション学科

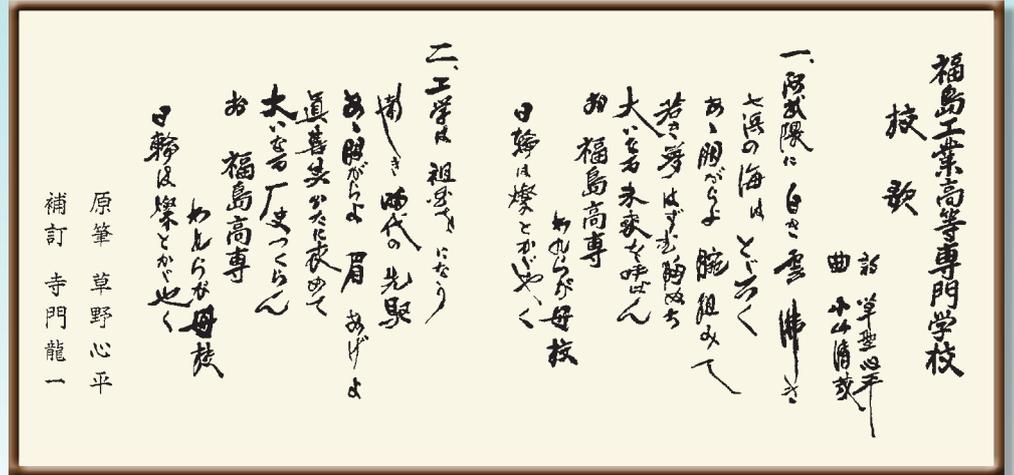
専攻科：産業技術システム工学専攻 / ビジネスコミュニケーション学専攻

目次	Contents
教育理念 学習・教育目標 ポリシー等	2 Educational Philosophy, Educational Goals, Admission Policies
沿革	6 School History
歴代校長	7 Former Presidents
名誉教授	7 Professors Emeritus
組織	8 Organization
教職員数	8 Number of Staff
役職員	8 Executive Officials
組織図	9 Organizational Diagram
委員会等	9 Committees
学科紹介	10 Departments and Program
一般教科	10 Department of General Education
機械システム工学科	12 Department of Mechanical System Engineering
電気電子システム工学科	14 Department of Electrical and Electronic System Engineering
化学・バイオ工学科	16 Department of Applied Chemistry and Biochemistry
都市システム工学科	18 Department of Civil and Environmental Engineering
ビジネスコミュニケーション学科	20 Department of Business Communication
教育課程	22 Curricula
専攻科紹介	29 Programs for Advanced Courses
産業技術システム工学専攻	31 Industrial Technology System Engineering Course
ビジネスコミュニケーション学専攻	35 Business Communicology Course
サステナブルイノベーションセンター	37 Sustainable Innovation Center
国際化・SDGs推進センター	37 Center for International Relations and SDGs Promotion
情報処理教育センター	38 Information Processing Education Center
地域環境テクノセンター	38 Center for Environmental Technology and Community Liaison (CETCL)
モノづくり教育研究支援センター	38 Manufacturing Support Center for Education and Research
廃炉・原子力規制等に関する人材育成の取組	39 Initiatives for human resource development related to decommissioning and nuclear regulation
福島イノベーション・コースト構想への対応	40 Contribution to the Fukushima Innovation Coast Framework
国際交流活動の推進	41 Promotion of international exchange activities
持続可能な社会(SDGs)の発展に向けた取組	42 Initiatives for the development of a Sustainable Society (SDGs)
カーボンニュートラル社会連携共同講座	43 Carbon-Neutral Social Cooperation Lecture
高等専門学校等スタートアップ教育環境整備事業	44 KOSEN Start-up Project
図書館	45 Library
学生学習支援センター	46 Student Learning Support Center
学生保健センター	46 Student Health Care Center
福利厚生施設「磐陽会館」	46 Ban'yo Student Hall and Health Center
学寮「磐陽寮」	47 Ban'yo Student Dormitory
学生	48 Student Body
学生定員及び現員	48 The Number of Students
出身地別学生数	48 The Number of Students by Home District
入学志願者状況	49 The Number of Applicants for Admission
奨学生数	49 The Number of Scholarship Students
卒業生の進路	50 Career Path of the Graduates, Class of 2023
就職者の産業別分野	50 Employment by Industry
大学等編入学状況	51 Students Continuing Education at National, Public, and Private Universities
専攻科修了生の進路	52 Place of employment / Graduate school :Advanced Course graduates
収入支出決算額	53 Finances
科学研究費助成事業及び外部資金の受入状況	53 Grant-in-Aid for Scientific Research and Acceptance of External Funds
土地・建物	53 School Grounds, Buildings and Facilities
建物配置図	55 Campus Map





校長
岡本 任弘



— スローガン —

持続可能な社会発展を目指し、グローバルに活躍する次世代技術者を育成する



教育 理念

1. 広く豊かな教養と人間力の育成
2. 科学技術の基礎的素養と創造性及び実践性の育成
3. 固有の才能の展開と国際的な視野及びコミュニケーション能力の育成

学習・教育目標

- (A) 地球的視野から人や社会や環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できる能力を養うために、倫理・教養を身につける。
- (B) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を身につける。
- (C) 工学系科目ービジネス系科目の協働（シナジー）効果により、複眼的な視野を持って自ら工夫して新しい産業技術を創造できる能力を身につける。
- (D) イノベーションに即応するために、情報収集や自己学習を通して常に自己を啓発し、問題解決のみならず課題探究する能力を身につける。
- (E) モノづくりやシステムデザイン能力を養うことにより、創造的実践力を身につける。
- (F) 情報技術を活用して、グローバルなコミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を身につける。

福島高専ディプロマポリシー（卒業・修了認定方針）

本校では、以下の「養成する人材像」に示す人材を育成する教育内容を学習し、「卒業時・修了時に身につけるべき資質能力」を身に付け、所定の単位を修得し、卒業・修了要件を満たした学生に対して卒業・修了を認定します。

○養成する人材像

<準学士課程（本科）、専攻科課程>

●工学系学科と専攻

- ①十分な基礎学力の上に専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できるエンジニア
- ②イノベーションに即応するために、問題解決のみならず課題探究できるエンジニア
- ③モノづくりと環境保全の調和に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できるエンジニア
- ④グローバルなコミュニケーション能力を備え、ビジネス系の知識も獲得した実践的エンジニア

●ビジネス系学科と専攻

- ①自己実現ができるビジネス・スペシャリスト
- ②グローバルなコミュニケーション能力を有するビジネス・スペシャリスト
- ③論理的思考に優れたビジネス・スペシャリスト
- ④長期的な視野をもち、持続可能な社会の実現に貢献するビジネス・スペシャリスト

準学士課程(本科)の各学科で養成する人材像

学 科	養成する人材像
機械システム工学科	機械工学の専門知識を持って他分野の技術も取り入れることで、高度化するシステムに対処し、常に発展する新しいモノづくりを担うことができる機械技術者を育成する
電気電子システム工学科	電気・電子・情報の技術を応用することでシステムを構築し、産業界の多様な問題を解決できるクリエイティブな技術者を育成する
化学・バイオ工学科	持続可能な社会を実現するために、物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、生物化学、化学工学などの専門分野の基礎知識を身につけ、化学製品、材料、食品など物質生産の分野において幅広く活躍できる化学技術者を育成する
都市システム工学科	持続可能な建設技術を基礎に、社会基盤施設の維持・管理分野や自然災害に対する防災・減災分野で活躍できるシビルエンジニアを育成する
ビジネスコミュニケーション学科	社会に対して広く関心を持ち、進展するグローバル化に対応できるリテラシー（語学や情報など）を身につけるとともに、環境問題に配慮し持続可能な社会に貢献できる人材を育成する

専攻科課程の各専攻で養成する人材像

産業技術システム工学専攻

本科の機械システム工学科、電気電子システム工学科、化学・バイオ工学科、都市システム工学科のそれぞれの専門分野の基礎学力を充実させ、その応用性や専門性を深める。また復興人材育成特別プログラムにより地域復興に活躍できる人材を育成する。本専攻は次の4つのコースから成る。

コ ー ス	養成する人材像
生産・情報システム工学コース	機械系・電気系の材料工学分野及び機械加工系、電子・情報工学系を融合した教育・研究を行う。機械設計関連、システム制御関連、電子物性関連及び情報関連分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び生産・情報分野で活躍できる人材を育成する。 このコースの教育研究は復興人材育成特別プログラムのロボット技術、メカトロニクス、防災通信等と密接に関係しており、これらの分野で地域の復興に活躍できる人材も育成する。
エネルギーシステム工学コース	機械系・電気系のエネルギー関連分野の教育・研究を行う。エネルギー分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び、機械・電気関連のエネルギー分野で活躍できる人材を育成する。 このコースの教育研究は復興人材育成特別プログラムの再生可能エネルギー分野、原子力安全工学分野にも密接に関係しており、エネルギー関連産業で活躍できる人材も育成する。
化学・バイオ工学コース	応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の教育・研究を行う。化学・バイオ工学科（準学士課程）専門分野の基礎学力をさらに充実させたいうで、その専門性を高める。さらに、現代の応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野における先端技術やその動向に柔軟に対応できる人材を育成する。 このコースの教育研究は、復興人材育成特別プログラムの放射線計測関連分野に関係しており、廃炉技術の重要な一分野である放射線及び放射性物質の取扱いの分野で活躍できる人材も育成する。
社会環境システム工学コース	建設・環境系の教育・研究を行う。土木工学と環境工学に関する専門知識を修得し、さらに関連科目の履修を通して複眼的視野を深める。これらを通して日々進化する先端技術に柔軟に対応しつつ、環境に配慮することのできる建設技術を身につけた人材を育成する。 このコースの教育研究は、復興人材育成特別プログラムの減災工学分野に関係しており、まちを災害から守る技術分野や災害復興に取り組む分野で活躍できる人材も育成する。

ビジネスコミュニケーション学専攻

準学士課程のビジネスコミュニケーション学科の専門的な基礎学力を充実させ、その応用性や専門性を深めることで、地域社会の発展に貢献するとともに、グローバルに活躍できる人材を育成する。本専攻は次の1つのコースから成る。

コ ー ス	養成する人材像
ビジネスコミュニケーション学コース	準学士課程のビジネスコミュニケーション学科で習得した社会学系知識の応用力を育み、さらに専門性を深める科目を履修する。くわえて、工学系とビジネス系のシナジー効果を期待できる科目を履修することにより、工学の基礎知識と国際社会で通用するビジネスコミュニケーション能力を併せ持つ人材を育成する。 このコースの教育研究は復興人材育成特別プログラムの各分野に関係しており、社会の持続可能性に配慮しながら地域社会の発展に貢献するとともに、たしかなコミュニケーション能力と国際感覚をもち、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍できる人材も育成する。

卒業時(修了時)に身に付けるべき学力や資質・能力

準学士課程 (本科)

1. 豊かな教養と国際的な感覚を有し、継続的な自己学習ができる人間性
2. 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力
3. モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力
4. 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力
5. 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献できる能力

専攻科課程

1. 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力
2. 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力
3. モノづくりやデザイン能力を有し、工学系科目ービジネス系科目の協働（シナジー）効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力
4. 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力
5. 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力

福島高専アドミッションポリシー（入学者受入方針）

アドミッションポリシー（入学者受入方針）は、本校の学習・教育目標を達成できる能力を持った人を入学させるための方針で、次のように定められています。

準学士課程（本科）

求める学生像

●全学科

1. 基礎的学習内容を十分に理解し、自ら学ぼうとする人（知識・技能）
2. 自ら目標を立て、達成に向けて粘り強く努力する人（思考力・判断力・表現力）
3. あらゆる物事に興味を持ち、深く探究する人（思考力・判断力・表現力）
4. 創造的な「モノづくり」に強い興味を持っている人（主体性・協働）
5. しっかりしたモラルを持ち、まわりの人たちを尊重する人（主体性・協働）

●機械システム工学科

- ① ロボット技術や機械の仕組みに興味があり、アイデアを形にしたい人
- ② 環境にやさしいエネルギー技術に関心のある人
- ③ モノづくりの知識と技術を身に付けて、将来、地域の発展に貢献したい人

●電気電子システム工学科

- ① ロボット制御技術、エネルギー技術、情報通信技術に興味があり、将来、その技術者として社会に貢献したい人
- ② 電気回路やコンピュータ、センサなどを駆使して、様々なシステムをつくりあげたい人
- ③ 電気・電子・情報について学んだ知識を応用して、自分のアイデアを形にしたい人
- ④ 電気電子技術をベースとして、農林水産業、サービス業など様々な業種に関心を持ち、これらの産業を活性化したいと考えている人

●化学・バイオ工学科

- ① 化学やバイオテクノロジーの知識と技術を身につけて、将来、その技術者として地域・社会に貢献したい人
- ② 地球に優しい化学技術や新素材をつくり、環境問題の解決、持続可能な社会の構築を目指したい人
- ③ 学んだ化学バイオ技術を、農林水産資源の生産・管理や有効活用に関与したいと考える人

●都市システム工学科

- ① 自然環境と調和した建設技術に興味を持っている人
- ② 道路・橋・港など建設構造物の維持管理に興味を持っている人
- ③ 災害に負けない安全なまちづくりに貢献したい人

●ビジネスコミュニケーション学科

- ① 社会・経済のしくみや動きに広く関心のある人
- ② 外国語によるコミュニケーション能力を高めて、グローバルに活躍したい人
- ③ 情報リテラシーを身につけて、高度情報化社会で活躍したい人
- ④ 地球環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献したい人

入学者選抜の基本方針

福島高専では以下の点を重視して、入学者の選抜を行います。

1. 中学校で学習する国語・社会・数学・理科・英語の学習内容を十分に理解していることを学力検査で評価します。
2. 中学校での成績評価が良好なことを調査書および推薦書で評価します。
3. 課題達成型推薦入試においては、モノづくりや課外活動などの課題に取り組み、顕著な結果を残していることを活動報告書で評価します。

専攻科課程

求める学生像

●全専攻

1. 専門の知識と基礎技術を有し、より高度な実践的かつ創造的技術を修得する意欲のある人（知識・技能）
2. 工学と経営の融合した分野に強い興味を持っている人（思考力・判断力・表現力）
3. 職業人としての倫理観を身につけ、専門分野で地域及び社会の発展に貢献したい人（主体性・協働）

●産業技術システム工学専攻

<生産・情報システム工学コース>

- ① 機械・電気の専門的な基礎力を有し、機械・情報を活用した創造的なモノづくりに興味を持っている人
- ② 生産・情報分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

<エネルギーシステム工学コース>

- ① 機械・電気の専門的な基礎力を有し、エネルギー分野に興味を持っている人
- ② エネルギー分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

<化学・バイオ工学コース>

- ① 応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の学修と研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応できる知識とスキルを修得したい人
- ② 工学を修める者としての確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

<社会環境システム工学コース>

- ① 建設・環境工学の研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応する知識とスキルを修得したい人
- ② 確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

●ビジネスコミュニケーション学専攻

<ビジネスコミュニケーション学コース>

- ① 現代社会への幅広い関心を持ち、社会科学の研究と、語学や情報、環境問題などの関連分野の学習に打ち込む意欲を持っている人
- ② たしかなコミュニケーション能力と情報リテラシーを身につけ、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍する意欲のある人

入学者選抜の基本方針

高等専門学校卒業程度の、各専門で必要な基礎的素養（工学系では、数学、各専門分野の基礎的知識・能力、ビジネス系では経営学分野の基礎的知識・能力）を有していることを評価します。評価方法は、推薦による選抜では推薦書・調査書・志望調査書、学力試験による選抜では調査書・志望調査書・学力試験、社会人特別選抜では調査書・志望調査書および面接とします。

また、外国語による国際的コミュニケーション基礎能力を有していることを、英語の資格に関する証明書で評価します。

沿革

- 昭和37年4月 国立学校設置法の一部を改正する法律の施行により、平工業高等専門学校が設置され、機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科をもって発足した。
初代校長に、福島県教育長佐藤光が任命された。
開校式並びに第1回入学式を挙行し、121名に対し入学を許可した。
仮校舎（元県立平盲ろう学校・平市才榎小路20）で授業を開始した。
- 昭和38年3月 本校舎並びに寄宿舎の一部（第1期工事）が竣工した。
4月 現在地に移転した。
10月 初めて学生祭を開催した。
- 昭和39年3月 電気工学科実験棟・機械工学科実験棟並びに寄宿舎の一部（第2期工事）が竣工した。
5月 学校所在地の呼称を「磐陽台」と名付けた。同時に、寮は「磐陽寮」と命名した。
6月 校旗及び校歌を制定した。
9月 第1回東北地区工業高等専門学校体育大会を本校で開催した。
- 昭和40年3月 第一体育館新築工事が竣工した。
工業化学科実験棟・機械工学科実験棟並びに寄宿舎の一部（第3期工事）が竣工した。
4月 事務部に庶務・会計の2課が設置された。
9月 水泳プール新設工事が竣工した。
10月 校舎落成記念式典と第1回高専祭を開催した。
陸上競技場（第一運動場）新設工事が竣工した。
- 昭和41年4月 土木工学科が設置された。
9月 武道場新築工事が竣工した。
10月 本校所在地の市名が市町村合併により「いわき市」と改称された。
- 昭和42年3月 土木工学科実験棟及び寄宿舎増築工事が竣工した。
3月 第1回卒業証書授与式を挙行し、109名に卒業証書を授与した。
6月 本校の名称を平工業高等専門学校から福島工業高等専門学校に改称した。
7月 第2種電気主任技術者認定学校の指定を受けた。
- 昭和44年4月 事務部に学生課が設置された。
9月 佐藤忠良氏制作の「青年の像」が建てられた。
- 昭和45年5月 テニスコート・野球場（第二運動場）新設工事が竣工した。
- 昭和47年5月 創立10周年記念式典を第一体育館において挙行した。
- 昭和48年3月 電子計算機室新築工事が竣工した。
- 昭和49年3月 「建学の碑」が建てられた。
- 昭和52年11月 創立15周年記念のつどいを第一体育館において挙行した。
- 昭和53年1月 第二体育館新築工事が竣工した。
4月 初代校長佐藤光が退任し、第二代校長に文部省管理局教育施設部長柏木健三郎が任命された。
- 昭和54年3月 環境科学教育センター新築工事が竣工した。
8月 初めて公開講座（環境科学）を開催した。
- 昭和55年3月 一般教室増築工事が竣工した。
- 昭和56年3月 福利厚生施設「磐陽会館」新築工事が竣工した。
- 昭和57年6月 創立20周年記念式典を第一体育館において挙行した。
- 昭和59年4月 校長柏木健三郎が退任し、第三代校長に茨城大学教授武田二郎が任命された。
- 昭和62年4月 電子計算機室を情報処理教育センターに改名した。
校長武田二郎が退任し、第四代校長に茨城大学教授寺門龍一が任命された。
- 平成元年4月 創立30周年記念式典をいわき市市民会館で挙行した。
- 平成4年10月 コミュニケーション情報学科が設置された。
- 平成6年4月 土木工学科が建設環境工学科に改組された。
平成7年4月 コミュニケーション情報学科棟が竣工した。
平成8年3月 工業化学科が物質工学科に改組された。
4月 校長寺門龍一が退任し、第五代校長に茨城大学教授岩松幸雄が任命された。
- 平成9年4月 地域交流センターが設置された。
- 平成13年4月 低学年棟新築工事が竣工した。
11月 創立40周年記念式典を管理棟大会議室において挙行した。
- 平成15年4月 校長岩松幸雄が退任し、第六代校長に茨城大学教授安久正紘が任命された。
- 平成16年4月 独立行政法人国立高等専門学校機構が発足した。
専攻科が設置され、第1回専攻科入学式を挙行し、28名に対し、入学を許可した。
（機械・電気システム工学専攻、物質・環境システム工学専攻、ビジネスコミュニケーション学専攻の3専攻）
- 平成18年1月 専攻科棟新築工事が竣工した。
3月 第1回専攻科修了証書授与式を挙行し、26名に修了証書を授与した。
4月 地域交流センターと環境科学教育センターを統合し、地域環境テクノセンターを設置した。
- 平成19年4月 校長安久正紘が退任し、第七代校長に茨城大学教授奈良宏一が任命された。
事務部の3課を2課（総務課・学生課）に改組した。
11月 「母子想像」が経済産業省の「近代化産業遺産」に認定された。
- 平成20年3月 大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定を受けた。
- 平成21年4月 技術部をモノづくり教育研究支援センターに改組した。
- 平成22年2月 大学評価・学位授与機構による認定専攻科における教育の実施状況等の審査において「適」を受けた。
- 平成24年10月 創立50周年記念式典及び記念講演会をいわき芸術文化交流館アリオスにおいて、記念祝賀会をいわきワシントンホテル椿山荘において挙行した。
- 平成26年4月 校長奈良宏一が退任し、第八代校長に京都大学施設部長中村隆行が任命された。
- 平成27年4月 専攻科3専攻（機械・電気システム工学専攻、物質・環境システム工学専攻、ビジネスコミュニケーション学専攻）が2専攻（産業技術システム工学専攻、ビジネスコミュニケーション学専攻）5コースに改組された。
学生保健センターが設置された。
- 平成28年4月 コミュニケーション情報学科がビジネスコミュニケーション学に改組された。
- 平成29年4月 機械工学科が機械システム工学科、電気工学科が電気電子システム工学科、物質工学科が化学・バイオ工学科、建設環境工学科が都市システム工学科にそれぞれ改組された。
グローバル化推進センターが設置された。
- 平成30年4月 校長中村隆行が退任し、第九代校長に文部科学省大臣官房文教施設企画部長 山下治が任命された。
- 令和2年2月 図書館改修工事が竣工した。（昭和45年11月竣工）
- 令和3年12月 国際寮（曙寮）が竣工した。
- 令和4年3月 大学改革支援・学位授与機構が実施した高等専門学校機関別認証評価において大学評価基準に適合しているとの認定を受けた。
9月 若葉寮が竣工した。
11月 創立60周年記念式典及び記念講演会をいわき芸術文化交流館アリオスにおいて、記念祝賀会をいわきワシントンホテル椿山荘において挙行した。
- 令和5年4月 校長山下治が退任し、第十代校長に文部科学省研究振興局主任学術調査官 田口重憲が任命された。
- 令和6年3月 寄宿舎共用棟（食堂）が竣工した。
- 令和7年3月 第20回専攻科修了証書授与式及び第59回卒業証書授与式を挙行した。
4月 第64回入学式及び令和7年度編入学式並びに第22回専攻科入学式を挙行した。
校長田口重憲が退任し、第十一代校長に（独）日本学術振興会経営企画部長 岡本任弘が任命された。

School History

National Institute of Technology, Fukushima College was founded in April 1962, as **Taira National College of Technology**. The College originally comprised three faculties, the **Department of Mechanical Engineering**, the **Department of Electrical Engineering** and the **Department of Industrial chemistry**. The **Civil Engineering Department** was added in 1966, the same year in which the City of Iwaki was formed through the merger of several existing towns and cities. The name of the school was changed to its current form in the following year.

Although classes were initially held in temporary structures, various permanent building and facilities have been constructed as follows: The main administrative and classroom building in 1963, departmental laboratory buildings between 1964 and 1967, four dormitories between 1963 and 1965, an athletic track and field in 1965, a library in 1970, a **computer center** in 1973, the **Environmental Science Education and Research Center** in 1979, and the **Ban'yo Student Hall and Health Center** in 1981.

In 1969 the Statue of Youth(Seinen no Zo) by the famous sculptor **Churyo Sato** was erected in front of the main administration building as the symbol of the college.

A ceremony commemorating the 30th anniversary of the founding of the school was held in 1992, along with various other events.

In 1994 the range of educational fields offered by the college was broadened when the four existing engineering departments were joined by the **Communication and Information Science Department**.

In November 2002 A ceremony commemorating the 40th anniversary of the College's founding was held in the Conference Room of the Administration Building.

In April 2004 Inauguration of Institute of National Colleges of Technology, Japan

Establishment of Advanced Engineering Courses (Advanced Course in Mechanical and Electrical System Engineering, Advanced Course in Chemical and Environmental System Engineering, and Advanced Course in Business Communication)

In January 2006 Completion of the building for Advanced Courses. Certificates were allotted for the Advanced Course Graduates.

In May 2007 Our curriculum, called "General Engineering" was authorized as a JABEE certificated program.

In April 2009 "Technical Office" was reorganized into "Manufacturing Support Center for Education and Research".

In February 2010 Education in the Advanced Courses was accredited by National Institution for Academic Degree and University Evaluation.

In October 2012 Ceremonies for 50th anniversary of the founding of the school were held, along with various other events.

In November 2022 Ceremonies for 60th anniversary of the founding of the school were held, along with various other events.

In April 2023 Osamu Yamashita, the principal of the school, retired. Shigenori Taguchi was appointed as the 10th principal of the school.

In April 2025 Shigenori Taguchi, the principal of the school, retired. Takahiro Okamoto was appointed as the 11th principal of the school.

歴代校長

Former Presidents

佐藤 光 SATO Hikaru	昭和37年4月1日～ 昭和53年3月31日
柏木 健三郎 KASHIWAGI Kenzaburo	昭和53年4月1日～ 昭和59年3月31日
武田 二郎 TAKEDA Jiro	昭和59年4月1日～ 平成元年3月31日
寺門 龍一 TERAKADO Ryutichirō	平成元年4月1日～ 平成9年3月31日
岩松 幸雄 IWAMATSU Sachio	平成9年4月1日～ 平成15年3月31日
安久正紘 AGU Masahiro	平成15年4月1日～ 平成19年3月31日
奈良宏一 NARA Koichi	平成19年4月1日～ 平成26年3月31日
中村隆行 NAKAMURA Takayuki	平成26年4月1日～ 平成30年3月30日
山下 治 YAMASHITA Osamu	平成30年4月1日～ 令和5年3月31日
田口重憲 TAGUCHI Shigenori	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日
岡本任弘 OKAMOTO Takahiro	令和7年4月1日～

名誉教授

Professors Emeritus

金田 誠 KANEDA Makoto	平成4年4月1日	西山 公紀 NISHIYAMA Kiminori	平成25年4月1日
中山 淳一 NAKAYAMA Jun-ichi	平成7年4月1日	秋山 秀博 AKIYAMA Hidehiro	平成25年4月1日
小林 伸吉 KOBAYASHI Shinkichi	平成12年4月1日	奈良 宏一 NARA Koichi	平成26年4月1日
坂本 智 SAKAMOTO Satoru	平成13年4月1日	春日 健 KASUGA Takeshi	平成26年4月1日
山形 弘道 YAMAGATA Hiromichi	平成14年4月1日	根岸 嘉和 NEGISHI Yoshikazu	平成27年4月1日
岩松 幸雄 IWAMATSU Sachio	平成15年4月1日	山ノ内 正司 YAMANOUCHI Masaji	平成29年4月1日
日下部 剛資 KUSAKABE Takashi	平成15年4月1日	中村 隆行 NAKAMURA Takayuki	平成30年4月1日
渡辺 洋太郎 WATANABE Yotaro	平成16年4月1日	青柳 克弘 AOYAGI Katsuhiko	令和3年4月1日
官野 一彦 KANNŌ Kazuhiko	平成16年4月1日	大槻 正伸 OHTSUKI Masanobu	令和4年4月1日
大隈 信行 OKUMA Nobuyuki	平成18年4月1日	鈴木 三男 SUZUKI Mitsuo	令和4年4月1日
亀井 宣男 KAMEI Nobuo	平成19年4月1日	宮澤 泰彦 MIYAZAWA Yasuhiko	令和4年4月1日
橋本 孝一 HASHIMOTO Koichi	平成19年4月1日	石原 万里 ISHIHARA Mani	令和4年4月1日
渡辺 博 WATANABE Hiroshi	平成21年4月1日	山下 治 YAMASHITA Osamu	令和5年4月1日
山野 和一 YAMANO Kazuichi	平成22年4月1日	鈴木 晴彦 SUZUKI Haruhiko	令和5年4月1日
根本 信行 NEMOTO Nobuyuki	平成22年4月1日	原田 正光 HARADA Masamitsu	令和5年4月1日
井上 和人 INOUE Kazuto	平成22年4月1日	高野 克宏 TAKANO Katsuhiko	令和6年4月1日
佐東 信司 SATO Shinji	平成23年4月1日	田口 重憲 TAGUCHI Shigenori	令和7年4月1日
森川 治 MORIKAWA Osamu	平成23年4月1日	内田 修司 UCHIDA Shuji	令和7年4月1日
渡辺 敏夫 WATANABE Toshio	平成25年4月1日	芥川 一則 AKUTAGAWA Kazunori	令和7年4月1日
		笠井 哲 KASAI Akira	令和7年4月1日

シンボルツリー「けやき」 School Tree: Zelkova

組織

Organization

●教職員数 Number of Staff

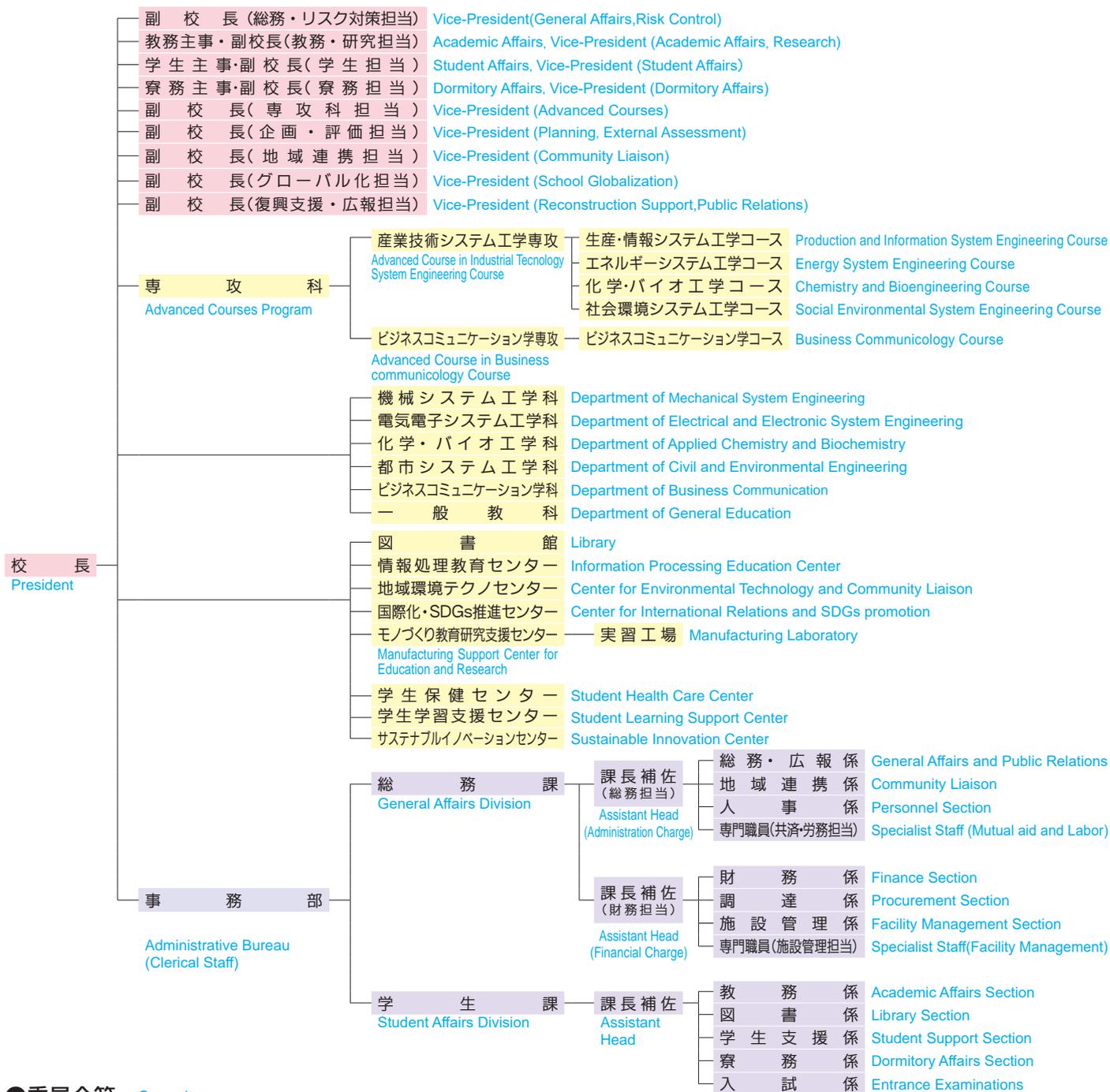
区分 Classification	教職員数 Number of Staff
校長 President	1
教授 Professor	26 (1)
准教授 Associate Professor	29 (3)
講師 Assistant Professor	5 (1)
助教 Research Associate	11 (1)
小計 Subtotal	72 (6)
事務系職員 Administrative Staff	43 (14)
計 Total	115 (20)

令和7年4月1日現在 As of April 1, 2025 ()内は女子数

●役職員 Executive Officials

校長 President	岡本任弘 OKAMOTO Takahiro		機械システム工学科長 Mechanical System Engineering	小出瑞康 KOIDE Mizuyasu
副校長(総務・リスク対策担当) Vice-President(General Affairs, Risk Control)	緑川猛彦 MIDORIKAWA Takehiko		電気電子システム工学科長 Electrical and Electronic Engineering	伊藤淳 ITO Atsushi
教務主事・副校長(教務・研究担当) Academic Affairs, Vice-President(Academic Affairs, Research)	齊藤充弘 SAITO Mitsuhiro	学科長	化学・バイオ工学科長 Applied Chemistry and Biochemistry	車田研一 KURUMADA Ken-ichi
学生主事・副校長(学生担当) Student Affairs, Vice-President(Student Affairs)	高橋宏宣 TAKAHASHI Hironobu	Head of Department	都市システム工学科長 Civil and Environmental Engineering	菊地卓郎 KIKUCHI Takuro
寮務主事・副校長(寮務担当) Dormitory Affairs, Vice-President(Dormitory Affairs)	赤尾尚洋 AKAO Takahiro		ビジネスコミュニケーション学科長 Business Communication	湯川崇 YUKAWA Takashi
副校長(専攻科担当) Vice-President(Advanced Courses)	小出瑞康 KOIDE Mizuyasu		一般教科長 General Education	吉村忠晴 YOSHIMURA Tadaharu
副校長(企画・評価担当) Vice-President(Planning, External Assessment)	植英規 UE Hidenori	図書館長 Haed of Library		吉村忠晴 YOSHIMURA Tadaharu
副校長(地域連携担当) Vice-President(Community Liaison)	菊地卓郎 KIKUCHI Takuro	情報処理教育センター長 Haed of Information Processing Education Center		植英規 UE Hidenori
副校長(グローバル化担当) Vice-President(School Globalization)	梅澤洋史 UMEZAWA Hirohito	地域環境テクノセンター長 Haed of Center for Environmental Technology Community Liaison		菊地卓郎 KIKUCHI Takuro
副校長(復興支援・広報担当) Vice-President(Reconstruction Support, Public Relations)	鈴木茂和 SUZUKI Shigekazu	国際化・SDGs推進センター長 Haed of Center for International Relations and SDGs promotion		梅澤洋史 UMEZAWA Hirohito
専攻科 Advanced Courses Program	専攻科長 Director of Advanced Courses Program	小出瑞康 KOIDE Mizuyasu	SDGs推進コーディネータ The SDGs Promotion Coordinator	橋本慎也 HASHIMOTO Shinya
	産業技術システム工学専攻長 Head of Advanced Course in Industrial Technology System Engineering Course	小出瑞康 KOIDE Mizuyasu	モノづくり教育研究支援センター長 Haed of Manufacturing Support for Education and Research	赤尾尚洋 AKAO Takahiro
	生産・情報システム工学コース長 Head of Production and information System Engineering Course	植英規 UE Hidenori	学生保健センター長 Head of Student Health Care Center	柴田公彦 SHIBATA Kimihiko
	エネルギーシステム工学コース長 Head of Energy System Engineering Course	鄭耀陽 ZHENG Yaoyang	学生学習支援センター長 Head of Student Learning Support Center	宮本拓歩 MIYAMOTO Takuho
	化学・バイオ工学コース長 Head of Chemistry and Bioengineering Course	押手茂克 OSHITE Shigekazu	サステナブルイノベーションセンター長 Head of Sustainable Innovation Center	緑川猛彦 MIDORIKAWA Takehiko
	社会環境システム工学コース長 Head of Social Environmental System Engineering Course	高荒智子 TAKAARA Tomoko	事務部長 Director of Administration Bureau	矢野耕一 YANO Koichi
	ビジネスコミュニケーション学専攻長 Head of Advanced Course in Business Communicology Course	湯川崇 YUKAWA Takashi	総務課長 Head of General Affairs	新里雄 SHINZATO Yu
	ビジネスコミュニケーション学コース長 Head of Business Communicology Course	湯川崇 YUKAWA Takashi	学生課長 Head of Student Affairs	玉田邦彦 TAMADA Kunihiko

●組織図 Organizational Diagram



●委員会等 Committees

企画委員会	General Planning Committee	知的財産委員会	Intellectual Property Committee
運営会議	Steering Committee	評価改善委員会	Inspection and Evaluation Committee
教員会議	Faculty Council	技術科学大学連携室	Network office of Universities of Technology
専攻科会議	Advanced Courses Program Council	サステナブルイノベーションセンター運営委員会	Sustainable Innovation Center Steering Committee
リスク管理室	Risk Management Committee	アクティブラーニング推進委員会	Active Learning Promotion Committee
男女共同参画・キャリア教育支援室	Gender Equality and Career Education Support Room	ハラスメント対策委員会	Harassment Prevention Committee
教務委員会	Academic Affairs Committee	総合評価審査委員会	General Evaluation Committee
学生委員会	Student Affairs Committee	TOEIC実施委員会	TOEIC Committee
寮務委員会	Dormitory Affairs Committee	障害学生支援委員会	Disabled Student Support Committee
入学試験委員会	Entrance Examination Committee	動物実験委員会	Animal Research Committee
専攻科委員会	Advanced Courses Committee	研究推進ワーキンググループ	Promote Reserch Working Group
広報委員会	Public Relations Committee	図書運営委員会	Library Administration Board
安全衛生委員会	Safety and Health Committee	情報処理教育センター運営委員会	Information Processing Education Center Administration Board
組換えDNA実験安全委員会	DNA Experiment Safety Committee	地域環境テクノセンター運営委員会	CETCL Steering Committee
人を対象とする研究倫理委員会	Research Ethics Committee for Human Subjects	国際化・SDGs推進センター運営委員会	Center for International Relations and SDGs promotion Committee
FD委員会	Faculty Development Committee	モノづくり教育研究支援センター運営委員会	Manufacturing Support Center for Education and Research Steering Committee
情報セキュリティ管理委員会	Information Security Management Committee	学生保健センター運営委員会	Student Health Care Center Committee
情報セキュリティ推進委員会	Information Security Promotion Committee	学生学習支援センター運営委員会	Student Learning Support Center Committee

一般教科

Department of General Education



数学 Mathematics



法学基礎 Introduction to Law

一般教科の教育は、社会人・職業人として必要な教養と、専門の理論・技術の習得に必要な基礎能力とを養うことを目的としています。

そのため、教育課程は専門科目と有機的な関連を持たせ、また科目全般を通じて、学問のあり方・方法を体得させることを重視しています。

さらに教育内容の密度と効率とを高めるために、人文・社会系科目では視聴覚教材を、自然科学科目では実験設備を、それぞれ活用しています。

The General Education Course helps students acquire the general knowledge to be required as well-qualified engineers along with the fundamental skills needed for their particular technological majors. The curriculum is designed to enable students to master methodology in a manner organically related to their technical education.

Various measures are utilized to enhance classes and increase their efficiency, such as the use of audio-visual aids in the humanities and social sciences, experiments ; and laboratory practicals in the sciences.

主な実験・実習の設備

Major Experimental and Practical Facilities

- 水の表面張力測定器
Measurement Apparatus for Surface Tension of Water
- ヤング率の測定器
Measurement Apparatus for Young's Modulus
- 金属の比熱測定器
Measurement Apparatus for Specific Heat of Metals
- 金属の線膨張率測定器
Measurement Apparatus for Linear Expansion Coefficient of Metals
- 分光器
Spectroscope
- 干渉による光の波長測定器
Measurement Apparatus for Light Wavelength by Interference
- 電子の比電荷測定器
Measurement Apparatus for Specific Charge of Electron
- 半導体のホール効果測定器
Measurement Apparatus for Hall Effect of Semiconductors
- フランク・ヘルツ実験器
Apparatus for Franck-Hertz Experiment
- 放射線測定器 (GM 管)
Measurement Apparatus for Radiation (GM Tube)

●教 員 Academic Faculty

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目 Main Subjects Taught	専攻科担当 Advanced courses	備考
教授 Professor	吉村 忠晴 (理学修士) YOSHIMURA Tadaharu (M.Sc.)	経済学 Economics		学 科 長 図 書 館 長
	根本 昌樹 NEMOTO Masaki	保健・体育 Health and Physical Education		
	西浦 孝治 (博士(理学)) NISHIURA Koji (D.Sc.)	数学 (専)応用解析学 Mathematics Applied Analytics	●	
	川崎 俊郎 (修士(文学)) KAWASAKI Toshio (M.A.)	産業経済史 History of Industry and Economy		
	高橋 宏宣 (博士(文学)) TAKAHASHI Hironobu (Ph.D.)	国語 Japanese	●	学 生 主 事 副 校 長 (学生担当)
	野澤 宏大 (博士(理学)) NOZAWA Hiromasa (D.Sc.)	物理 Physics		
	本田 崇洋 (修士(文学)) HONDA Takahiro (M.A.)	英語 (専)現代英語Ⅲ English Contemporary English III	●	
	小田 洋平 (博士(工学)) KOTA Yohei (D.Eng.)	物理 (専)力学総論 Physics Classical and Quantum Mechanics	●	
准教授 Associate Professor	布施 雅彦 (博士(学術)) FUSE Masahiko (Ph.D.)	情報基礎 Information Literacy		
	小倉 恵実 (修士(社会学)) OGURA Megumi (M.A.)	英語 English		
	大須賀 心綾 (修士(教育学)) OSUGA Shinryo (M.Ed.)	英語 (専)現代英語Ⅰ English Contemporary English	●	
	木次谷 聡 (修士(教育学)) KIJIYA Satoshi (M.Ed.)	保健・体育 Health and Physical Education		
	宮本 拓歩 (博士(情報科学)) MIYAMOTO Takuho (Ph.D.)	数学 Mathematics	●	学生学習支援 センター長
	廣瀬 大輔 (博士(理学)) HIROSE Daisuke (D.Sc.)	数学 Mathematics		
	飯田 毅士 (博士(理学)) IIDA Takeshi (D.Sc.)	数学 Mathematics		
	澤田 宰一 (博士(理学)) SAWADA Tadakazu (D.Sc.)	数学 Mathematics		
	田嶋 和明 (博士(理学)) TAJIMA Kazuaki (D.Sc.)	数学 Mathematics		
大岩 慎太郎 (博士(法学)) OHIWA Shintaro (Ph.D.)	法学 Law			
講師 Assistant Professor	伊藤 有子 (修士(教育学)) ITO Yuko (M.Ed.)	英語 English		
	郭 飛鴻 (修士(歴史学)) KUO Feihung (M.A.)	英語 (専)現代英語Ⅱ English Contemporary English II	●	
助教 Research Associate	田中 佑希 (博士(理学)) TANAKA Yuki (D.Sc.)	物理 Physics		
	Campbell Allen Martin (修士(英語学)) (M.A.)	英語 English		
	渡部 裕太 (博士(文学)) WATANABE Yuta (Ph.D.)	国語 (専)日本文化論 Japanese Japanese Cultural Review	●	
	端野 克哉 (博士(理学)) HASHINO Katsuya (D.Sc.)	物理 (専)力学総論 Physics Classical and Quantum Mechanics		
	照井 佳那子 (教職修士(専門職)) TERUI Kanako (M.E.)	国語 Japanese	●	
嘱託教授 Appointment Professor	高野 克宏 (文学修士) TAKANO Katsuhiko (M.A.)	国語 Japanese	●	福島高専名誉教授
	笠井 哲 (文学修士) KASAI Akira (M.A.)	技術者倫理 Engineering Ethics (専)SDGs探求 SDGs Exploration (専)科学技術史 History of Science and Technology	●	福島高専名誉教授
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	鯨岡 アリソン (修士(言語学)) KUJIRAOKA Allison (M.A.)	英会話 English Communication		
	小峰 啓史 (博士(工学)) KOMINE Takashi (D.Eng.)	物理 Physics		
	巖 千明 SHIMA Chiaki	日本語 Japanese		
	ジョン・ロインズ John Loynes	英会話 English Communication		
	高林 拓哉 TAKABAYASHI Takuya	体育 Physical Education		
	勅使河原 智子 (修士(文学)) TESHIGAWARA Tomoko (M.A.)	英語 English		
	トーマス・デービス Thomas Davis	英会話 English Communication		
	櫛田 さやか KUSHIDA Sayaka	美術 Fine Arts		
	原 真理子 HARA Mariko	英語 English		

機械システム工学科

Department of Mechanical System Engineering



機械システム工学科が期待する入学者像

The Department of Mechanical System Engineering welcomes students who:

①ロボット技術や機械の仕組みに興味があり、アイデアを形にしたい人

①have interests in mechanical engineering such as the robotics and the mechanisms, and intend to shape their own ideas.

②環境にやさしいエネルギー技術に関心のある人

②are interested in technologies for environment-friendly energies.

③モノづくりの知識と技術を身に付けて、将来、地域の発展に貢献したい人

③have a desire to acquire the expertise and technologies related to the manufacturing in order to contribute to the regional developments in future.



モノづくり実習 Manufacturing Practice

機械システム工学科は、機械工業はもちろん、一般産業を含めた広い分野において、科学技術の進展に対処できる機械技術者の育成をめざしています。

そのため、基礎学力の充実と各教科間の有機的な組合せによる効果的な学習をはかり、機械工業に関する諸問題を解決できる適応能力の養成につとめています。

また、設計、製作及び計測に関する機械工学の基礎的知識と技術を系統的発展的に習得させると共に、実習、実験、セミナー、卒業研究等のグループ学習を通じて創造的知見と行動力、責任感、協調性及び指導力の涵養につとめています。

The Department of Mechanical System Engineering aims to train students to become engineers who will be able to cope with the developments of science and technology in the various fields of industry.

The education programs in some fields are carried on by organizing faculty members in more than one division and provide technical backgrounds for work in practical problems.

Fundamental knowledge and skills in machine design, and manufacturing are acquired systematically.

Creativity, vitality, responsibility, cooperative spirit, and leadership are cultivated through small group studies such as Engineering Experiments, seminars in Mechanical Engineering, and Graduation Research.



電気自動車の分解・組み立て
Disassembly and assembly of electric vehicles

●教員 Academic Faculty

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目 Main Subjects Taught	専攻科担当 Advanced courses	備考	
教授 Professor	小出 瑞康 (博士(工学)) KOIDE Mizuyasu (D.Eng.)	創作実習 機械力学Ⅰ、Ⅱ (専)システムデザイン (専)エネルギー変換工学	Creative Manufacturing Practice Engineering Mechanics I, II System Design Energy Conversion Engineering	●	副校長(専攻科担当) 専攻科長 産業技術システム 工学専攻長 工学専攻科長
	高橋 章 (博士(工学)) TAKAHASHI Akira (D.Eng.)	伝熱工学 水力学	Heat Transfer Engineering Hydraulics	●	
	鄭 耀陽 (博士(工学)) ZHENG Yaoyang (D.Eng.)	機構学 制御工学 (専)応用メカトロニクス (専)制御システム工学	Mechanism Control Engineering Application Mechatronics Control System Engineering	●	産業技術システム 工学専攻 エネルギーシステム 工学コース長
	赤尾 尚洋 (博士(工学)) AKAO Takahiro (D.Eng.)	材料強度学 メカトロニクス	Strength and Fracture of Materials Mechatronics	●	寮務主事 副校長(寮務担当) モノづくり教育研 究支援センター長
	鈴木 茂和 (博士(工学)) SUZUKI Shigekazu (D.Eng.)	材料学 (専)応用塑性加工学	Materials Engineering Application Technology Plasticity	●	副校長 (復興支援・広報担当)
准教授 Associate Professor	松尾 忠利 (博士(工学)) MATSUO Tadatoshi (D.Eng.)	材料力学Ⅰ、Ⅱ 創作実習 (専)材料科学	Mechanics of Materials I, II Creative Manufacturing Practice Materials Science	●	
	篠木 政利 (博士(工学)) SHINOKI Masatoshi (D.Eng.)	熱力学 エネルギー工学 (専)熱流体工学	Thermodynamics Energy Engineering Flow and Heat Transfer Engineering	●	
	野田 幸矢 (博士(工学)) NODA Satsuya (D.Eng.)	設計製図Ⅰ 応用設計製図 (専)応用メカトロニクス (専)制御システム工学	Mechanical Design and Drawing I Applicational Mechanical Design and Drawing Application Mechatronics Control System Engineering	●	
助教 Research Associate	山口 直也 (博士(工学)) YAMAGUCHI Naoya (D.Eng.)	機械工作法Ⅱ 設計製図Ⅱ	Mechanical Technology II Mechanical Design and Drawing II		
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	青柳 克弘 (博士(工学)) AOYANAGI Katsuhiko (D.Eng.)	環境科学基礎	Introduction to Environmental Science		福島高専名誉教授
	稲穂 健市 (修士(工学)) INAHO Kenichi (M.Eng.)	知的財産権	Intellectual Property		
	歌川 史哲 (博士(理学)) UTAGAWA Fumiaki (D.Sc.)	環境科学基礎	Introduction to Environmental Science		
	小松 道男 (技術士) KOMATSU Michio (PE)	生産工学 (専)産業財産権	Production Engineering Industrial Property Studies	●	
	松本 匡以 (工学修士) MATSUMOTO Tadai (M.Eng.)	機械工作法Ⅰ CAD、CAM	Mechanical Technology I		

主な実験・実習の設備

Major Experimental and Practical Facilities

● ゴルフロボット (株)ミヤマエ SHOT ROBO V Golf Robot	● 油圧万能試験機 (Instron SATEC600DX) *
● 100KN インストロン試験機 (INSTRON社 4482) Instron Universal Testing Machine	● 3次元デジタルイザ (COMET L3D 2M) 3D digitizer
● CNC三次元座標測定器 (ミットヨCRYSTA-Apexs 574) CNC 3D-Profilometer	● ハイスピードカメラ (フォトン FASTCAM Mini) High speed Camera
● FFTアナライザ (A&D社AD3525) FFT Analyzer	● 疲労試験機 (Instron ELECTRO PLUS E10000) Fatigue Testing Machine
● シャルピー衝撃試験機 (INSTRON社 9050) *	● 分析走査電子顕微鏡 (日本電子 JSM-6010 PLUS/LA) *
● 3Dプリンタ (KEYENCE Agillista-3110) 3D-Printer	● マイクロスコープ (KEYENCE VHX-1000) *
● 3次元CAD (Solid Works) 3D-CAD	● マイクロビッカース硬さ試験機 (ミットヨ HM-200) *
● 各種ピストンエンジン (ホンダ) Reciprocating Internal Combustion Engines	● 放射線計測システム (キャンベラ 802-3×3、OSPREY-DTB) Radiation Measurement Systems
● レーザー加工機 (ユニバーサルレーザ Versa LASER VL3.50) LASER Processing Machine	
● エネルギー分散型X線分光分析装置 (JEOL JED-2140) Energy Dispersive X-ray Spectroscopy	

※ *のある設備は共用対象となっている研究設備・機器です。

電気電子システム工学科

Department of Electrical and Electronic System Engineering



科学技術の目ざましい発展の中で、電気・電子・情報技術者は非常に重要な役割を果たしており、産業界のさまざまな分野での活躍が期待されています。

電気電子システム工学科では、電気・電子・情報技術者として必要な基礎教科について履修します。カリキュラムは電力、電子、情報の3つを柱として編成されており、個々の学生が将来の進路に合わせて必要な科目を習得できるよう選択科目も設けています。また、電気電子工学実験にも多くの時間を配しており、創作実習、卒業研究を通してさらに高度な知識と技術を身につけることができます。

なお、本学科では、第3種及び第2種電気主任技術者の資格を取得する場合、申請に必要な履修科目を開講しています。

Electrical, electronics and information engineers have contributed greatly to the progress of science and technology in recent years. As a result, they are in great demand in a wide variety of industries. In this department, students study basic subjects essential to electrical, electronics and information engineers. The curriculum is arranged around three major fields of study : electric power systems, electronics, and information processing. Elective courses are offered to enable students to choose courses in line with their hopes for the future.

Many hours are allotted to experiments on electrical and electronic engineering, and students can obtain even higher levels of knowledge and skills through Creative Manufacturing Practice and Graduation Research.

The curriculum contains many of the subjects required for students to become qualified as 2nd Class Chief Electrical Engineers.

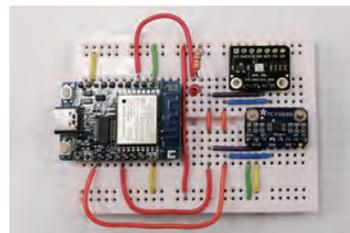
電気電子システム工学科が期待する入学者像

The Department of Electrical and Electronic System Engineering welcomes students who:

- ① ロボット制御技術、エネルギー技術、情報通信技術に興味があり、将来、その技術者として社会に貢献したい人
① are interested in robot control technology, energy technology, information and communication technology, and want to contribute to society as an engineer
- ② 電気回路やコンピュータ、センサなどを駆使して、様々なシステムをつくりあげたい人
② have a desire to create various systems by using electric circuits, computers, sensors, and so on
- ③ 電気・電子・情報について学んだ知識を応用して、自分のアイデアを形にしたい人
③ have a desire to shape their own ideas by applying knowledge learned about electricity, electronics, and information
- ④ 電気電子技術をベースとして、農林水産業、サービス業など様々な業種に関心を持ち、これらの産業を活性化したいと考えている人
④ are interested in various industries such as agriculture, forestry, fisheries, and service, and want to activate these industries based on electrical and electronic technology



シーケンス制御実習
Sequence Control Practice



IoT デバイス
IoT Device



IoT 実習
IoT Practice

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目 Main Subjects Taught	専攻科担当 Advanced courses	備考
教授 Professor	伊藤 淳 (博士(工学)) ITO Atsushi (D.Eng.)	電気磁気学 I 電気電子材料工学	●	学 科 長
	若松 孝 (博士(工学)) WAKAMATSU Takashi (D.Eng.)	電気電子計測 II 電子工学 II		
	濱崎 真一 (博士(理工学)) HAMAZAKI Shinichi (Ph.D.)	電子回路 I 電子回路設計 (専)応用電子制御工学	●	
	植 英規 (博士(工学)) UE Hidenori (D.Eng.)	電気電子計測 I 情報工学 III (専)システムデザイン (専)品質工学	●	副校長(企画・評価担当) 産業技術システム工学専攻 生産・情報システム工学コース長 情報処理教育センター長
准教授 Associate Professor	山田 貴浩 (博士(工学)) YAMADA Takahiro (D.Eng.)	電気回路 I デジタル回路 I (専)産業応用情報工学	●	
	小泉 康一 (博士(情報科学)) KOIZUMI Koichi (Ph.D.)	通信工学 I 情報工学 I (専)情報科学論	●	
	豊島 晋 (博士(工学)) TOYOSHIMA Susumu (D.Eng.)	電気磁気学基礎 電子回路 II (専)応用半導体工学	●	
	橋本 慎也 (博士(工学)) HASHIMOTO Shinya (D.Eng.)	電気製図 創作実習 (専)電力流通工学	●	SDGs 推 進 コーディネータ
	佐々木 修平 (博士(工学)) SASAKI Shuhei (D.Eng.)	電気機器 I 電気機器 II (専)応用電磁気学	●	
特命教授 Specially Appointed Professor	鈴木 晴彦 (博士(電気工学)) SUZUKI Haruhiko (D.Eng.)	電気電子材料工学 パワーエレクトロニクス (専)電子物性工学 (専)システムデザイン	●	福島高専名誉教授
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	青柳 克弘 (博士(工学)) AOYANAGI Katsuhiko (D.Eng.)	環境科学基礎		福島高専名誉教授
	稲穂 健市 (修士(工学)) INAHO Kenichi (M.Eng.)	知的財産権		
	歌川 史哲 (博士(理学)) UTAGAWA Fumiaki (D.Sc.)	環境科学基礎		
	大槻 正伸 (博士(工学)) OHTSUKI Masanobu (D.Eng.)	(専)産業安全工学総論 (専)システム論	●	福島高専名誉教授
	阿部 和彦 ABE Kazuhiko	電力工学電気法規		
	影山 拓也 KAGEYAMA Takuya	電力工学		
	柳平 丈志 (工学博士) YANAGIDAIRA Takeshi (D.Eng.)	高電圧工学		

主な実験・実習の設備

Major Experimental and Practical Facilities

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 基板加工機 (LPKF ProtoMat S63) * ■ Printed Circuit Board prototyping System ■ 超高真空マルチスパッタリング装置 (ケニックスksp-240ss) ■ Ultra High Vacuum Multi Sputtering System ■ 真空蒸着装置 ■ Vacuum Evaporation System ■ シンセサイズド標準信号発生器 (YHP8656B) ■ Synthesized Standard Signal Generator ■ 多機能同波数発振器 (NF WF1973) ■ Multifunction Generator ■ 高速デジタルストレージオシロスコープ (HP54810A) ■ High-speed Digital Storage Scope ■ PCM光伝送実験システム (安藤電気) ■ PCM Light Transmission Experimental System ■ A/D電子回路解析システム ■ A/D Electronic Circuit Analysis and Simulation System ■ ネットワーク/スペクトラムアナライザ (YHP4195A) ■ Network / Spectrum Analyzer ■ プレシジョン・インピーダンス・アナライザ (Agilent 4294A) * ■ Precision Impedance Analyzer ■ 高圧試験装置 (日新パルス電子) ■ High Voltage Testing System | <ul style="list-style-type: none"> ■ 高精細3Dプリンタ (KEYEN AGILISTA-3110) ■ High Definition 3D Printer ■ 標準電圧発生装置 (横河2850) ■ Standard Voltage Generator ■ 高温酸化超伝導体物性評価実験システム ■ Experimental System for Physical Estimation of High Temperature Oxide Superconductor ■ 三相同期電動機 (富士エンタープライズMG-2004-IP) ■ Three phase synchronous Motor ■ 三相誘導電動機 (富士エンタープライズEM-103-SPⅢ) ■ Three phase induction Motor ■ 三相変圧器 (京南電機KUT-1200A) ■ Three phase Transformer ■ 二相ロックインアンプ (NF5610B) ■ Two phase Lockin Amplifier ■ ロボット・FA多目的教育システム (バイナスBNK-1100S) ■ Robot and FA Multipurpose Educational System ■ 6軸パラレルリンクロボット (ファナック M-1iA/0.5A) ■ 6-axis Parallel link type Genkotsu-Robot |
|---|--|
- ※ *のある設備は共用対象となっている研究設備・機器です。

化学・バイオ工学科

Department of Applied Chemistry and Biochemistry



化学・バイオ工学科が期待する入学者像

The Department of Applied Chemistry and Biochemistry welcomes students who:

①化学やバイオテクノロジーの知識と技術を身につけて、将来、その技術者として地域・社会に貢献したい人

①will acquire knowledge of chemistry and biotechnology, and skills in them, to contribute society as an engineer.

②地球に優しい化学技術や新素材をつくり、環境問題の解決、持続可能な社会の構築を目指したい人

②will find the best solution to environment threats and have a hand in building a sustainable society through developing new chemical technology friendly to Earth.

③学んだ化学バイオ技術を、農林水産資源の生産・管理や有効活用に役立てたいと考える人

③will effectively utilize the knowledge and skills for production management of agricultural, forestry, and fishery resource.



化学・バイオ工学科では、自然科学分野の基礎的な学習と、高度な応用を効率よく学ぶためのカリキュラムを提供しています。新たな科学分野の成果を取り入れた最新の教育内容を提供するため、教育内容の見直しにも取り組んでいます。また、卒業研究を通じて、問題解決のための能力を涵養することを目的としています。さまざまな教育研究の試みを通じて、理論理解と技術実践の両面においてバランスのとれた能力を身につけた技術者の育成に努めています。

We have prepared a curriculum in the Department of Applied chemistry and Biochemistry that focuses on fundamental learning in various fields of natural sciences, centered around chemistry, as well as an efficient way to learn their advanced applications. We also constantly work to update our educational content to incorporate the latest advancements in scientific fields. The graduation research project, which fifth-year students undertake for a year, is a unique educational opportunity that cultivates their ability to find problem-solving solutions with a broad perspective. Through various educational research endeavors, we are committed to fostering well-rounded professionals who can demonstrate balanced skills in both theoretical understanding and practical implementation.



卒業研究
Graduation Research

●教員 Academic Faculty

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目 Main Subjects Taught	専攻科担当 Advanced courses	備考	
教授 Professor	車田 研一(博士(工学)) KURUMADA Kenichi (D. Eng.)	化学工学 (専)物質プロセス工学	Chemical Engineering Material Process Engineering	●	学 科 長
	天野 仁司(博士(理学)) AMANO Hitoshi (D. Sc.)	生命化学	Life Science	●	
	柴田 公彦(博士(工学)) SHIBATA Kimihiko (D. Eng.)	生物化学 (専)生体分子機能工学 (専)産業技術論	Biochemistry Biomolecular Functional Engineering Industrial Technology	●	学生保健センター長
	梅澤 洋史(博士(理学)) UMEZAWA Hirohito (D. Sc.)	有機化学 (専)応用有機化学 (専)応用合成化学	Organic Chemistry Practical Organic Chemistry Advanced Organic Syntheses	●	副 校 長 (グローバル化担当) 国際化・SDGs推進センター長
准教授 Associate Professor	押手 茂克(博士(工学)) OSHITE Shigekazu (D. Eng.)	分析化学 (専)環境保全工学 (専)現代分析化学	Analytical Chemistry Environmental Preservation Engineering Modern Analytical Chemistry	●	産業技術システム工学専攻 化学・バイオ工学コース長
	加藤 健(博士(工学)) KATO Takeshi (D. Eng.)	分離分析化学 (専)構造物理化学	Separation Analytical Chemistry Structural Physical Chemistry	●	
	森 崇理(博士(工学)) MORI Takamichi (D. Eng.)	有機合成化学 (専)システムデザイン (専)応用材料化学	Organic Synthetic Chemistry System Design Applied Material Chemistry	●	
	十亀 陽一郎(博士(理学)) SOGAME Yoichiro (D. Sc.)	微生物工学 (専)生体分子機能工学	Microbial Engineering Biomolecular Functional Engineering	●	
講師 Assistant Professor	青木 寿博(修士(工学)) AOKI Toshihiro (M. Eng.)	化学工学 (専)物質プロセス工学	Chemical Engineering Material Process Engineering	●	
助教 Research Associate	三上 進一(博士(理学)) MIKAMI Shinichi (D. Sc.)	無機化学	Inorganic Chemistry	●	
嘱託教授 Appointment Professor	内田 修司(修士(工学)) UCHIDA Shuji (M. Eng.)	機器分析 (専)構造物理化学	Instrumental Analysis Structural Physical Chemistry	●	福島高専名誉教授
嘱託准教授 Appointment Associate Professor	酒巻 健司(博士(工学)) SAKAMAKI Kenji (D. Eng.)	物理化学 (専)現代化学	Physical Chemistry Modern Chemistry	●	
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	青柳 克弘(博士(工学)) AOYANAGI Katsuhiko (D. Eng.)	環境科学基礎	Introduction to Environmental Science		福島高専名誉教授
	市川 幸男(修士(工学)) ICHIKAWA Yukio (M. Eng.)	環境工学	Environmental Engineering		
	伊藤 篤史 ITO Atsushi	化学プロセス概論	Chemical Process Engineering		
	歌川 史哲(博士(理学)) UTAGAWA Fumiaki (D. Sc.)	環境科学基礎	Introduction to Environmental Science		
	草野 学 KUSANO Manabu	知的財産権	Intellectual Property		アルプスアルバイン綱
	久保 奈都子 KUBO Natsuko	生物資源化学	Bioresource Chemistry		
	小荒井 一真(博士(理学)) KOARAI Kazuma (D. Sc.)	天然物有機化学	Chemistry of Natural Organic Compounds		日本原子力 研究開発機構
	多田 正人(博士(理学)) TADA Masahito (D. Sc.)	工業化学概論	Introduction to Industrial Chemistry		
	新里 忠史(博士(理学)) NIIZATO Tadafumi (D. Sc.)	天然物有機化学	Chemistry of Natural Organic Compounds		日本原子力 研究開発機構
	松枝 誠(博士(理工学)) MATSUEDA Makoto (D. Sc. & Eng.)	天然物有機化学	Chemistry of Natural Organic Compounds		日本原子力 研究開発機構
	御園生 敏治(博士(工学)) MISONOU Toshiharu (D. Eng.)	天然物有機化学	Chemistry of Natural Organic Compounds		日本原子力 研究開発機構

主な実験・実習の設備

Major Experimental and Practical Facilities

- 四重極・飛行時間型質量分析装置 (ウォーターズ Xevo G2-S QTof)
Quadrupole-Time of Flight Mass Spectrometer
- 超高速高分離液体クロマトグラフ (ウォーターズ ACQUITY H-Class)
Ultra-performance liquid chromatograph
- リアルタイムPCRシステム (サーモフィッシャー StepOnePlus)
Real-Time PCR System
- DNAシーケンサー (ABI PRISM310)
DNA Sequencer
- フーリエ変換核磁気共鳴装置 (JEOL RESONANCE JNM-ECX500II)
Fourier Transform Nuclear Magnetic Resonance Spectrometer
- フーリエ変換赤外分光光度計 (日本分光 FT-IR4100)
Fourier Transform Infrared Spectrophotometer
- 紫外可視近赤外吸光分光光度計 (日本分光 V-560, V-670)
UV-Vis-NIR Spectrophotometer
- X線光電子分光分析装置 (日本電子 JPS-9010NX)
X-ray Photoelectron Spectroscopy
- 走査型電子顕微鏡 (日立ハイテクノロジー S-3400N)
Scanning Electron Microscope
- エネルギー分散型X線分析装置 (アメックス Genesis APEX2)
Energy Dispersive X-ray Spectrometer
- ICP発光分光分析装置 (パーキンエルマー Optima7300DV, アジレント・テクノロジー 4210 MP-AES)
ICP-Optical Emission Spectrometer
- 波長分散型蛍光X線分析装置 (リガク Supermini200)
Wavelength Dispersive X-ray Fluorescence Spectrometer
- X線回折装置 (ブルカー・ジャパン D2 PHASER)
X-ray Diffractometer
- 熱分析システム (島津製作所 DTG-60H, SII TG-DTA7300・DSC-7000)
Thermal Analyzer System
- イオンクロマトグラフ (東ソー IC-2010)
Ion Chromatograph
- ゼータ電位・粒子径・分子量測定装置 (マルバーン ゼータサイザーナノ)
Molecular / Particle Size Analyzer

都市システム工学科

Department of Civil and Environmental Engineering



森のわくわく橋（県立いわき公園）

都市システム工学科が期待する入学者像

Department of Civil and Environmental Engineering welcomes students who:

- ①自然環境と調和した建設技術に興味を持っている人
①are interested in construction technology harmonized with a natural environment.
- ②道路・橋・港など建設構造物の維持管理に興味を持っている人
②are interested in the infrastructure maintenance for roads, bridges and ports.
- ③災害に負けない安全なまちづくりに貢献したい人
③wish to contribute to the safe urban planning which defeat a disaster.



測量実習 Survey Training

都市システム工学科では、自然環境に配慮した道路や橋・港湾等の整備ができるとともに、古くなった道路や橋の維持管理や災害に強いまちづくりができる技術者の育成をめざしています。そのために、各種構造物の計画・設計・施工・維持管理に必要な力学系科目や自然災害を最小限に抑えるために必要な防災・減災系の科目を学びます。また、それらをしっかり身につけるために、実験・実習を重視したカリキュラムになっています。なお、令和5年度入学生からは建築系科目も取り入れ、卒業時に2級建築士の受験資格が得られるカリキュラムになっています。

Department of Civil and Environmental Engineering aims to bring up the engineers who can construct the roads, bridges and ports considered in a natural environment and can do the maintenance of the old roads and bridges and can do the planning of disaster-resistant urban community. For it, the two subjects are provided : the subject of disaster prevention and mitigation, aimed at minimizing damage, are provided, and the other one of the planning, the design, the building and the maintenance for various structure. Students who enter this department since April 2023 have become to adopt the new curriculum with architecture-related subjects, and they will have a qualification for taking second class architect examination upon graduation.



現場見学（平窪駐在所） Extramural Practice

●教員 Academic Faculty

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目	Main Subjects Taught	専攻科担当 Advanced courses	備考
教授 Professor	菊地 卓郎 (博士(工学)) KIKUCHI Takuro (D.Eng.)	水理学 水防災工学 (専)減災工学 (専)水工学	Hydraulics Hydraulic Engineering for Disaster Prevention Disaster Prevention Engineering Hydraulic Engineering	●	副校長(地域連携担当) 学 科 長 地域環境テクノセンター長
	緑川 猛彦 (博士(工学)、技術士) MIDORIKAWA Takehiko (D.Eng.PE)	コンクリート構造設計演習 コンクリート構造工学 (専)減災工学	Exercises on Reinforced Concrete Structure Concrete Structure Engineering Disaster Prevention Engineering	●	副校長(職務・リスク対策担当) サステナブルイノベーションセンター長
	齊藤 充弘 (博士(工学)、技術士) SAITO Mitsuhiro (D.Eng.PE)	地域計画 システム工学 (専)数理計画論 (専)減災工学	Regional Planning System Engineering Mathematical Planning Disaster Prevention Engineering	●	教務主事 副 校 長 (教務・研究担当)
	高荒 智子 (博士(工学)) TAKAARA Tomoko (D.Eng.)	水処理工学Ⅰ・Ⅱ (専)減災工学 (専)水環境工学	Water Treatment Engineering I・II Disaster Prevention Engineering Water Environmental Engineering	●	産業技術システム工学専攻 社会環境システム工学コース長
准教授 Associate Professor	金 高 義 (博士(工学)) KIM Kouji (Ph.D.)	測量学 (専)減災工学	Surveying Disaster Prevention Engineering	●	
	増戸 洋幸 (博士(工学)、技術士) MASHITO Hiroyuki (D.Eng.PE)	材料学 施工法	Construction Materials Construction Methods	●	
	丹野 淳 (博士(工学)) TANNO Jun (D.Eng.)	環境保全概論 防災学 (専)システムデザイン	Introduction to Environmental Conservation Disaster Prevention Engineering System Design	●	
講師 Assistant Professor	浅野 寛元 (博士(工学)) ASANO Hiroyoshi (D.Eng.)	維持・管理工学基礎 (専)維持・管理工学	Outline of Infrastructure Maintenance Engineering Infrastructure Maintenance Engineering	●	
助教 Research Associate	三浦 拓也 (博士(工学)) MIURA Takuya (D.Eng.)	地盤工学 応用地盤工学 (専)減災工学 (専)地盤工学特論	Geotechnical Engineering Applied Geotechnical Engineering Disaster Prevention Engineering Advanced Geotechnical Engineering	●	
	相馬 悠人 (博士(工学)) SOMA Yuto (D.Eng.)	構造力学Ⅱ 工学実験・演習 (専)構造解析論	Structural Mechanics II Experiments and Exercises in Civil and Environmental Engineering Analytics of Structures	●	
特命教授 Specially Appointed Professor	原田 正光 (工学博士) HARADA Masamitsu (D.Eng.)	シビックデザイン演習Ⅳ (専)産業技術論 (専)環境保全工学	Exercises IV for Civic Design Industrial Technology Environmental Preservation Engineering	●	福島高専名誉教授
特命助教 Project Research Associate	李 曉 彤 (博士(工学)) LI Xiaotong (D.Eng.)				
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	青柳 克弘 (博士(工学)) AOYANAGI Katsushi (D.Eng.)	環境科学基礎	Introduction to Environmental Science		福島高専名誉教授
	歌川 史哲 (博士(理学)) UTAGAWA Fumiaki (D.Sc.)	環境科学基礎	Introduction to Environmental Science		
	大柳 英之 (技術士) OHYANAGI Hideyuki (PE)	橋梁工学	Bridge Engineering		日本ファブテック(株)
	山内 幸政 (技術士) YAMAUCHI Yukimasa (PE)	橋梁工学	Bridge Engineering		日本ファブテック(株)
	三輪 拓也 (技術士) MIWA Takuya (PE)	橋梁工学	Bridge Engineering		日本ファブテック(株)
	草野 学 KUSANO Manabu	知的財産権	Intellectual Property		アルプスアルバイン(株)
	車谷 麻緒 (博士(工学)) KURUMATANI Mao (D.Eng.)	構造力学Ⅲ	Structural Mechanics III		茨城大学
	佐藤 民部 (一級建築士) SATO Minbu (1st Class Architect)	製図法	Drawing for Civil and Environmental Engineering AD II CAD II		佐藤民部一級建築士事務所
	新田 邦彦 NITTA Kunihiko	輸送施設工学	Transportation Facilities Engineering		国土交通省東北地方整備局 小名浜港湾事務所所長
藤澤 元 FUJISAWA Hajime	道路施策概論	Outline of Road Policy		国土交通省東北地方整備局 磐城国道事務所所長	

主な実験・実習の設備

Major Experimental and Practical Facilities

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 全有機炭素計 (島津製作所TOC-L)
Total Organic Carbon Analyzer ■ 吸光光度計 (HACH DR3900)
Absorption Photometer ■ 生物顕微鏡 (オリンパスBH2)
Optical Microscope ■ 分光光度計 (HITACHI U-5100)
Spectrophotometer ■ ゼータ電位測定装置 (日本ルフト ML-660NT)
Zeta Potential Measurement System ■ コンクリート圧縮試験機 (島津製作所CCH-2000kNX)
Concrete Compressive Testing Machine ■ データロガー (東京測器研究所TDS-530)
Data Logger ■ コンクリートの動弾性係数測定器 (有森エンジニアリング社製FQ2000E)
Dynamic Young's Modulus Measuring Instrument ■ マルチピクノメーター (Quantachrome Instruments MVP -6DC)
Multi Pycnometer ■ デジタル動ひずみ測定器 (東京測器研究所DRA-101C)
Digital Dynamic Strainmeter ■ 振動試験装置 (IMVJ230)
Vibration Test System ■ 万能試験機 (丸東PHC-20) *
Hydraulic Pendulum Testing Machine ■ 一軸圧縮試験機 (丸東製作所SG-2033)
Unconfined Compression Apparatus | <ul style="list-style-type: none"> ■ 三軸圧縮試験機 (丸東製作所SG-49)
Triaxial Compression Apparatus ■ 圧密試験機 (丸東製作所S43-4UL-1)
Consolidation Apparatus ■ 改良型一面せん断試験機 (丸東製作所SG-83)
Improved Direct Shear Apparatus ■ 透水試験機 (丸東製作所S12-J)
Water Permeability testing machine ■ レーザー回析・散乱式粒度分布測定装置 (CILAS1064) *
CILAS Particle Size Analyzer ■ 自動電位差滴定装置 (平沼産業COM-1600)
Automatic Potentiometric Titrator ■ ベルヌーイ実験装置 (機械研究株式会社WHB型)
Test Apparatus for Bernoulli Theorem ■ ヘルショウ実験装置 (丸東製作所HT-18)
Hele-shaw Apparatus ■ 鉄筋探査機 (サンコウ電子研究所331-2-TH)
Steel Rod Detectors ■ 二周波GNSS受信機 (TOPCON Hiper V)
Dual-frequency GNSS receiver ■ 恒温恒湿装置 (ESPEC LHC-114) *
Thermo-Hygrostat |
|---|--|

※ *のある設備は共用対象となっている研究設備・機器です。

ビジネスコミュニケーション学科

Department of Business Communication



ビジネス英語演習 Business English Practice

ビジネスコミュニケーション学科が期待する入学者像

The Department of Business Communication welcomes students who:

- ①社会・経済のしくみや動きに広く関心のある人
have a broad interest in the mechanisms and movements of societies and economies,
- ②外国語によるコミュニケーション能力を高めて、グローバルに活躍したい人
have the motivations to improve their communication abilities in foreign languages and to be successful in a global scale,
- ③情報リテラシーを身につけて、高度情報化社会で活躍したい人
have the ambitions to acquire information knowledge and to succeed in highly informationalized societies,
- ④地球環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献したい人
and have the concerns about global environment and want to contribute to the sustainable development of societies.

コミュニケーション形態は一変した。
将来のコミュニケーションの姿を
追求しよう。

The form of communication has been
changed drastically.

Let's explore the style of communication
in future.

現代社会は、グローバル化、デジタル化、気候変動、社会の分断など、複雑に絡み合った課題に直面しています。これらの課題は、単一の専門分野の知識だけでは解決できません。多様な視点から問題を分析し、関係者とのコミュニケーションを通じて合意形成を図り、持続可能な解決策を創り出す能力が求められています。

ビジネスコミュニケーション学科は、このような時代の要請に応えるため、幅広い教養と高度な専門性を兼ね備えた人材育成を目指します。人文科学、数理、語学、経営学、経済学、情報科学、会計学という7つの専門領域を基盤に、多角的な視点とコミュニケーション能力を磨きます。

入学後は1・2年次で7つの専門領域すべての基礎を学び、3年次以降から自分の関心に基づいて専門分野を深掘りしていきます。必修科目である3年プレセミナー、4年セミナー、5年卒業研究では少人数制の研究室に所属し、専門的な文献の読解、論文作成、プレゼンテーションなど、実践的な研究活動に取り組みます。これにより、高度なリテラシー、論理的思考力、問題解決能力を養成し、卒業時には社会科学の素養を備えた即戦力として社会に貢献できる人材へと成長できます。

さらに、ビジネスコミュニケーション学科では、変化の激しい現代社会に対応できるよう、データサイエンス、グローバルコミュニケーション、サステナビリティにも力を入れています。これらの学びを通して、様々な分野で活躍できる人材を育成します。

We are confronted with globalization, digitalization, climate change, and social division—complex issues in present-day society. Solving these challenges requires more than specialized knowledge. We need to consider multiple perspectives and work collaboratively to find solutions.

The Department of Business Communication aims to meet the needs of today's society and cultivate well-rounded individuals with a broad perspective and communication skills, possessing both a wide range of knowledge and highly specialized skills. Students learn the fundamentals of seven core disciplines: humanities, mathematics, English, business, economics, information science, and accounting.

The 1st and 2nd years students learn the fundamentals of these seven disciplines. From the 3rd year students focus more deeply on their chosen specializations. Each student belongs to a small laboratory group, where they engage in practical research activities such as reading specialized literature, writing academic papers, and making presentations.

Finally, we focus on data science, global communication, and sustainability in the curriculum to ensure students are well-equipped to excel in various fields.



ビジネス英語入門 Introduction to Business English

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目 Main Subjects Taught	専攻科担当 Advanced courses	備考
教授 Professor	湯川 崇 (博士(工学)) YUKAWA Takashi (D.Eng.)	プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ 情報処理演習A・B (専)データ分析論 (専)経営学演習	●	学 科 長 ビジネスコミュニケーション学専攻長 同 コース長
准教授 Associate Professor	渡邊 エリカ(修士(教育学)) WATANABE Erika (M.Ed.)	English BasicsⅠ・Ⅱ Business English PracticeⅠ・Ⅱ (専)経営学演習 (専)ビジネス英語	●	
	大仁田 香織 (博士(学術)) ONITA Kaori (Ph.D.)	経営入門Ⅰ・Ⅱ 国際経営論 (専)経営学演習	●	
	田淵 義英 (博士(学術)) TABUCHI Yoshihide (Ph.D.)	現代社会の理論Ⅰ・Ⅱ 現代社会特論Ⅱ (専)経営学演習	●	
講師 Assistant Professor	若林 晃央(修士(経済学)) WAKABAYASHI Akihiro (M.Ec.)	組織論 経営戦略論 (専)システムデザイン (専)経営学演習	●	
	安部 智博(修士(経済学)) ABE Tomohiro (M.Ec.)	簿記入門Ⅰ・Ⅱ 財務会計 (専)財務諸表論 (専)経営分析論	●	
	高木 信太郎(修士(政策・メディア)) TAKAGI Shintaro (M.M.G.)	国際経済学 環境経済学 (専)経営学演習	●	
特命教授 Specially Appointed Professor	芥川 一則(博士(情報科学)) AKUTAGAWA Kazunori (Ph.D.)	マクロ経済学 開発学Ⅰ・Ⅱ (専)都市経済学 (専)経済産業論	●	福島高専名誉教授
特命助教 Project Research Associate	金子 佳央 KANEKO Yoshio	アントレプレナーシップ実践		
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	草野 学 KUSANO Manabu	知的財産権		アルプスアルパイン倶
	栗林 利紗(修士(会計)) KURIBAYASHI Risa (M.B.A.)	経営学概論 (専)グローバル経営論 (専)経営管理論	●	
	松江 俊一(修士(国際文化)) MATSUE Shunichi (M.Intl.Cult.)	コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ		
	江尻 綾美(博士(学術)) EJIRI Ayami (Ph.D.)	情報基礎演習Ⅰ・Ⅱ 経営情報演習Ⅰ・Ⅱ		
	河井 順行(修士(経済学)) KAWAI Nobuyuki (M.Ec.)	財務会計Ⅰ		
	柳澤 晋(会計修士(専門職)) YANAGISAWA Shin (M.Acc.)	会計理論		
	會川 太郎(修士(経済学)) AIKAWA Taichiro (M.Ec.)	原価計算		
	松田 拓 MATSUDA Taku	(専)広告メディア論	●	
川島 秀一 KAWASHIMA Shuichi	(専)新事業開発	●		
芳賀 宏一郎 HAGA Koichiro	(専)製品開発論	●		

育成しようとする人材 Educational Goals and Objectives

社会に対して広く関心を持ち、進展するグローバル化に対応できるリテラシー（語学や情報など）を身につけるとともに、環境問題に配慮し持続可能な社会に貢献できる人材。

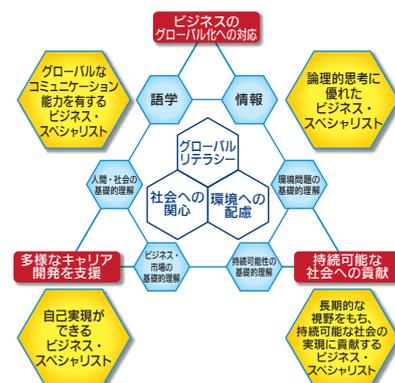
ビジネスコミュニケーション学科では、さらなるグローバル化とそれにとまなう諸問題に対応するため、広範な社会科学の知識、優れた語学力とコミュニケーション能力、環境問題や社会の持続可能性についての科目を強化します。そして、日々進化するビジネスコミュニケーション学科では、下図の「ビジネス・スペシャリスト」を育成します。

The Department of Business Communication aims to nurture human resources who have a wide range of interests in society and who can develop a proficiency in languages and information science. This goal is to have students be able to cope with the progress of globalization and to contribute to a sustainable society by taking environmental problems into consideration.

In order to achieve this goal and objectives, the Department of Business Communication has emphasized subjects related to the development of a wide range of knowledge in social science, proficiency in languages, communication and information literacy, environmental problems and a sustainable society. Ensuring that students obtaining these core academic subjects, the Department of Business has developed a wide variety of business specialists that are shown in the figure below.



情報システム演習 Seminar in Information Systems



教育課程

Curricula

福島高专カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

本校では、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を身につけるため、次のような教育課程の編成方針、および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

●編成方針

(1) 準学士課程(本科)においては、くさび型[※]の構成であり、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」を身に付けるための必修科目、選択科目を適切に設定した、5年一貫の体系的な教育課程を編成する。

専攻科においては、準学士課程の内容からの接続、発展を考慮した、より高度な教育課程を編成する。

※くさび型の教育課程：低学年次においては一般科目を多く配置し、学年の進行に伴い専門科目を多く配置する教育課程

(2) 「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を深化させるため、高学年、および専攻科においては、モノづくり、校外での体験、問題解決能力の養成等に関する科目を開設する。

(3) 教育課程を編成するに当たっては、全学年で基本的な知識・技能の修得、それらを応用し思考、判断する能力の修得、それらを自発的に学習できる態度・志向性を修得できるように配慮して、科目配置や科目毎の授業内容や授業計画を設計しシラバスに記載し、シラバスにしたがい教育を実施する。

●成績評価基準

(1) 科目の成績評価は、定期試験の成績および平常の成績をもとに行う。評価方法はシラバスに記載し、記載された評価方法に基づいて公平に成績評価を実施する。

(2) 講義科目では主に定期試験等の筆記試験により、演習科目では筆記試験やレポート等を総合的に勘案し、さらに、実験・実習科目ではレポートや授業態度等により評価する。

(3) 科目の成績評価結果は100点法で行い、60点以上を合格とする。

(4) 各科目について、成績評価が60点以上の場合は単位の修得を認定する。

●準学士課程(本科)学科ごとの教育課程編成方針

ディプロマポリシーで掲げた能力を育成するために、各学科では、以下の科目群を系統的に編成する。

機械システム工学科

(1) 豊かな教養と国際的感覚を有し、継続的な自己学習が出来る人間性を修得できるように、低学年次に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に力学系、材料・加工系、機構・制御系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(3) モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験、工学セミナー、卒業研究等の技術修得・問題解決能力・応用力・チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(4) 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次に校外実習、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(5) 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献する積極性を修得できるように、低学年次から高学年次に復興関連科目を設け、集中講義による学修を実施する。

電気電子システム工学科

(1) 豊かな教養と国際的感覚を有し、継続的な自己学習が出来る人間性を修得できるように、低学年次に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に電力系、電気・電子系、情報系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(3) モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験、工学セミナー、卒業研究等の技術修得・問題解決能力・応用力・チームワ

ークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(4) 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次に校外実習、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(5) 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献する積極性を修得できるように、低学年次から高学年次に復興関連科目を設け、集中講義による学修を実施する。

化学・バイオ工学科

(1) 豊かな教養と国際的感覚を有し、継続的な自己学習が出来る人間性を修得できるように、低学年次に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に応用化学系、生物工学系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(3) モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験、工学セミナー、卒業研究等の技術修得・問題解決能力・応用力・チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(4) 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次に校外実習、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(5) 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献する積極性を修得できるように、低学年次から高学年次に復興関連科目を設け、集中講義による学修を実施する。

都市システム工学科

(1) 豊かな教養と国際的感覚を有し、継続的な自己学習が出来る人間性を修得できるように、低学年次に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に力学系、環境系、計画系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(3) モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験、工学セミナー、卒業研究等の技術修得・問題解決能力・応用力・チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(4) 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次に校外実習、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(5) 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献する積極性を修得できるように、低学年次から高学年次に復興関連科目を設け、集中講義による学修を実施する。

ビジネスコミュニケーション学科

(1) 豊かな教養と国際的感覚を有し、継続的な自己学習が出来る人間性を修得できるように、低学年次に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に経済・経営・会計系、数理・情報系、語学・人文系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(3) モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力を修得できるように、中学年次から高学年次にセミナー、卒業研究等の技術修得・問題解決能力・応用力・チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(4) 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次に校外実習、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(5) 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献する積極性を修得できるように、低学年次から高学年次に復興関連科目を設け、集中講義による学修を実施する。

一般科目

General Education Courses

機械システム工学科・電気電子システム工学科
化学・バイオ工学科・都市システム工学科共通

Department of Mechanical System Engineering, Electrical and Electronic System Engineering,
Applied Chemistry and Biochemistry, Civil and Environmental Engineering

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes	
			1	2	3	4	5		
必修 Required	数学 Mathematics	数学ⅠA Mathematics I A	4	4					
		数学ⅠB Mathematics I B	2	2					
		数学ⅡA Mathematics II A	4	4					
		数学ⅡB Mathematics II B	2	2					
		数学ⅢA Mathematics III A	2		2				
		数学ⅢB Mathematics III B	2		2				
		数学Ⅳ Mathematics IV	4			4*			
	理科 Science	物理 Physics	6	2	2	2			
		化学 Chemistry	4	2	2				
	外国語 Foreign Languages	英語ⅠA English I A	4	4					
		英語ⅠB English I B	2	2					
		英語ⅡA English II A	2	2					
		英語ⅡB English II B	2	2					
		英語Ⅲ English III	4		4				
	国語 Japanese	英語Ⅳ English IV	4			4*			
		国語 Japanese	6	2	2	2			
	人文社会 Humanities and Social Science	人文科学Ⅰ Introduction to Humanities I	2	2					
		社会科学Ⅰ Invitation to Social Science I	2	2					
		人文社会科学演習Ⅰ Exercises to Humanities and Social Science I	1	1					
		人文社会科学演習Ⅱ Exercises to Humanities and Social Science II	2		2				
		○技術者倫理 Engineering Ethics	1				1		
	保健体育 Health and Physical Education	保健・体育 Health and Physical Education	6	2	2	2			
	芸術 Art	美術 Fine Arts	1	1					
	情報 Information	情報基礎 Information Literacy	2	2					
	ミニ研究 Research Practice		1	1					
	開設単位小計 Subtotal		72	25	22	16	8	1	
選択 Elective	外国語 Foreign Language	英語Ⅴ English V	2				2		
	国語 Japanese	日本語表現法 Japanese expression	2			2*			
	人文社会 Humanities and Social Science	経済学基礎 Economics	1			1			
		法学基礎 Law	1			1			
		産業経済史 History of Industry and Economics	1				1		
	グローバル研修 Global Study		1	(1)					
	開設単位小計 Subtotal		8	0 (1)	0 (1)	0 (1)	4 (1)	3 (1)	
開設単位合計 Total Credits Offered		80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	75単位以上 修得 (卒業要件)	
修得可能単位数 (卒業要件) Earnable Credits		80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	75単位以上 修得 (卒業要件)	

(注) *印は学修単位 (高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)
()の数字は開講期を指定しない単位で外数
○印は都市システム工学科における国土交通大臣の指定する建築に関する科目 (指定科目)

ビジネスコミュニケーション学科 Department of Business Communication

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes	
			1	2	3	4	5		
必修 Required	数学 Mathematics	数学 Mathematics	6	4	2				
	理科 Science	化学 Chemistry	2	2					
		物理 Physics	2		2				
	英語 English	英語ⅠA English I A	4	4					
		英語ⅠB English I B	2	2					
		英会話Ⅰ English Conversation I	2	2					
		英語ⅡA English II A	2	2					
		英語ⅡB English II B	2	2					
		英会話Ⅱ Conversation II	2	2					
		英語Ⅲ English III	4			4			
	国語 Japanese	英会話Ⅲ English Conversation III	2			2			
		英語Ⅳ English IV	4				4*		
	人文社会 Humanities and Social Science	国語 Japanese	国語 Japanese	10	4	4	2		
		人文科学Ⅰ Introduction to Humanities I	人文科学Ⅰ Introduction to Humanities I	2	2				
			人文科学Ⅱ Introduction to Humanities II	2	2				
			社会科学Ⅰ Invitation to Social Science I	2	2				
		社会科学Ⅱ Invitation to Social Science II	1	1					
		人文社会科学演習Ⅰ Exercises to Humanities and Social Science I	1	1					
		人文社会科学演習Ⅱ Exercises to Humanities and Social Science II	2		2				
		法学 Law	2			2			
		ミクロ経済学 Microeconomics	2			2			
		技術者倫理 Engineering Ethics	1				1		
	保健体育 Health and Physical Education	保健・体育 Health and Physical Education	6	2	2	2			
	芸術 Art	美術 Fine Arts	1	1					
	情報 Information	情報基礎 Information Literacy	2	2					
	ミニ研究 Research Practice		1	1					
開設単位小計 Subtotal		69	26	22	12	8	1		
選択 Elective	英語 English	英語特論Ⅰ English Seminar I	2		2				
		英語特論Ⅱ English Seminar II	2			2			
		英語Ⅴ English V	2				2		
	国語 Japanese	文学 Japanese Literature	1			1			
	人文社会 Humanities and Social Science	産業経済史 History of Industry and Economics	1				1		
	グローバル研修 Global Study		1	(1)					
	開設単位小計 Subtotal		9	0 (1)	0 (1)	2 (1)	3 (1)	3 (1)	
開設単位合計 Total Credits Offered		78	26 (1)	22 (1)	14 (1)	11 (1)	4 (1)	75単位以上 修得 (卒業要件)	
修得可能単位数 Earnable Credits		78	26 (1)	22 (1)	14 (1)	11 (1)	4 (1)	75単位以上 修得 (卒業要件)	

(注) *印は学修単位 (高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)
()の数字は開講期を指定しない単位で外数

専門科目

Technical Courses

機械システム工学科 Department of Mechanical System Engineering

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
			1	2	3	4	5	
必修科目 Required	機械製図 I Engineering Drawings I	2	2					
	機械製図 II Engineering Drawings II	2		2				
	設計製図 I Mechanical Design and Drawing I	2			2			
	設計製図 II Mechanical Design and Drawing II	2				2*		
	応用設計製図 Applicational Mechanical Design and Drawing	4					4*	
	機械システム工学基礎 Fundamentals of Mechanical System Engineering	2	2					
	モノづくり基礎 Fundamental of Manufacturing	2		2				
	モノづくり実習 Manufacturing Practice	2			2			
	創作実習 Creative Practice	2				2*		
	工学実験 Engineering Experiment	8				4*	4*	
	工学セミナー Engineering Seminar	2				2		
	卒業研究 Graduation Research	9					9	
	機械システム工学概論 Introduction to Mechanical System Engineering	1	1					
	機械工作法 I Mechanical Technology I	2		2				
	材料学 Materials Engineering	2		2				
	環境科学基礎 Introduction to Environmental Science	1		1				
	工業力学 Engineering Mechanics	2			2			
	材料力学 I Mechanics of Materials I	2			2			
	機械工作法 II Mechanical Technology II	1			1			
	機構学 Mechanism	2			2			
	情報処理 Information Processing	2			2			
	電気工学基礎 Introduction to Electrical Engineering	1			1			
	応用物理 Applied Physics	4				4*		
	材料力学 II Mechanics of Materials II	1				1		
	熱力学 Thermodynamics	2				2		
	水力学 Hydraulics	2				2		
	機械力学 I Engineering Mechanics I	1				1		
	環境工学 Environmental Engineering	1				1*		
	ロボット基礎 Basic Robotics Engineering	2				2		
	校外実習 Extramural Practice	1					(1)	
	数学 V Mathematics V	2					2*	
	伝熱工学 Heat Transfer	2					2	
制御工学 Control Engineering	2					2		
知的財産権 Intellectual Property	1					1		
開設単位小計 Subtotal	76	5	9	14	23 (1)	24 (1)		

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes	
			1	2	3	4	5		
選択科目 Elective	物理学特論 Advanced Physics	1				1			
	情報処理演習 Information Processing Practice	2				2*			
	工業英語 English Technical Communication	1				1*			
	メカトロニクス Mechatronics	1				1*			
	CAD、CAM Computer-Aided Design & Computer-Aided Manufacturing	1				1*			
	材料強度学 Strength and Fracture of Materials	1				1*			
	経営学概論 Introduction to Business Administration	1				1			
	生産工学 Production Engineering	1					1*		
	ロボット工学 Robotics Engineering	1					1*		
	計測工学 Measurement and Instrumentation	1					1*		
	塑性加工学 Technology of Plasticity	1					1*		
	機械力学 II Engineering Mechanics II	1					1*		
	流体力学 Fluid Dynamics	1					1*		
	エネルギー工学 Energy Engineering	1					1*		
	エネルギー機械 Energy Conversion Machinery	1					1*		
	シーケンス制御 Sequence Control	1					1*		
	ロボット制御工学 Control for Robotics Engineering	1					1*		
	AI 演習 AI seminar	1					1		
	アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship	1	1						
	アントレプレナーシップ実践 Entrepreneurship Practice	1					1*		
	原子力発電基礎 Elements of Nuclear Power Generation	1	1					集中講義	
	放射線基礎 Introduction to Radioactivity and Radiation	1		1				集中講義	
	廃炉ロボット概論 Fundamentals of nuclear decommissioning robotics	1				1		集中講義	
	廃炉工学 Decommissioning of Nuclear Plant	1					1	集中講義	
	防災学 Disaster Prevention	2					2*		
	チャレンジセミナー Challenge seminar	1				(1)			
	開設単位小計 Subtotal	28	2 (1)	1 (1)	1 (1)	10 (1)	13 (1)		
	専門科目 Technical Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	102	7	10	15	33 (1)	36 (1)	82単位以上 修得 (卒業要件)
		修得可能単位数 Earnable Credits	102	7	10	15	33 (1)	36 (1)	
	一般科目 General Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	75単位以上 修得 (卒業要件)
		修得可能単位数 Earnable Credits	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	
	合計 Total	開設単位合計 Total Credits Offered	182	32 (1)	32 (1)	31 (1)	45 (2)	40 (2)	167単位以上 修得 (卒業要件)
修得可能単位数 Earnable Credits		182	32 (1)	32 (1)	31 (1)	45 (2)	40 (2)		

(注) *印は学修単位 (高等専門学校設置基準第17条4に基づき単位)
()の数字は開講期を指定しない単位で外数

電気電子システム工学科 Department of Electrical and Electronic System Engineering

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
			1	2	3	4	5	
必修科目 Required	◎電気電子システム工学実験 Experiments on Electric and Electronic System Engineering	10		2	3	3*	2*	
	◎電気回路基礎・実習 Introduction to Electrical Circuit・Practice	2	2					
	◎電気磁気学基礎 Introduction to Electromagnetics	1	1					
	○電気製図 Electrical Drawing	2	2					
	◎電気電子計測Ⅰ Electric and Electronic MeasurementsⅠ	1		1				
	○情報工学Ⅰ Information EngineeringⅠ	2		2				
	◎電気回路Ⅰ Electric CircuitⅠ	4		2	2			
	◎電気磁気学Ⅰ ElectromagneticsⅠ	2			2			
	◎電気電子計測Ⅱ Electric and Electronic MeasurementsⅡ	2			2			
	◎電気機器Ⅰ Electrical Machine and ApparatusⅠ	2			2			
	○情報工学Ⅱ Information EngineeringⅡ	2			2			
	○電子回路Ⅰ Electronic CircuitⅠ	2			2			
	◎電気機器Ⅱ Electrical Machine and ApparatusⅡ	2				2		
	◎電気磁気学Ⅱ ElectromagneticsⅡ	2				2		
	◎電気回路Ⅱ Electronic CircuitⅡ	2				2		
	◎パワーエレクトロニクス Power Electronics	1				1		
	○電子回路Ⅱ Electronic CircuitⅡ	2				2*		
	○電子工学Ⅰ ElectronicsⅠ	2				2*		
	◎制御工学 Control Engineering	1					1*	
	◎電力工学 Electric Power Systems	2					2	
	◎電力システム工学 Electric Power System Engineering	2					2*	
	○電気電子材料工学 Electric and Electronic Materials Engineering	2					2	
	○電子工学Ⅱ ElectronicsⅡ	1					1*	
	環境科学基礎 Introduction to Environmental Science	1		1				
	創作実習 Creative Practice	2					2*	
	電子回路設計 Design of Electronic Circuits	1				1		
	工学セミナー Engineering Seminar	1				1		
	応用物理 Applied Physics	4				4*		
	工業英語Ⅰ Technical EnglishⅠ	1				1		
	校外実習 Extramural Practice	1				(1)		
	卒業研究 Graduation Research	8					8	
	知的財産権 Intellectual Property	1					1	
	工業英語Ⅱ Technical EnglishⅡ	1					1	
数学Ⅴ MathematicsⅤ	2					2*		
開設単位小計 Subtotal	74	5	8	15	23 (1)	22 (1)		

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes	
			1	2	3	4	5		
選択科目 Elective	◎電気法規 Electrical Laws and Regulations	1					1		
	○高電圧工学 High Voltage Engineering	1					1		
	○計算機工学 Computer Architecture	2					2		
	デジタル回路Ⅰ Digital CircuitsⅠ	1		1					
	情報工学Ⅲ Information EngineeringⅢ	2					2*		
	デジタル回路Ⅱ Digital CircuitsⅡ	1				1			
	通信工学Ⅰ Electrical CommunicationsⅠ	1				1			
	物理学特論 Advanced Physics	1				1			
	機械工学概論 Outlines of Mechanical Engineering	2				2			
	経営学概論 Introduction to Business Administration	1				1			
	電力情報 Power Information	2					2*		
	シーケンス制御 Sequential Control	1					1*		
	ロボット制御工学 Control for Robotics Engineering	1					1*		
	コンピュータネットワーク Computer Network	1					1*		
	通信工学Ⅱ Electrical CommunicationsⅡ	1					1*		
	環境工学 Environmental Engineering	1					1		
	AI 演習 AI seminar	1					1		
	アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship	1	1						
	アントレプレナーシップ実践 Entrepreneurship Practice	1					1*		
	原子力発電基礎 Elements of Nuclear Power Generation	1	1					集中講義	
	放射線基礎 Introduction to Radioactivity and Radiation	1		1				集中講義	
	廃炉ロボット概論 Fundamentals of nuclear decommissioning robotics	1			1			集中講義	
	廃炉工学 Decommissioning of Nuclear Plant	1				1		集中講義	
	防災学 Disaster Prevention	2					2*		
	チャレンジセミナー Challenge seminar	1		(1)					
	開設単位小計 Subtotal	30	2 (1)	2 (1)	1 (1)	10 (1)	14 (1)		
	専門科目 Technical Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	102	7	10	16	33 (1)	35 (1)	82単位以上 修得 (卒業要件)
		修得可能単位数 Earnable Credits	102	7	10	16	33 (1)	35 (1)	
	一般科目 General Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	75単位以上 修得 (卒業要件)
		修得可能単位数 Earnable Credits	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	
	合計 Total	開設単位合計 Total Credits Offered	182	32 (1)	32 (1)	32 (1)	45 (1)	39 (2)	167単位以上 修得 (卒業要件)
		修得可能単位数 Earnable Credits	182	32 (1)	32 (1)	32 (1)	45 (1)	39 (2)	

(注) ◎印は第2種電気主任技術者資格取得のための必修得科目、○印は関係科目
*印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)
()の数字は開講期を指定しない単位で外数

専門科目

Technical Courses

化学・バイオ工学科 Department of Applied Chemistry and Biochemistry

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
			1	2	3	4	5	
必修科目 Required	基礎化学実験Ⅰ Experiment of Fundamental Chemistry I	2	2					
	基礎化学実験Ⅱ Experiment of Fundamental Chemistry II	4		4				
	情報処理Ⅰ Information Processing I	1		1				
	創造実験実習Ⅰ Creative Experiment I	1			1			
	創造実験実習Ⅱ Creative Experiment II	1			1			
	化学・バイオ工学基礎実験Ⅰ Experiment of Basic Applied Chemistry and Bioengineering I	4			4			
	化学・バイオ工学基礎実験Ⅱ Experiment of Basic Applied Chemistry and Bioengineering II	2				2		
	化学・バイオ工学実験 Experiment of Applied Chemistry and Bioengineering	2				2		
	化学・バイオ工学セミナー Seminar of Applied Chemistry and Bioengineering	1				1		
	情報処理Ⅱ Information Processing II	1				1		
	卒業研究 Graduation Research	10					10	
	基礎生物学 Fundamentals of Biology	2	2					
	分析化学 Analytical Chemistry	2		2				
	材料化学基礎 Introduction to Materials Chemistry	2		2				
	環境科学基礎 Introduction to Environmental Science	1		1				
	物理化学基礎 Fundamental Physical Chemistry	2			2			
	無機化学基礎 Fundamental Inorganic Chemistry	2			2			
	有機化学基礎 Fundamental Organic Chemistry	2			2			
	生物化学基礎 Fundamental Biological Chemistry	1			1			
	工業英語 Technical Communication	2			2			
	物理化学Ⅰ Physical Chemistry I	2				2		
	無機化学Ⅰ Inorganic Chemistry I	2				2		
	有機化学Ⅰ Organic Chemistry I	2				2		
	生物化学Ⅰ Biological Chemistry I	2				2		
	化学工学 Chemical Engineering	2				2		
	微生物工学 Microbial Engineering	2				2		
	機器分析Ⅰ Instrumental Analysis I	1				1		
	機器分析Ⅱ Instrumental Analysis II	1				1		
	環境科学Ⅰ Environmental Science I	2				2		
	応用物理 Applied Physics	4				4*		
	数学Ⅴ Mathematics V	2					2*	
	高分子化学 Polymer Chemistry	2					2*	
	開設単位小計 Subtotal	69		4	10	15	26	14

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
			1	2	3	4	5	
選択科目 Elective	工業化学概論 Introduction to Industrial Chemistry	1			1			
	校外実習 Extramural Practice	1					(1)	
	物理学特論 Physics Seminar	1				1		
	経営学概論 Introduction to Business Administration	1				1		
	物理化学Ⅱ Physical Chemistry II	2					2*	
	物理化学Ⅲ Physical Chemistry III	2					2*	
	無機化学Ⅱ Inorganic Chemistry II	2					2*	
	有機化学Ⅱ Organic Chemistry II	2					2*	
	生物化学Ⅱ Biologicop II	2					2*	
	生物化学Ⅲ Biologicop III	2					2*	
	化学プロセス概論 Introduction to Chemical Process Engineering	2					2*	
	環境化学Ⅱ Environmental Chemistry II	2					2*	
	生物資源化学 Bioresource Chemistry	2					2*	
	機械工学概論 Outlines of Mechanical Engineering	1					1	
	電子工学概論 Introduction to Electronics	1					1	
	知的財産権 Intellectual Property	1					1	
	AI 演習 AI seminar	1					1	
	アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship	1	1					
	アントレプレナーシップ実践 Entrepreneurship Practice	1					1*	
	原子力発電基礎 Elements of Nuclear Power Generation	1	1					集中講義
	放射線基礎 Introduction to Radioactivity and Radiation	1		1				集中講義
	廃炉ロボット概論 Fundamentals of nuclear decommissioning robotics	1			1			集中講義
	廃炉工学 Decommissioning of Nuclear Plant	1				1		集中講義
	防災学 Disaster Prevention	2					2*	
	チャレンジセミナー Challenge seminar	1				(1)		
	開設単位小計 Subtotal	35		2	1	2	4 (2)	24 (2)
	専門科目 Technical Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	102	6	11	17	30 (1)	37 (1)
修得可能単位数 Earnable Credits		102	6	11	17	30 (1)	37 (1)	
一般科目 General Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	75単位以上 修得 (卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	
合計 Total	開設単位合計 Total Credits Offered	182	31 (1)	33 (1)	33 (1)	42 (2)	41 (2)	167単位以上 修得 (卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	182	31 (1)	33 (1)	33 (1)	42 (2)	41 (2)	

(注) *印は学修単位 (高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)
()の数字は開講期を指定しない単位で外数

都市システム工学科 Department of Civil and Environmental Engineering

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
			1	2	3	4	5	
必修科目 Required	〇工学実験・演習 Experiments and Exercises in Civil and Environmental Engineering	3		1	2			
	工学実験・演習 Experiments and Exercises in Civil and Environmental Engineering	6				3*	3*	
	都市システム概論 Introduction to Civil and Environmental Engineering	1	1					
	〇製図法Ⅰ Drawing 1 for Civil and Environmental Engineering	2	2					
	CADⅠ CAD 1	1	1					
	〇材料学 Construction Materials	2	2					
	〇構造力学Ⅰ Structural Mechanics I	2	2					
	環境科学基礎 Introduction to Environmental Science	1	1					
	応用物理 Applied Physics	4				4*		
	〇測量学Ⅰ Surveying I	2	2					
	〇測量実習Ⅰ Survey Training I	2	2					
	〇構造力学Ⅱ Structural Mechanics II	2		2				
	土木演習Ⅰ Civil Engineering Exercise I	1		1				
	〇地盤工学Ⅰ Geotechnical Engineering I	1		1				
	水理学Ⅰ Hydraulics I	1		1				
	環境科学 Environmental Science	1		1				
	〇測量学Ⅱ Surveying II	2		2				
	〇測量実習Ⅱ Survey Training II	2		2				
	土木情報処理Ⅰ Information Processing I for Civil Engineering	2				2*		
	〇構造力学Ⅲ Structural Mechanics III	2			2			
	橋梁工学 Bridge Engineering	1			1			
	〇コンクリート構造工学 Concrete Structure Engineering	2			2			
	〇地盤工学Ⅱ Geotechnical Engineering II	2			2*			
	水理学Ⅱ Hydraulics II	2			2			
	水処理工学Ⅰ Water Treatment Engineering I	1			1			
	〇地域計画 Regional Planning	2			2			
	システム工学 System Engineering	1			1			
	施工法Ⅰ Construction Method for Civil and Environmental Engineering I	1				1		
	技術英語Ⅰ Technical English I	1			1			
	校外実習 Extramural Practice	1				(1)		
	土木演習Ⅱ Civil Engineering Exercise II	2				2*		
	卒業研究 Graduation Research	10				10		
	数学Ⅴ Mathematics V	2				2*		
〇応用地盤工学 Applied Geotechnical Engineering	1				1			
環境工学Ⅰ Environment Engineering II	2				2*			
水処理工学Ⅱ Water Treatment Engineering I	1			1				
交通工学 Traffic Engineering	1				1			

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes	
			1	2	3	4	5		
必修科目 Required	工学セミナー Civil and Environmental Engineering Seminar	2				2			
	都市基盤 維持・管理工学基礎 Introduction to Infrastructure Maintenance Engineering	1					1	防災・減災系列は選択科目	
	〇コンクリート構造設計演習 Exercises on Reinforced Concrete Structure	2					2*	防災・減災系列は選択科目	
	防災 水防災工学 Water Induced Disaster Prevention Engineering	1					1	都市基盤系列は選択科目	
	減災 防災学 Disaster Prevention	2					2*	都市基盤系列は選択科目	
	開設単位小計 Subtotal	81	6	8	13	25 (1)	28 (1)		
	選択科目 Elective	〇CADⅡ CAD II	1	1					
		製図法Ⅱ Drawing for Civil Engineering II	1		1				
		〇建築法規 Building Codes	2					2*	
		土木情報処理Ⅱ Information Processing II for Civil Engineering	2					2*	
環境工学Ⅱ Environment Engineering II		1				1			
〇施工法Ⅱ Construction Method for Civil and Environmental Engineering II		1					1		
技術英語Ⅱ Technical English II		2				2*			
輸送施設工学 Transport Facilities Engineering		1					1		
道路施策概論 Outline of Road Policy		1				1			
知的財産権 Intellectual Property		1					1		
物理学特論 Advanced Physics		1				1			
経営学概論 Introduction to Business Administration		1				1			
AI 演習 AI seminar		1					1		
アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship		1	1						
アントレプレナーシップ実践 Entrepreneurship Practice		1				1*			
原子力発電基礎 Elements of Nuclear Power Generation		1	1					集中講義	
放射線基礎 Introduction to Radioactivity and Radiation		1		1				集中講義	
廃炉ロボット概論 Fundamentals of nuclear decommissioning robotics		1			1			集中講義	
廃炉工学 Decommissioning of Nuclear Plant		1				1		集中講義	
チャレンジセミナー Challenge seminar		1				(1)			
開設単位小計 Subtotal		23	2 (1)	2 (1)	2 (1)	7 (1)	9 (1)		
専門科目 Technical Subjects		開設単位合計 Total Credits Offered	102	8	10	15	32 (1)	36 (1)	82単位以上 修得 (卒業要件)
		修得可能単位数 Earnable Credits	102	8	10	15	32 (1)	36 (1)	
一般科目 General Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	75単位以上 修得 (卒業要件)	
	修得可能単位数 Earnable Credits	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)		
合計 Total	開設単位合計 Total Credits Offered	182	33 (1)	32 (1)	31 (1)	44 (2)	40 (2)	167単位以上 修得 (卒業要件)	
	修得可能単位数 Earnable Credits	182	33 (1)	32 (1)	31 (1)	44 (2)	40 (2)		

(注) 〇印は国土交通大臣の指定する建築に関する科目(指定科目)
 *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)
 ()の数字は開講期を指定しない単位で外数

専門科目

Technical Courses

ビジネスコミュニケーション学科 Department of Business Communication

授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
		1	2	3	4	5	
日本史Ⅰ History of Japan I	1	1					
日本史Ⅱ History of Japan II	1	1					
コミュニケーション論Ⅰ Communication Science I	1	1					
コミュニケーション論Ⅱ Communication Science II	1	1					
世界史Ⅰ History of the World I	1	1					
世界史Ⅱ History of the World II	1	1					
情報基礎演習Ⅰ Computer Science Practice I	1	1					
情報基礎演習Ⅱ Computer Science Practice II	1	1					
経営入門Ⅰ Introduction to Business Administration I	1	1					
経営入門Ⅱ Introduction to Business Administration II	1	1					
簿記概論 Introduction to Bookkeeping	1	1					
数理統計Ⅰ Mathematical Statistics I	1		1				
Business English Basics I	1		1				
Business English Basics II	1		1				
プログラミング演習Ⅰ Advanced Programming I	1		1				
プログラミング演習Ⅱ Advanced Programming II	1		1				
経済入門 Introduction to Economics	1		1				
開発入門 Introduction to Development Studies	1		1				
経営学 Business Administration	1		1				
財務会計Ⅰ Financial Accounting I	1		1				
財務会計Ⅱ Financial Accounting II	1		1				
プレセミナーⅠ Pre-Seminar I	1		1				
プレセミナーⅡ Pre-Seminar II	1		1				
マクロ経済学Ⅰ Macroeconomics I	2			2*			
マクロ経済学Ⅱ Macroeconomics II	2			2*			
原価計算 Cost Accounting	2			2*			
Research in English	2			2*			
セミナーⅠ Seminar I	2			2			
セミナーⅡ Seminar II	2			2			
組織論 Organization Theory	2			2*			
経営戦略論 Management Strategy	2			2*			
財政学 Finance	2			2*			
環境科学 Environmental Science	1			1			
共生システム Studies on Convivial Society	2				2*		
応用数学論 Applied Mathematics	2				2*		
校外実習 Extramural Practice	1				(1)		
卒業研究Ⅰ Graduation Research I	4					4	
卒業研究Ⅱ Graduation Research II	6					6	
開設単位小計 Subtotal	57	4	7	12	19 (1)	14 (1)	

授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes	
		1	2	3	4	5		
微積分Ⅰ Calculus I	1	1						
現代社会特論A Advanced Study on Contemporary SocietyA	1		1					
微積分Ⅱ Calculus II	1		1					
微積分Ⅲ Calculus III	1		1					
経営情報演習Ⅰ Management Information Practice I	2				2*			
経営情報演習Ⅱ Management Information Practice II	2				2*			
情報処理演習Ⅰ Information Processing Practice I	2				2*			
情報処理演習Ⅱ Information Processing Practice II	2				2*			
線形代数 Linear Algebra	1				1			
数理統計Ⅱ Mathematical Statistics II	1				1			
開発学 Development Studies	2				2*			
会計理論 Accounting Theory	2				2*			
Survey of Current Social Events	2				2*			
国際経営論 International Management	2					2*		
女性労働史 Gender and Labor History	2					2*		
現代社会特論B Advanced Study on Contemporary SocietyB	1				1			
現代社会特論C Advanced Study on Contemporary SocietyC	1				1			
Business English Practice I	2					2*		
Business English Practice II	2					2*		
情報システム演習Ⅰ Seminar in Information Systems I	2					2*		
情報システム演習Ⅱ Seminar in Information Systems II	2					2*		
数理統計Ⅲ Mathematical Statistics III	2					2*		
国際経済学 International Economics	2					2*		
AI 演習 AI seminar	1					1		
アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship	1	1						
アントレプレナーシップ実践 Entrepreneurship Practice	1				1*			
知的財産権 Intellectual Property	1					1		
原子力発電基礎 Elements of Nuclear Power Generation	1	1					集中講義	
放射線基礎 Introduction to Radioactivity and Radiation	1		1				集中講義	
廃炉ロボット概論 Fundamentals of nuclear decommissioning robotics	1			1			集中講義	
廃炉工学 Decommissioning of Nuclear Plant	1				1		集中講義	
防災学 Disaster Prevention	2					2*		
チャレンジセミナー Challenge seminar	1			(1)				
開設単位小計 Subtotal	49	2 (1)	2 (1)	4 (1)	18 (1)	22 (1)		
専門科目 Technical Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	104	6	9	16	37 (1)	35 (1)	82単位以上 修得 (卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	104	6	9	16	37 (1)	35 (1)	
一般科目 General Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	78	26 (1)	22 (1)	14 (1)	11 (1)	4 (1)	75単位以上 修得 (卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	78	26 (1)	22 (1)	14 (1)	11 (1)	4 (1)	
合計 Total	開設単位合計 Total Credits Offered	182	32 (1)	32 (1)	31 (1)	42 (2)	38 (2)	167単位以上 修得 (卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	182	32 (1)	32 (1)	31 (1)	42 (2)	38 (2)	

(注) *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)
()の数字は開講期を指定しない単位で外数

専攻科

Programs for Advanced Courses



福島高専アドミッション・ポリシー
Admission Policy

求める学生像
Prospective students

全専攻

1. 専門の知識と基礎技術を有し、より高度な実践的かつ創造的技術を修得する意欲のある人（知識・技能）
2. 工学と経営の融合した分野に強い興味を持っている人（思考力・判断力・表現力）
3. 職業人としての倫理観を身につけ、専門分野で地域及び社会の発展に貢献したい人（主体性・協働）

All Advanced courses

1. Students who have basic knowledge and skills in the fields of their own choices and who have the motivation to learn practical and creative technologies
2. Students who have specific interests in the combined fields of engineering and management
3. Students who have a sense of professional ethics and who will contribute to both regional and global societies with their knowledge and skills in their chosen field

生産・情報システム工学コース

1. 機械・電気の専門的な基礎力を有し、機械・情報を活用した創造的なモノづくりに興味を持っている人
2. 生産・情報分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

エネルギーシステム工学コース

1. 機械・電気の専門的な基礎力を有し、エネルギー分野に興味を持っている人
2. エネルギー分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

化学・バイオ工学コース

1. 応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の学修と研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応できる知識とスキルを修得したい人
2. 工学を修める者としての確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

社会環境システム工学コース

1. 建設・環境工学の研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応する知識とスキルを修得したい人
2. 確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

Industrial Technology System Engineering Course

Production and Information System Engineering Course

1. Students who have basic knowledge of mechanical and electrical engineering and who are interested in creative design and manufacturing abilities of making use of their own knowledge on machine and information
2. Students who have the potential to be engineers in the production and information fields and who have the desire to contribute to the development of our society

Energy System Engineering Course

1. Students who have specialized basic knowledge of both mechanical and electrical fields and who are interested in the energy field
2. Students who have the potential to be excellent engineers of the energy field and desire to contribute to the development of our society

Chemistry and Bioengineering Course

1. Students who will be dedicated to their own studies and researches of applied chemistry and bioengineering and related fields and who have the desire to obtain knowledge and skills to deal with advanced technology flexibly
2. Students who have a sense of ethics as an engineer-to-be and who have the desire to contribute to the advancement of the field of engineering and the improvement of both regional or global societies

Social Environmental System Engineering Course

1. Students who will be dedicated to their own researches of Civil and Environmental Engineering and who have the desire to obtain knowledge and skills to flexibly respond to advanced technology
2. Students who have a sense of ethics and who have the desire to contribute to the advancement for engineering and the improvement of regional or global society

産業技術システム工学専攻

ビジネスコミュニケーション学専攻

ビジネスコミュニケーション学コース

1. 現代社会への幅広い関心を持ち、社会科学の研究と、語学や情報、環境問題などの関連分野の学習に打ち込む意欲を持っている人
2. たしかなコミュニケーション能力と情報リテラシーを身につけ、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍する意欲のある人

Business Communicology Course

1. Students who have broad interests in contemporary society and who have willingness to engage in social science researches and related fields such as language, information, environmental problems
2. Students who have rich communication skills and information literacy and who are motivated to work globally beyond the boundaries of the local community and the international community

入学者選抜
の基本方針

高等専門学校卒業程度の、各専門に必要な基礎的素養（工学系では、数学、各専門分野の基礎的知識・能力、ビジネス系では、小論文、経営学分野の基礎的知識・能力）を有していることを評価します。評価方法は、推薦による選抜では推薦書・調査書・志望調査書、学力試験による選抜では調査書・志望調査書・学力試験、社会人特別選抜では調査書・志望調査書および面接とします。

また、外国語による国際的コミュニケーション基礎能力を有していることを、英語の資格に関する証明書で評価します。

Selection of Students

Applicants must have a basic scholastic knowledge equivalent to graduates of the national institute of technology. In addition, basic understanding of mathematics and basic knowledge and skills in mechanical, electrical, civil or chemical engineering are required for the engineering courses. For the business course, basic knowledge of social science and business management are required. Foreign language communication skills are also considered as the important factor.

●本校専攻科について

本校では、平成16年度に専攻科が設置され、設置当初から3専攻（「機械・電気システム工学専攻」、「物質・環境システム工学専攻」、及び「ビジネスコミュニケーション学専攻」）で専攻科教育を行ってきました。

当初から各専攻で専門科目での融合、工学系専攻とビジネス系専攻の融合によるシナジー教育を目指し、専門関連科目だけではなく一般科目も充実させた教育を実践してきました。

さらに年度が進むにつれ、社会からの要請も徐々に変化してきており、それに合わせたカリキュラム改訂も数回にわたり行ってきました。

平成23年3月の東日本大震災及びそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、社会情勢の変化や地域のニーズが大きく変化したことから再生可能エネルギー分野、原子力安全分野、減災工学分野で地域の復興に活躍できる人材を育成するプログラムを導入し、平成27年4月に2専攻多コース制への改組を行いました。

Advanced Course

The Advanced Course was established in 2004, and comprised three courses: Mechanical and Electrical System Engineering, Chemical and Environmental System Engineering, and Business Communication.

From the beginning, the aim of each course was to combine its focus with another subject, for example engineering with business and speciality subjects with more general subjects. The curriculum was revised several times to correspond with changing demands and focus of our present societies or countries.

On March 2011, Great East Japan Earthquake and the accident of the Fukushima First Power Plant occurred, and the social situation and the needs of the region changed greatly. We launched the Reconstruction Human Resource Development Special Program in the renewable energy, the nuclear safety engineering and disaster mitigation engineering. Furthermore in April 2015 we reorganized the two major multi-course systems.

● 特色

1. 工学系・ビジネス系シナジー効果による MOT (技術経営) 教育

各専攻での専門分野に関する専門科目を学ぶほか、2 専攻共通の専門関連科目等を履修するとともに実践的職業人として必要な、他専攻専門分野の知識の習得及び思考力の育成を図ることにより、従来の専門分野の枠組みを超えた技術者やビジネスマンの育成をめざすシナジー教育を実施しています。これらの工学系・ビジネス系を融合させたカリキュラムのもと、「経営のわかる実践的技術プロフェッショナル」、「技術のわかる実践的ビジネスプロフェッショナル」の育成をめざす MOT (技術経営) 教育を実施しています。

2. 実践的かつ創造的な少人数専門教育

各専攻ではより高度な専門科目の講義と少人数グループでの実験・セミナーが行われ、専門事項の深い理解と実験技術等を修得します。また、特別研究では、研究課題について文献調査・参考資料の作成、プレゼンテーションを実施し、専門知識の理解と表現及び発表能力を習得します。

3. 地域と連携した高度な研究活動

さらに、特別研究では主に地域に密着したテーマを採り上げ、地元企業との共同研究をめざすとともに、学会等での研究成果発表を義務づけ、創造性に富む研究開発能力を育成します。また、1 年生には夏季休業中に長期インターンシップを実施します。

4. 復興人材育成特別プログラム

再生可能エネルギー、原子力安全、減災工学の3 分野における復興支援に活躍できる人材を育成するため、復興支援特別科目を7 科目開講しています。プログラム履修生は、この科目群の中から4 科目以上を修得し、特別研究において復興支援に関係する課題に取り組みます。

Distinctive Features

1. Education in MOT (Management of Technology) resulting from the synergy of engineering and business studies

In addition to specialized subjects in their field of study, students will be expected to take specialized subjects in related fields offered by all Advanced Courses. Moreover the National Institute of Technology, Fukushima College provides synergistic education to nurture engineers and business specialists whose knowledge and skills go beyond existing frameworks for their fields of specialization. We aim to foster practical professionals with specialized knowledge in and out of their original study fields.

2. Practical and highly specialized education in small groups

Each Advanced Course provides lectures in highly specialized subjects, experiment sessions, and seminars in small groups. This enables students to acquire a deeper understanding of the specialized subjects and experimental techniques. Students are required in their graduation thesis research to study literature related to their research topics, compile references, make presentations, and develop students' presentational skills.

3. Advanced research activities in collaboration with the local community

Students are encouraged to choose research topics closely related to the local community for their Special Research with the aim of engaging in joint research with local industries with which long-term internships are planned. Furthermore, because students are obliged to present the results of their researches at academic conferences, Advanced Courses strive to nurture their ability to engage in creative researches and developments.

4. The Reconstruction Human Resources Development Special Program

12 special subjects of restoration and reconstruction in this program were started to educate the specialists who can play an active part in the three fields: restoration and reconstruction in Renewable Energy, Nuclear Safety and Disaster Mitigation. The student who takes this program acquires one beyond 5 subjects from this subject group and work on a problem related to restoration and reconstruction in an Engineering Experiment and a Graduation Thesis Research.

● 一般科目・専門関連共通科目

各専攻共通 Educational Curriculum (General Education Subjects and Related Specialized Subjects for all two advanced courses)

区分	必修 選択 の別	授 業 科 目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Yearly distributions				備 考 Notes	
				1 年 1st year		2 年 2nd year			
				前期 1st Semester	後期 2nd Semester	前期 1st Semester	後期 2nd Semester		
一般科目 General Education Subjects	必修科目 Required	SDGs 探究 SDGs Explorations	2	2				ビジネスコミュニケーション学コースは選択科目	
		現代英語 I Contemporary English I	2	2				ビジネスコミュニケーション学コースは選択必修科目	
	開設単位計 Subtotal	4	4	0					
	選択科目 Elective	現代英語 II Contemporary English II	2		2				ビジネスコミュニケーション学コースは選択必修科目 現代英語 I、II、III から 2 科目以上修得すること
		現代英語 III Contemporary English III	2		2				
		日本文化論 Japanese Cultural Review	2	2					
		グローバル研修 Global Studies	1	(1)					
開設単位計 Subtotal	7	4 (1)		2 (1)					
一般科目開設単位計 General Education Subjects Subtotal	11	8 (1)		2 (1)					
専門関連科目 Specialized Subjects in Related Fields common to all Advanced Courses	必修科目 Required	システムデザイン System Design	2	2					
		産業財産権 Industrial Property	2	2					
		生産管理論 Manufacturing System Engineering	2	2					機械工学区分 ビジネスコミュニケーション学コースは専門科目
		産業技術論 Industrial Technology	2		2				
		製品開発論 Research and Development of Product	2			2			
	産業安全工学総論 Industrial Safety Engineering	2				2		復興人材育成特別科目 ビジネスコミュニケーション学コースは選択科目	
	開設単位計 Subtotal	12	8		4				
選択科目 Elective	現代化学 Modern Chemistry	2	2						
	新事業開発 New Business Development Theories	2	2					ビジネスコミュニケーション学コースは専門科目必修	
	科学技術史 History of Science and Technology	2		2					
開設単位計 Subtotal	6	4		2					
専門関連科目開設単位計 Subtotal	18	12		6					

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

産業技術システム工学専攻

Industrial Technology System Engineering Course

本科の機械システム工学科、電気電子システム工学科、化学・バイオ工学科、都市システム工学科のそれぞれの専門分野の基礎学力を充実させ、その応用性や専門性を深めます。また復興人材育成特別プログラムにより地域復興に活躍できる人材を育成します。

本専攻は次の4つのコースから成り立っています。

Based on the four undergraduate departments of Mechanical System Engineering, Electrical and Electronic System Engineering, Applied Chemistry and Biochemistry, Civil and Environmental Engineering, this program seeks to enhance the basic skills of each of these areas of expertise and deepen their applicability. Furthermore, the Reconstruction Human Resources Development Special Program is designed to nurture and develop human resources that play an active part in the reconstruction of localities.

This specialty courses consists of the following four courses.

機械系・電気系の材料工学分野及び機械加工系、電子・情報系を融合した教育・研究

生産・情報システム工学コース

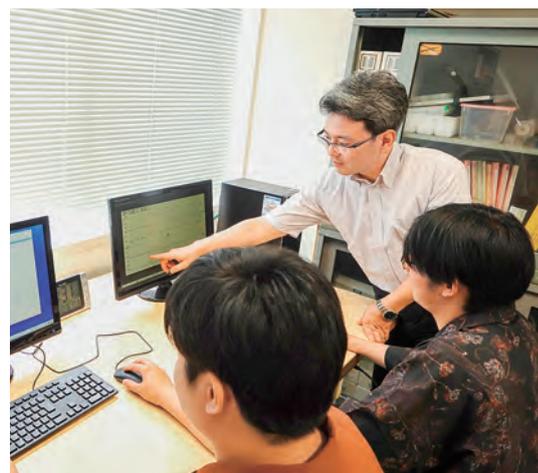
Production and Information System Engineering Course

機械系・電気系の材料工学分野及び機械加工系、電子・情報系を融合した教育・研究を行います。

機械設計関連、システム制御関連、電子物性関連及び情報関連分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び、生産・情報分野で活躍できる人材を育成します。このコースの教育・研究は復興人材育成特別プログラムのロボット技術、メカトロニクス、防災通信等と密接に関係しており、これらの分野で地域の復興に活躍できる人材も育成します。

Through advanced application and specialized subjects of mechanical design, systematic control, electronic properties and information, this course fosters talented individuals who can play an active part in the field of production and information.

The academic and research aspects of this course are closely related to robot technology, mechatronics and disaster communication in the Reconstruction Human Resources Development Special Program.



●専攻科専門科目 Educational Curriculum (Specialized Subjects)

生産・情報システム工学コース 専門科目 Production and Information System Engineering Course

区分	必修 選択 の別	授 業 科 目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Yearly Distribution				備 考 Notes
				1 年 1st year		2 年 2nd year		
				前期 1st Semester	後期 2nd Semester	前期 1st Semester	後期 2nd Semester	
専門 関連 科目 Specialized Subjects in Related Fields common to all Advanced Courses	必修 科目 Required	応用解析学 Applied Analytics	2	2				
		材料科学 Material Science	2		2		電気電子工学区分は選択科目(専門関連科目)	
		開設単位計 Subtotal	4	2		2		
	選択 科目 Ective	力学総論 General and Quantum Mechanics	2	2				復興人材育成特別科目
		環境保全工学 Environmental Preservation Engineering	2	2				
		応用電子制御工学 Applied Electronically Control Engineering	2	2				電気電子工学区分は必修科目(専門科目)
		数理計画論 Mathematical Planning	2		2			電気電子工学区分は必修科目(専門科目)
		減災工学 Disaster Prevention Engineering	2		2			復興人材育成特別科目
		都市経済学 Urban Economics	2			2		復興人材育成特別科目
		システム論 System Theories	2			2		
		電力流通工学 Power Delivery System Engineering	2			2		復興人材育成特別科目、電気電子工学区分は選択科目(専門科目)
		電子物性工学 Electronic Material Science and Engineering	2			2		電気電子工学区分は選択科目(専門科目)
		応用電磁気学 Applied Electromagnetism	2			2		電気電子工学区分は選択科目(専門科目)
		応用半導体工学 Applied Semiconductor Engineering	2		2			電気電子工学区分は選択科目(専門科目)
開設単位計 Subtotal	22	10		12				
開設単位合計 Total		26		12		14		
専門 科目 Technical Subjects	必修 科目 Required	特別研究 I Graduation Thesis Research I	6		6			
		特別研究 II Graduation Thesis Research II	10			10		
		品質工学 Quality Engineering	2	2				電気電子工学区分は選択科目(専門科目)
		情報科学論 Informational Science	2		2			
		応用メカトロニクス Applied Mechatronics	2			2		復興人材育成特別科目、電気電子工学区分は選択科目(専門関連科目)
		制御システム工学 Control System Engineering	2			2		電気電子工学区分は選択科目(専門科目)
		産業応用情報工学 Applied Industrial Information Engineering	2			2		電気電子工学区分は選択科目(専門科目)
		応用塑性加工学 Applied Plasticity	2			2		電気電子工学区分は選択科目(専門関連科目)
		熱流体工学 Thermo-Fluid Engineering	2				2	電気電子工学区分は選択科目(専門関連科目)
		インターンシップ A Internship A	2				(2)	
	開設単位計 Subtotal	32	10 (2)		20 (2)			
	選択 科目 Ective	インターンシップ B Internship B	2			(2)		
		インターンシップ C Internship C	2			(2)		
開設単位計 Subtotal		4			(4)			
開設単位合計 Total		36		10 (6)		20 (6)		

()の数字は開講期を指定しない単位で外数

エネルギーシステム工学コース

Energy System Engineering Course

機械系・電気系のエネルギー関連分野の教育・研究を行います。

エネルギー分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び、機械・電気関連のエネルギー分野で活躍できる人材を育成します。

このコースの教育・研究は復興人材育成特別プログラムの再生可能エネルギー分野、原子力安全工学分野にも密接に関係しており、エネルギー関連産業で活躍できる人材も育成します。



This course aims to develop human resources that can play an active part in the mechanical and electrical energy fields through more advanced and applicable education of highly specialized subjects related to the energy sector.

The education and research of this course is closely related to renewable energy fields and nuclear safety engineering fields in the Reconstruction Human Resources Development Special Program.

●専攻科専門科目 Educational Curriculum (Specialized Subjects)

エネルギーシステム工学コース 専門科目 Energy System Engineering Course

区分	必修 選択 の別	授 業 科 目 Subjects	単位数 Credits	学 年 別 配 当 Yearly Distribution				備 考 Notes
				1 年 1st year		2 年 2nd year		
				前 期 1st Semester	後 期 2nd Semester	前 期 1st Semester	後 期 2nd Semester	
専門 関連 科目 Specialized Subjects in Related Fields common to all Advanced Courses	必修 科目 Required	エネルギー変換工学 Energy Conversion Engineering	2	2				
		応用解析学 Applied Analytics	2	2				
		開 設 単 位 計 Subtotal	4	4	0			
	選択 科目 Elective	力学総論 General and Quantum Mechanics	2	2				
		環境保全工学 Environmental Preservation Engineering	2	2				復興人材育成特別科目
		材料科学 Material Science	2		2			機械工学区分は必修科目(専門関連科目)
		減災工学 Disaster Prevention Engineering	2		2			復興人材育成特別科目
		応用塑性加工学 Applied Plasticity	2		2			機械工学区分は必修科目(専門科目)
		応用メカトロニクス Applied Mechatronics	2		2			復興人材育成特別科目、機械工学区分は必修科目(専門科目)
		都市経済学 Urban Economics	2			2		復興人材育成特別科目
		システム論 System Theories	2			2		
熱流体工学 Thermo-Fluid Engineering		2			2		機械工学区分は必修科目(専門科目)	
開 設 単 位 計 Subtotal	18	4	14					
開 設 単 位 合 計 Total		22	8	14				
専門 科目 Technical Subjects	必修 科目 Required	特別研究 I Graduation Thesis Research I	6	6				
		特別研究 II Graduation Thesis Research II	10		10			
		応用電子制御工学 Applied Electronically Control Engineering	2	2				機械工学区分は選択科目(専門関連科目)
		数理計画論 Mathematical Planning	2		2			機械工学区分は選択科目(専門関連科目)
		情報科学論 Informational Science	2		2			
		インターンシップ A Internship A	2		(2)			
		開 設 単 位 計 Subtotal	24	12 (2)	10 (2)			
	選択 科目 Elective	品質工学 Quality Engineering	2	2				機械工学区分は必修科目(専門科目)
		産業応用情報工学 Applied Industrial Information Engineering	2		2			機械工学区分は必修科目(専門科目)
		制御システム工学 Control System Engineering	2		2			機械工学区分は必修科目(専門科目)
		電子物性工学 Electronic Material Science and Engineering	2			2		機械工学区分は選択科目(専門関連科目)
		応用電磁気学 Applied Electromagnetism	2			2		機械工学区分は選択科目(専門関連科目)
		応用半導体工学 Applied Semiconductor Engineering	2		2			機械工学区分は選択科目(専門関連科目)
		電力流通工学 Power Delivery System Engineering	2			2		復興人材育成特別科目、機械工学区分は選択科目(専門関連科目)
		インターンシップ B Internship B	2		(2)			
インターンシップ C Internship C	2		(2)					
開 設 単 位 計 Subtotal	18	4 (4)	10 (4)					
開 設 単 位 合 計 Total		42	16 (6)	20 (6)				

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

化学・バイオ工学コース

Chemistry and Bioengineering Course



応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の教育・研究を行います。

化学・バイオ工学科（準学士課程）専門分野の基礎学力をさらに充実させたうえで、その専門性を高めます。さらに、現代の応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野における先端技術やその動向に柔軟に対応できる人材の育成をめざします。

このコースの教育・研究は復興人材育成特別プログラム放射線計測関連分野に関係しており、廃炉技術の重要な分野である放射線及び放射線物質の取扱いの分野で活躍できる人材も育成します。

We aim to foster human resources who are capable of adapting and responding to cutting-edge technology and its movement in the areas of modern applied chemistry and biochemistry. Further studies in these fields will enhance the potential opportunities for the students to be involved in various careers in their future.

●専攻科専門科目 Educational Curriculum (Specialized Subjects)

化学・バイオ工学コース 専門科目 Chemistry and Bioengineering Course

区分	必修 選択 の別	授 業 科 目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Yearly Distribution				備 考 Notes
				1 年 1st year		2 年 2nd year		
				前期 1st Semester	後期 2nd Semester	前期 1st Semester	後期 2nd Semester	
専門 関連 科目 Specialized Subjects in Related Fields common to all Advanced Courses	必修 科目 Required	応用解析学 Applied Analytics	2	2				
		開 設 単 位 計 Subtotal	2	2		0		
	選択 科目 Elective	力学総論 General and Quantum Mechanics	2	2				
		環境保全工学 Environmental Preservation Engineering	2	2				復興人材育成特別科目
		情報科学論 Informational Science	2		2			
		数理計画論 Mathematical Planning	2		2			
		応用メカトロニクス Applied Mechatronics	2			2		復興人材育成特別科目
		減災工学 Disaster Prevention Engineering	2			2		復興人材育成特別科目
		都市経済学 Urban Economics	2				2	復興人材育成特別科目
		システム論 System Theories	2				2	
電力流通工学 Power Delivery System Engineering	2				2	復興人材育成特別科目		
開 設 単 位 計 Subtotal	18	8		10				
開 設 単 位 合 計 Total			20	10		10		
専門 科目 Technical Subjects	必修 科目 Required	特別研究Ⅰ Graduation Thesis Research I	6	6				
		特別研究Ⅱ Graduation Thesis Research II	10			10		
		物質プロセス工学 Material Process Engineering	2	2				
		応用材料化学 Applied Material Chemistry	2			2		
		生体分子機能工学 Biomolecular Functional Engineering	2				2	
		材料科学 Material Science	2			2		
		インターンシップ A Internship A	2				(2)	
	開 設 単 位 計 Subtotal	26	8 (2)		16 (2)			
	選択 必修 科目 Elective Required	応用合成化学 Applied Synthetic Chemistry	2			2		3科目以上修得すること
		構造物理化学 Structural Physical Chemistry	2			2		
		応用有機化学 Applied Organic Chemistry	2			2		
		現代分析化学 Modern Analytical Chemistry	2			2		
	開 設 単 位 計 Subtotal	8	0		8			
選択 科目 Elective	インターンシップ B Internship B	2				(2)		
	インターンシップ C Internship C	2				(2)		
	開 設 単 位 計 Subtotal	4				(4)		
開 設 単 位 合 計 Total			38	8 (6)		24 (6)		

()の数字は開講期を指定しない単位で外数

社会環境システム工学コース

Social Environmental System Engineering Course



建設・環境系の教育・研究を行います。
 土木工学と環境工学に関する専門知識を修得し、さらに関連科目の履修を通して複眼的視野を深めます。これらを通して日々進化する先端技術に柔軟に対応しつつ、環境に配慮することのできる建設技術を身につけた人材を育成します。
 このコースの教育・研究は、復興人材育成特別プログラムの減災工学分野に関係しており、まちを災害から守る技術分野や災害復興に取り組む分野で活躍できる人材も育成します。

The course is designed for students to acquire expertise in both civil engineering and environmental engineering, and deepen their multilateral viewpoints. While responding flexibly to evolving advanced technology, we aim to train engineers equipped with the skills of construction technology and environmental consciousness.
 This course is closely associated with disaster mitigation engineering in the Reconstruction Human Resources Development Special Program.

●専攻科専門科目 Educational Curriculum (Specialized Subjects) 社会環境システム工学コース 専門科目 Social Environmental System Engineering Course

区分	必修 選択 の別	授 業 科 目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Yearly Distribution				備 考 Notes
				1 年 1st year		2 年 2nd year		
				前期 1st Semester	後期 2nd Semester	前期 1st Semester	後期 2nd Semester	
専門 関連 科目 Specialized Subjects in Related Fields common to all Advanced Courses	必修 科目 Required	応用解析学 Applied Analytics	2	2				
		開 設 単 位 計 Subtotal	2	2	0			
	選択 科目 Elective	力学総論 General and Quantum Mechanics	2	2				
		情報科学論 Informational Science	2		2			
		材料科学 Material Science	2			2		
		応用メカトロニクス Applied Mechatronics	2			2		復興人材育成特別科目
		都市経済学 Urban Economics	2				2	復興人材育成特別科目
		システム論 System Theories	2				2	
		電力流通工学 Power Delivery System Engineering	2				2	復興人材育成特別科目
開 設 単 位 計 Subtotal	14	4		10				
開 設 単 位 合 計 Total			16	6		10		
専門 科目 Technical Subjects	必修 科目 Required	特別研究 I Graduation Thesis Research I	6		6			
		特別研究 II Graduation Thesis Research II	10			10		
		環境保全工学 Environmental Preservation Engineering	2	2				復興人材育成特別科目
		構造解析論 Analytics of Structures	2	2				
		数理計画論 Mathematical Planning	2		2			
		水工学 Hydraulic Engineering	2			2		
		減災工学 Disaster Prevention Engineering	2			2		復興人材育成特別科目
		地盤工学特論 Advanced Geotechnical Engineering	2			2		
		維持・管理工学 Infrastructure Maintenance Engineering	2				2	
		水環境工学 Water Environmental Engineering	2				2	
	インターンシップ A Internship A	2				(2)		
	開 設 単 位 計 Subtotal	34	12 (2)		20 (2)			
	選択 科目 Elective	インターンシップ B Internship B	2			(2)		
		インターンシップ C Internship C	2			(2)		
開 設 単 位 計 Subtotal		4			(4)			
開 設 単 位 合 計 Total			38	12 (6)		20 (6)		

()の数字は開講期を指定しない単位で外数

ビジネスコミュニケーション学専攻

Business Communicology Course

本科のビジネスコミュニケーション学科の専門的な基礎学力を充実させ、その応用性や専門性を深めることで、地域社会の発展に貢献するとともに、グローバルに活躍できる人材を育成します。本専攻は次の1つのコースから成り立っています。

Students will be expected to enhance the professional academic skills of social sciences learned in the associate degree programs, and deepen their applicability and expertise. In addition, we will cultivate talented individuals who can play an active part in community reconstruction by Reconstruction Human Resources Development Special Program. This specialty course consists of the following one course.

社会科学系、特にビジネスに関連する研究・教育

ビジネスコミュニケーション学コース

Business Communicology Course

準学士課程のビジネスコミュニケーション学科で習得した社会科学系知識の応用力を育み、さらに専門性を深める科目を履修します。くわえて、工学系とビジネス系のシナジー効果を期待できる科目を履修することにより、工学の基礎知識と国際社会で通用するビジネスコミュニケーション能力を併せ持つ人材を育成します。

このコースの教育・研究は復興人材育成特別プログラムの各分野に関係しており、社会の持続可能性に配慮しながら地域社会の発展に貢献するとともに、たしかなコミュニケーション能力と国際感覚をもち、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍できる人材も育成します。



With expectations of synergy effects between business-based courses and engineering courses, we will seek to cultivate human resources with the basic engineering knowledge, engineering thinking skills, and the business communication skills corresponding to the international community with a global viewpoint as well as contributing to local societies. This course concerns sustainable development in the Reconstruction Human Resources Development Special Program.

●専攻科専門科目 Educational Curriculum (Specialized Subjects)

ビジネスコミュニケーション学コース 専門科目 Business Communicology Course

区分	必修 選択 の別	授 業 科 目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Yearly Distribution				備 考 Notes	
				1 年 1st year		2 年 2nd year			
				前期 1st Semester	後期 2nd Semester	前期 1st Semester	後期 2nd Semester		
専門 関連 科目 Specialized Subjects in Related Fields common to all Advanced Courses	必修 科目 Required	経済産業論 Industrial Economics	2			2		復興人材育成特別科目	
		都市経済学 Urban Economics	2				2	復興人材育成特別科目	
		開設単位計 Subtotal	4	0			4		
	選択 科目 Elective	環境保全工学 Environmental Preservation Engineering	2	2					復興人材育成特別科目
		ビジネス英語 Business English	2				2		
		減災工学 Disaster Prevention Engineering	2				2		復興人材育成特別科目
		開設単位計 Subtotal	6	2			4		
開設単位合計 Total		10	2			8			
専門 科目 Technical Subjects	必修 科目 Required	特別研究Ⅰ Graduation Thesis Research I	6	6					
		特別研究Ⅱ Graduation Thesis Research II	8			8			
		経営学演習 Business Practice Seminars	2	2					
		データ分析論 Data Analysis Theories	2	2					
		財務諸表論 Financial Reporting Theories	2	2					
		広告メディア論 Advertisement and Media Vehicle Theories	2	2					
		経営管理論 Business Management Studies	2		2				
		グローバル経営論 Global Management Studies	2			2			
		経営分析論 Financial Statements Analytics	2				2		
		インターンシップ A Internship A	2	(2)					
	開設単位計 Subtotal	30	16 (2)		12 (2)				
	選択 科目 Elective	情報科学論 Informational Science	2				2		
		システム論 System Theories	2				2		
		インターンシップ B Internship B	2	(2)					
インターンシップ C Internship C		2	(2)						
開設単位計 Subtotal		8	(4)		4 (4)				
開設単位合計 Total		38	16 (6)		16 (6)				

()の数字は開講期を指定しない単位で外数

本校では、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を身につけるため、次のような教育課程の編成方針、および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

●編成方針

- (1) 準学士課程(本科)においては、くさび型[※]の構成であり、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」を身につけるための必修科目、選択科目を適切に設定し、5年一貫の体系的な教育課程を編成する。
専攻科においては、準学士課程の内容からの接続、発展を考慮した、より高度な教育課程を編成する。
※くさび型の教育課程：低学年次においては一般科目を多く配置し、学年の進行に伴い専門科目を多く配置する教育課程
- (2) 「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を深化させるため、高学年、及び専攻科においては、モノづくり、校外での体験、問題解決能力の養成等に関する科目を開設する。
- (3) 教育課程を編成するに当たっては、全学年で基本的な知識・技能の

修得、それらを応用し思考、判断する能力の修得、それらを自発的に学習できる態度・志向性を修得できるように配慮して、科目配置や科目毎の授業内容や授業計画を設計しシラバスに記載し、シラバスにしたがい教育を実施する。

●成績評価基準

- (1) 科目の成績評価は、定期試験の成績および平素の成績をもとに行う。評価方法はシラバスに記載し、記載された評価方法に基づいて公平に成績評価を実施する。
- (2) 講義科目では主に定期試験の筆記試験により、演習科目では筆記試験やレポート等を総合的に勘案し、さらに、実験・実習科目ではレポートや授業態度により評価する。
- (3) 科目の成績評価結果は100点法で行い、60点以上を合格とする。
- (4) 各科目について、成績評価が60点以上の場合は単位の修得を認定する。

●専攻科課程 各専攻、コースごとの教育課程編成方針

ディプロマポリシーで掲げた能力を育成するために、各専攻各コースでは、以下の科目群を系統的に編成する。

産業技術システム工学専攻

<生産・情報システム工学コース>

- (1) 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (2) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できるように、機械工学や電気電子工学を基盤として、生産・制御・情報・通信に関連した専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (3) モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学-ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
- (4) 国際社会に必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
- (5) 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

<エネルギーシステム工学コース>

- (1) 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (2) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できるように、機械工学や電気電子工学を基盤として、体・熱・電力・エネルギー等に関連した専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (3) モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学-ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
- (4) 国際社会に必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
- (5) 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

<化学・バイオ工学コース>

- (1) 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (2) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を修得できるように、応用化学や生物工学を基盤とした専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (3) モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学-ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
- (4) 国際社会に必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
- (5) 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

<社会環境システム工学コース>

- (1) 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (2) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を修得できるように、土木工学や環境工学を基盤とした専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (3) モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学-ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
- (4) 国際社会に必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
- (5) 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

ビジネスコミュニケーション学専攻

<ビジネスコミュニケーション学コース>

- (1) 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (2) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を修得できるように、経営学を基盤とした専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (3) 工学-ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つ

け解決する能力を修得できるように、ビジネスコミュニケーション学や産業技術システム工学に関連する他分野の科目を設け、実験・演習および講義を主とした学修を実施する。

- (4) 国際社会に必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
- (5) 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

サステナブルイノベーションセンター (SIセンター)

Sustainable Innovation Center

Sustainable Innovation Center was established in October 2022 in order to cooperate with F-REI (Fukushima Institute for Research, Education and Innovation, established in April 2023) as enhancement the capabilities of the Regional Reconstruction Support Office that used to be one of the intramural organizations of the National Institute of Technology, Fukushima College. Fukushima College concluded an agreement for cooperation and collaboration with F-REI on April 1, 2023, and the Sustainable Innovation Center will promote collaborative activities that effectively utilize both of the resources of institutions as a base with the aim of fostering human resources and promoting research. We will continue to contribute to the reconstruction and development of the coastal areas of Fukushima Prefecture and the entire Tohoku region.

本センターは、地域の復興支援及び令和5年4月に設立された福島国際研究教育機構（F-REI）との連携・支援を目的に、学内組織である地域復興支援室の機能を高度化する形で令和4年10月に設置されました。本校は令和5年4月1日にF-REIとの連携協力に関する協定を締結しており、本センターを連携拠点として双方の資源を有効的に活用した協働活動を推進し、人材育成・研究推進の充実が図られるよう活動していくこととしています。継続的に福島県浜通り地域の復興及び発展、福島や東北の創造的復興に貢献できるよう努めてまいります。

- 【F-REIとの連携事業（予定）】
- 理事長等によるトップセミナー
 - 公開講座・出前講座の実施等
 - 共同研究・研究者交流

国際化・SDGs 推進センター

Center for International Relations and SDGs Promotion

国際化・SDGs推進センターは、海外の大学等との学術交流、留学生の受入れ、本校学生の海外インターンシップ等の海外派遣等、学生及び教職員の国際交流活動を積極的に推進しています。

また、本校の教育目標である「持続可能な社会の発展」に貢献できる人材育成のため、国際的に持続可能な開発のための目標であるSDGsを学内に浸透させること、国内外のSDGs関連団体との連携を進めること等、学生及び教職員のSDGs推進にかかわる様々な活動を支援します。

The center aims to foster future global leaders who will contribute to the “Sustainable Development” of global and local societies. The center supports students, lecturers and staff participating in all types of training abroad. It also supports international students’ studies at NIT(KOSEN), Fukushima College. By promoting SDGs, the center aims to foster future engineers with ethics based on “Sustainability”.



シリコンバレー研修 企業訪問の様子

国際化・SDGs 推進センターの主な役割 The Center's Main Roles

- ・留学生及び海外インターンシップ学生等の受入れに関すること
- ・ Support international students and international internship students
- ・海外インターンシップ等学生の海外派遣に関すること
- ・ Support domestic students joining internships and study programs abroad
- ・海外の大学等との交流及び協定に関すること
- ・ MOUs and/or agreements with foreign universities and organizations
- ・国内外のSDGs及びサステナビリティを推進する団体や学会との交流及び協定に関すること
- ・ MOUs and/or agreements with domestic and foreign organizations which focus on the promotion of SDGs
- ・福島高専のSDGs及びサステナビリティ推進のホールスクールアプローチの展開に関すること
- ・ All activities which accelerate “whole-school-approaches to SDGs or campus sustainability promotion” at NIT (KOSEN), Fukushima College
- ・SDGs及びサステナビリティ推進に関する学生の活動を支援すること
- ・ Support students’ activities which focus on SDGs promotion

情報処理教育センター

Information Processing Education Center

本センターは、情報処理の教育及び研究に資するために設置された学内共同施設です。演習室には、学生の演習用及び研究用に、Lenovo製サーバ、パーソナルコンピュータを設置しています。また、学内LAN設備の中核機能をもち、各種サーバ類、ネットワーク管理機器が設置されています。

インターネットへは、高速イーサネット網でSINETへ1Gbps(帯域確保型)で接続し、全国の大学、高専及び研究機関はもとより、全世界と24時間情報のやりとりを行っています。

情報演習室は4室あり、演習用端末(Windows 11 Enterprise)を合計124台設置しています。基礎演習室、応用演習室は授業時間以外に学生へ開放しています。また、毎年一般向けに公開講座を実施し、多くの市民の方が訪れます。



講義演習室 Lecture and Seminar Room

The Information Processing Education Center was an intramural common space founded as a resource for both education and research. Education rooms have Lenovo servers and personal computers, and network management equipment which compose the core of the intramural LAN.

The Center has access to the Internet via Wide Area Ethernet to SINET and engages in a twenty-four-hour-a-day exchange of information with public and private universities, other national colleges of technology, and research institutes not only with in Japan but worldwide as well.

There are four Computer Rooms composed of 124 client computers(Windows 11 Enterprise). Computer Room For Literacy and Application is available for use by students outside of class time. Open education courses are held every year and attended by the general public.

地域環境テクノセンター

Center for Environmental Technology and Community Liaison (CETCL)

本センターは、それまでの環境科学教育研究センターと地域交流センターの両機能を合わせ、かつ効率よく新しい展開をはかることをめざして、平成18年に開設されました。本校が培った研究・教育の成果や試験・分析・教育技術等を地域の産業や文化の発展に積極的に貢献することを目的として設置された産学官民の連携を推進するための支援機関です。また環境科学に関する知識、技術の教育及び研究を行っており、地域社会の産業の発展と住民の生活環境の向上に貢献します。運営は、専門5学科、一般教科及び専攻科等から選出された教職員で構成される委員会によって行われ、4つの部門(管理運営、リエゾン、技術支援、教育支援)にわかれて活動しております。

研究・開発支援、試験・分析サービス、技術相談、講演会の開催や研究会の実施、技術・教育シーズ集の公開、公開講座・実習、出前授業等幅広く取組んで、地域の企業や小中学校に対する支援を行っています。

The CETCL opened in 2006 with the aim of integrating the functions of the former Environmental Science Education and Research Center and the Local Information Exchange Center, and developing new projects efficiently. The Center comprises a support organization that has been established to promote cooperation between industry, academia (civic) and government with the aim of contributing to the development of local industry and culture by actively sharing the results of KOSEN's daily research and education, and techniques for conducting experiments, analysis and education. The Center engages in research and education concerning knowledge and techniques related to environmental science and contributes toward the development of local industry and improvement of citizens' living environment.

The Center is administered by a committee comprising members selected from each of the five departments, which engages in four categories of activities (management and administration, liaison, technical support, and educational support). The Center provides assistance for research and development, experimental and analytical services, and technical consultation; holds lectures and hosts conferences; publishes a List of Seeds for Technology and Education; hosts open college meetings and training sessions; and engages in a wide variety of other activities that support local businesses, and primary and junior high schools.

モノづくり教育研究支援センター

Manufacturing Support Center for Education and Research

モノづくり教育研究支援センターは、2つの部門、専門的な常勤の技術職員12名から成る組織です。

センターの目的は、技術・技能支援、学生の実験・実習支援、教職員の研究支援です。

また、実習工場、モノづくり演習室の管理運営も行います。地元企業の技術相談、NPO法人など地元組織との連携も行っています。

Support center for MONOZUKURI (Creative Manufacturing) Education and Research consists of two divisions with 12 full-time technical staffs. The center aims to enhance the effects of hands-on technical training and experiments for students and the research activities of academic staffs. The center is also in charge of managing the manufacturing laboratories and facilities on campus. The center also provides technical consultancies to local industries and works with several local organizations, such as NPO.

廃炉・原子力規制等に関する人材育成の取組

Initiatives for human resource development related to decommissioning and nuclear regulation

東京電力福島第一原子力発電所事故を機に、本校では原子力発電所廃止措置分野や原子力及び原子力規制分野で活躍可能な高専生の人材育成を進めております。本取組は省庁や国内外の産業界、教育・研究機関等と連携をし、より多くの優秀な学生を原子力産業へ導くことを目的としています。

In the wake of the accident at TEPCO's Fukushima Daiichi Nuclear Power Station, we have been promoting human resource development of technical college students who can be active in the fields of nuclear power plant decommissioning and nuclear power and nuclear power regulation. This program is being carried out in cooperation with government ministries and agencies, domestic and international industry, and educational and research institutions.

This program aims to lead more excellent students to the nuclear power industry in cooperation with ministries and agencies, domestic and foreign industries, and educational and research institutions.

1. 原子力関係講義

廃炉や放射線、原子力に関する知識を深めるため1～5年生の各学年において科目を開設しています。受講は学科を問わず可能で、e-learning形式の科目については単位互換協定のある全国の高専生が聴講可能です。

科目名	学年	形式
原子力発電基礎	1年	集中講義
放射線基礎	2年	e-learning
環境科学基礎	2年	
廃炉ロボット概論	3年	e-learning
廃炉工学	4年	e-learning
環境工学	4年	
原子力事故総論	5年	集中講義

2. 廃炉創造ロボコン

本大会は長期に及ぶ東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業を想定して、どんなロボットが必要かを思い描き、課題と解決策を考え、それらを反映させたロボットを高専生が製作します。ロボット製作を通じて、今後活躍を期待される世代の学生に廃炉に関する興味を持ってもらうと同時に、学生の創造性・課題解決能力・課題発見能力を養うことを目的としております。

【R6年度参加校】

国内15高専（16チーム）

海外マレーシア工科大学（1チーム）



第8回廃炉創造ロボコン 競技の様子

3. 研修、施設見学

原子力規制の現場を正しく理解すること、また講義内容の現実を知り、現場の状況を正しく理解すること等を目的に国内外で研修、施設見学を実施しています。

【主な研修先】 福島第一、第二原子力規制事務所
原子力規制庁本庁、原子力安全研修所
日本原子力研究開発機構
原子力機構幌延深地層研究センター
東京電力
英国セラフィールド社



シェフィールド大学研修

4. 国際機関、海外大学との連携

国際機関や海外の大学（イギリス・シェフィールド大学、アメリカ・マサチューセッツ工科大学）との組織的連携により、学生の国際研鑽の機会を設けています。

福島イノベーション・コースト構想への対応

Contribution to the Fukushima Innovation Coast Framework

The Fukushima Innovation Coast Framework is a national project designed to build a new industrial infrastructure in the coastal region of Fukushima Prefecture in order to recover the industries that were lost due to the earthquake and tsunami on March 11, 2011 and the nuclear disaster.

Within the Framework, projects will be realized in the fields of robotics, energy, decommissioning, agroforestry and fisheries, and efforts are made to form industrial clusters, foster human resources, and to increase the number of visitors.

福島イノベーション・コースト構想は、浜通り地域等における産業の復興のため、この地域での新たな産業の創出を目指す構想です。廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー、農林水産等の分野における産業集積、教育・人材育成、交流人口の拡大等に取り組んでいます。

県内外の大学等が有する本県復興に資する知を集積・活用し、この構想の実現に向けてイノベーションを生み出す高度な人材の長期的な教育・育成の基盤を構築することを目的に、「大学等の復興知を活用した人材育成基盤構築事業」が行われています。本校でもさまざまな機関と協力しながら次の事業に取り組んでいます。

大学等の復興知を活用した人材育成基盤構築事業

事業名：広野町における未利用資源の探索と資源化 みかんプロジェクト

1. 事業のポイント

本事業は、イノベーション・コースト構想の推進などに貢献できる人材の育成を目的として、広野町と連携し、教育と農業の分野で、福島高専の学生や教職員が活動することで、人材の育成とその環境の醸成に努めている。具体的には、広野町立小学校などで微生物や科学分野の特別授業などを実施し、バナナ栽培に省エネ技術の導入といった農産廃棄物の資源化提案などを行っている。

これらの活動から、広野町内で有用微生物を見出し、その産業利用方法を企業と検討している。また、環境計測や分析技術の導入によって温室内の栽培環境の数値化などを進めている。

2. 人材育成目標

地域の活性化や取り組みを提案できる人、その活動を理解できる人、支援できる人をイノベーション人材と定義し、さまざまな取り組みに参加しやすい環境作り、科学や技術への興味、関心を持てる雰囲気や意識の醸成に取り組む。

3. 2025年度の活動内容

- ・有用微生物の探索
- ・放課後理科教室
- ・施設園芸農業支援



有用微生物の探索活動の様子

事業名：福島復興知学の深化と展開：ミルフィーユ型人材の育成基盤構築

1. 事業のポイント

復興知とイノベーション・コースト構想の推進に必要な多層的な知識・技能を身につけた人材を「ミルフィーユ型人材」とし、自治体・大学等・企業等と連携してミルフィーユ型人材を育成する。さらに、ミルフィーユ型人材育成を通じて、産業創出や国際的情報発信も行う。

2. 人材育成目標

【地域を担う未来人材の育成基盤構築】

各ライフステージに応じた多層的教育を経て真の復興を担える多様な人材を育成する。

【福島を舞台として、世界的視野で福島の発展を支える人材の育成基盤構築】

浜通りでの「まなび」をもとに学術文化を推進し、世界に情報発信できる人材を育成する。

3. 2025年度の活動内容

【地域の創造的復興を担う人材の育成基盤構築】

- ・科学教室、市民講演会、企業向けセミナー、自治体向けに各種セミナー等を実施。

【福島を舞台として、世界的視野で福島の発展を担える人材の育成基盤構築】

- ・東京大学、福島高専で復興知教育プログラムを実施。自治体・企業へ放射線教育の提供。



東日本大震災・原子力災害伝承館見学

いわき市連携「未来を支える産業人材育成事業」～浜通りに届ける復興の風プロジェクト～

1. 事業のポイント

いわき市が目指す再生可能エネルギーなどによる新産業創出に向け、東京大学先端科学技術研究センターが培ってきた再生可能エネルギー分野の研究・人材育成ならびに、インクルーシブな社会システムを支える働き方の知見を活用し、被災地域の関係教育機関や企業・団体等と連携し、復興・カーボンニュートラルを地域で支える将来人材を育成する事業である。なお、令和5年度より福島高専が本事業主体(共同申請者)として参画し、地域の中でのカーボンニュートラル・再生可能エネルギー教育を持続的に行うための人材育成・教育のあり方を協議する体制が構築された。現在は研究開発人材の協議への体制・展開も模索している。

2. 人材育成目標

風力発電業界、地域産業を支える将来人材を育成する。2023年度からは、これまでの風力発電に係る教育プログラムをベースとして、カーボンニュートラルを支える人材を持続的に育成できるよう、関係者による検討体制を設置し、産業界とも適宜意見交換しながら、福島高専の教育体系の検討を開始する。併せて、地域の初等教育機

関を対象として再生可能エネルギーやカーボンニュートラルに関連するアウトリーチ教育の強化を図り、地域の将来人材の育成環境の向上を目指す。

3. 2025年度活動内容

- ・復興・カーボンニュートラルを支える将来人材育成

- (1) 風力人材育成事業
- (2) 地域の持続的な教育体系の検討
- (3) 地域の将来人材を育成する教育アウトリーチ活動
- (4) 研究交流を通じた人材育成

- ・新たな労働環境の形成

- (1) 超短時間雇用の普及促進

- ・地域の交流人口の拡大

- (1) 被災地域の関係企業・団体との情報交流



小学生への出前授業

国際交流活動の推進

Promotion of international exchange activities

1. 国際化の推進

■ 留学生の受入れ

本校では、3年次に編入学する長期留学生及び3か月以内の短期留学生を受入れています。長期留学生は、授業に出席し、準学士の資格を取得して3年後に卒業します。短期留学生は、指導教員のもとで研究活動を行います。留学生には学生チューターを配し、日本の生活や文化に親しむ機会を提供しています。

● 留学生の受入れ（在籍状況）

Acceptance of International Students

国費留学生（例年1、2名の受入れ）、マレーシア政府派遣留学生（例年1、2名の受入れ）短期留学生（フランス、フィンランドより例年5名程度の受入れ）

■ Acceptance of International Students

We have been accepting both long-term and short-term students. Long-term students transfer into the third year and earn credits to receive associates degree. After graduation, most of the students transfer to universities in Japan. Short-term students do their research under their supervisors in English. We assign tutors to international students to give them opportunities to learn about Japanese life and culture.



日本語スピーチコンテストに参加した留学生

■ 学生の海外への送り出し

本校では、3年生対象の地元企業の海外拠点へのインターンシップと、専攻科対象の協定校へのインターンシップがあります。どちらも、単位認定を受けることができます。本校の協定校への派遣プログラムや、高専機構本部や他高専からの派遣プログラムを学内に周知し、学生の留学機会の提供を行っています。

■ Overseas Internships

NIT-FC has sent third-year students to the overseas branches of local firms and advanced-course students to our partner universities abroad. Students can earn credits through participating in either internship program. We offer our students various exchange programs offered by our partner universities, the headquarters of the National Institute of Technology (KOSEN) and another KOSENs in Japan.

● 学生の海外派遣 Dispatching Students for foreign Countries

佐藤辰彦基金及び奈良宏一基金による海外インターンシップ、フランス・リール地区等 IUT との学生相互派遣、フィンランド トゥルク応用科学大学との学生相互派遣、大連短期留学プログラム、廃炉創造学修プログラム、日本一タイ高校生 ICT フェア、インターンシップ in 米国シリコンバレー、シリコンバレースタディーツアー、チェンマイ大学付属語学学校英語・タイ文化体験研修、シンガポール英語研修、グローバル・アントレプレナーシッププログラム

■ 海外との学術交流校

本校では、海外の大学等と学術交流協定を結び、学生派遣及び受入れを主な事業とし、招聘教員による特別講義の実施、国際学会や交流事業を開催しています。また、協定校からの募集等を学内に周知しております。

■ Academic Exchange Agreements

We have signed Memorandum of Understandings with foreign institutions and have exchanged students mutually with them. In addition, lecturers from these institutions have been invited to give presentations or classes at our institution and various international conferences and exchange programs have been undertaken.

● 海外の学術交流校 Overseas Partner Institutions

ブラジル：サンパウロ大学（サンカルロス校工学部）、メキシコ：グアナファト大学、フランス：ルアーブル大学ルアーブル技術短期大学、カナダ：バンクーバーアイランド大学附属高校、中国：大連東軟信息学院、陝西工業職業技術学院、ポルトガル：ポルト工科大学ポリテクニク、タイ：チェンマイ大学、マレーシア：サバ大学、フィリピン：アダムソン大学 他、他高専とのコンソーシアムとして、フランス：IUT、フィンランド：HMUAS、TUAS

持続可能な社会(SDGs)の発展に向けた取組

Initiatives for the development of a Sustainable Society (SDGs)

1. SDGsの推進

国内外のSDGs及びサステナビリティを推進する団体や学会との交流及び協定に関すること。

特に福島高専のSDGs及びサステナビリティに関するホールスクールアプローチの展開や学生の活動を支援することに重点を置き推進していきます。

We have signed MOUs and/or agreements with domestic and foreign organizations which focus on the promotion of SDGs.

Moreover, we offer all activities which accelerate "whole-school-approaches of SDGs or campus sustainability promotion" at NIT(KOSEN), Fukushima College. We also support our students' activities which focus on the promotion of SDGs.

- ESD拠点校としての活動
- SDGs Webinarの開催
- SDGs関連国際会議への参加の推奨

- SDGs推進に向けた両技科大との連携
- 学内でのSDGs理解の推進に向けた取組み

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



2. 地域ESD活動推進拠点（地域ESD拠点）

本校はサステナブルスクールとして活動を開始したことを契機に、その成果を地域へ還元するため、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）が公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）と共同で運営する「ESD活動支援センター」が設置する地域ESD活動推進拠点として登録しています。ESDの普及に向け、自治体と連携しながらSDGs教材を使用した出前授業などに取り組んでいます。



3. SDGs Webinarの開催

SDGs Webinarでは、持続可能な地域社会づくりに貢献できるような未来のエンジニアを育てることを目的としています。学生自身が困難な状況に置かれた場合に「自分で創っていこう！」そう思える人材を育成することを目指す取組です。Webinarで地域単位の問題発見・課題提起を行い、高専生の特徴の一つである実践力を生かし、アントレプレナーシップを育て、国連の掲げるSDGs17と起業プランの紐づけを学びます。



SDGs Webinar 2024

SDGs Webinar 2024は、2024年10～12月の指定土曜日、オンラインでワークショップ及び発表会の計6日開催されました。本Webinarでは、米国シリコンバレーで活躍する日本人講師3名よりSDGsやアントレプレナーシップの講義、長岡/豊橋技科大の教授よりSDGs17についての講義を受けました。

その後、SDGs17をフレームワークとして、地域に共通した問題を見つけ、学んだ講義を基にビジネスモデルの作成・発表をしました。

参加学生が自身のアントレプレナーシップ（起業家精神）を育て、実践力を生かし、多様な課題の解決に挑戦する意識を持つ技術者となるよう、SDGsWebinarは今後も福島高専のオリジナルWebinarとして継続していきます。



カーボンニュートラル社会連携共同講座

Carbon-Neutral Social Cooperation Lecture

The Government and Fukushima Prefecture have declared their aim to become carbon neutral by 2050, and the training of engineers with knowledge of carbon neutrality is an important issue.

In 2024, following on from 2022 and 2023, National Institute of Technology, Fukushima College was chosen as a representative of higher education institution by subsidy program of Ministry of Economy, Trade and Industry. Therefore, we established the "Iwaki Carbon-Neutral Social Cooperation Joint Course" in collaboration with a consortium comprising 18 local companies, with The Furukawa Battery Co.,Ltd. as the lead company. This course is scheduled to be continued in 2025 and beyond, and will work with local companies to create new industries and realise a carbon-neutral society through human resource development, technological exchange, promotion of cooperation, joint research and development, and promotion of exchange with overseas universities in relation to carbon neutrality.

1. 概要

政府及び福島県は2050年に向けてカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言しており、カーボンニュートラルに関する知識を身に付けた技術者の育成が重要な課題となっています。本校では、2022年度および2023年度に引き続き2024年度にも経済産業省事業の「高等教育機関における共同講座創設支援事業費補助金」に採択され、古河電池株式会社を幹事会社とする地元企業18社から成るいわきCN人材育成コンソーシアムと共同で「いわきカーボンニュートラル社会連携共同講座」を開設しました。本講座は2025年度以降も継続して実施する予定であり、今後はカーボンニュートラルに関する人材育成、技術交流、連携推進、共同研究・開発、海外大学との交流推進を通して、新産業創出やカーボンニュートラル社会の実現に結びつくよう地元企業と連携して取り組んでいきます。

2. 2024年度実施プログラム

本事業では、共同講座と公開シンポジウムを実施しました。

共同講座

本校専攻科1年生、地元企業従業員およびいわき市民を受講対象者として、全国からカーボンニュートラルに関して第一線で活躍する講師を迎え、全15回の共同講座を開催しました。

【講義テーマ】

新エネルギー政策/環境地域政策/太陽光・太陽熱利用/水素・アンモニア/製造・工場/インフラ/次世代燃料/メタネーション/リチウムイオン電池/蓄電池等

公開シンポジウム

本事業の総括として、本校学生、地元企業の従業員、一般市民を対象とした公開シンポジウムを開催しました。

【プログラム】

基調講演：「近年の異常気象と気候変動」

講師：気象予報士キャスター 井田寛子 氏

パネルディスカッション

「カーボンニュートラル社会でいわきの未来を!」



高等専門学校等スタートアップ教育環境整備事業

KOSEN Start-up Project

In recent years, there has been an increasing number of cases in which students of Japanese colleges of technology education are starting businesses and working with alumni in start-up companies by utilizing the high technical skills, motivation to contribute to society, and free imagination that they cultivated through technology education.

In response to MEXT "Startup Educational Environment Improvement Project for Technical Colleges, etc. in 2022, ", our school has established entrepreneurship education throughout the college to achieve synergy effects between engineering and business. We have set up Ban'yo garage (entrepreneurial workshop) to create an environment where students can freely try out practical activities such as prototyping products and developing services.

There have been social expectations for initiatives that leverage the advantages of Japanese colleges of technology education in order to approach and solve social issues, as well as to promote economic growth and accelerate the development of start-ups.

近年、高専生が高専教育で培った高い技術力、社会貢献へのモチベーション、自由な発想力を活かした起業やベンチャー企業でOB・OGが活躍する事例が増えてきています。

2022年度の文部科学省「高等専門学校等スタートアップ教育環境整備事業」採択を受け、本校では従来からの工学系とビジネス系とのシナジー効果によるアントレプレナーシップ教育を全学的に展開すると共に、磐陽テックガレージを設置し、自由にプロダクトの試作やサービスの開発などの実践的な活動にチャレンジできる環境を整備しました。

経済成長を促し社会的な課題にアプローチし解決するスタートアップ人材の育成を加速するため、高専の優位性を活かした取組みに社会からの期待が寄せられています。

1. 将来の選択肢の一つとして「起業」を知る授業

これまでの学校教育は「与えられた問題を正しく解く」ことに重点が置かれてきましたが、現在は「解くべき問題を自ら発見して積極的に解決する」ことが求められるようになってきました。このような教育は起業家に必要とされる能力と重なる部分が多いことから、アントレプレナーシップ教育が注目されています。

「新事業開発」 ビジネスコミュニケーション学専攻から対象を全専攻に拡大

起業事例の紹介やビジネスプランの作成方法などの講義の他、ビジネスモデルやビジネスプランの発表や資金・利益計画策定などの演習を行います。

「アントレプレナーシップ実践」 本科4年 選択1単位 令和5年度開講

起業に必要な知識を国内外の事例や理論から学びます。また、学生の専攻分野における課題抽出を行い、学生がこれまで学修した知識と技術力を活用した課題解決型のビジネスアイデアを創出し、審査員に向けたピッチ（発表）を行います。アントレプレナーシップを実践的に学ぶことを通じて、社会人基礎力も醸成します。

「アントレプレナーシップ入門」 本科1年 選択単位 令和5年度開講

アントレプレナーシップを学ぶことは、起業のためだけではなく、社会で必要な知識やスキルの習得につながります。この授業では、アントレプレナーシップの基礎を学ぶことに加え、学科横断型のグループでビジネスアイデアを創出するワークを取り入れ、実践力を育成します。

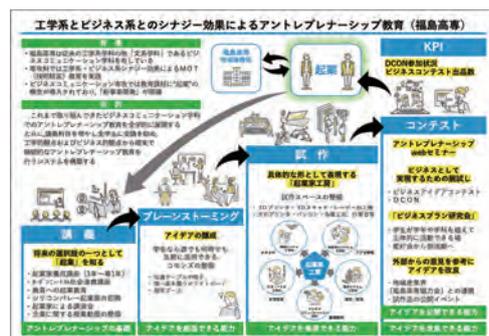
2. 磐陽テックガレージの整備

アントレプレナーシップの育成を目的に、学生の自由なアイデアを形にするための試作スペースとして地域環境テクノセンター1階に整備されました。磐陽テックガレージは、素材の加工・切削などを行う「工房」と音響設備・動画制作などを行う「スタジオ」で構成されています。

授業、課外活動等で学科・学年を問わず、全学生が主体的にモノづくり・コトづくり活動を行える場として活用されています。

主な設備

- ・3Dプリンター（熱溶解造形、光造形）、カーボン3Dプリンター、UVプリンター
- ・3Dスキャナー、3Dモデリングマシン・レーザー加工機、真空成型機、塗装ブース
- ・ボール盤、卓上旋盤、CNCフライス盤、バンドソー
- ・映像音声収録・編集配信システム
- ・6K/4Kカメラ、コンデンサマイク、ミキサー、スイッチャー、PA、照明、クロマキーセット、HDMIコンバータ、DaVinci Resolve
- ・MR (Mixed Reality) 機材 Microsoft HoloLens、Meta Quest



スタートアップ教育の事業イメージ



アントレプレナーシップ入門授業



磐陽テックガレージ



図書館 Library



開架書庫 Library room

図書館

Library

図書館は、学校全体の学習センターとしての役割を果たしています。ここでは、教育及び研究に必要な情報の資料を中心に、授業に欠かせない参考図書、豊かな情操を養うための教養書などが開架式書架に並べられています。また、学術専門雑誌、一般及び自然科学雑誌、電子ジャーナル、電子書籍、新聞も自由に閲覧できるようになっています。本館は一般の方にも開放しています。

令和元年度に改修工事が竣工し、学習センターとしての設備の充実が図れました。

〈開館時間〉 平日（月～金） 8:00～18:45
土曜日 9:00～16:00

〈休館日〉 日曜日、国民の祝日、年末年始等

The College Library functions as center of study and information. It contains many important reference books for the study and research for each department. In the open browsing corner, many kinds of periodicals, weeklies, newspapers, new books, some white papers, and online journal etc. are accessible to students. The library has about 80,000 books. Our library is open to the public for academic study and research.

〈LIBRARY HOURS〉 Regular hours : Mon-Fri. 8:00-18:45
Sat. 9:00-16:00

〈Days Closed〉 Sunday, National Holidays

●蔵書 Books and Periodicals 令和7年4月1日現在 As of April 1, 2025

分類 Classification	図 書 (冊) Books		購入雑誌 (タイトル数) Periodicals	
	和 書 Japanese	洋 書 Foreign	和 雑 誌 Japanese	洋 雑 誌 Foreign
総 記 General	7,552	137	2	-
哲 学 Philosophy	3,922	143	1	-
歴 史 History	3,765	43	1	-
社会科学 Social Science	6,615	225	1	-
自然科学 Natural Science	13,068	2,888	7	-
工 学 Technology	21,933	1,047	10	-
産 業 Industry	957	6	-	-
芸 術 Art	2,528	76	5	-
語 学 Language	4,428	3,607	-	-
文 学 Literature	8,413	666	1	-
小 計 Subtotal	73,181	8,838	28	-
合 計 Total	82,019		28	

学生学習支援センター

Student Learning Support Center

学生学習支援センターは、本校で必要不可欠な基礎科目（数学・物理・化学）の学習支援と実験・実習の提出物作成の支援を目的として令和元年度に設置されました。

The Student Learning Support Center was established in 2019 to provide the students with learning support for basic essential subjects such as math, physics and chemistry, and also to help them with assignments of their specialized subjects.

令和7年度前期は、1年生を対象に放課後に課題学習時間を設けて、基礎科目の学習支援を行い、授業で理解が不十分なところを克服する支援をしております。



TAとの学習の様子

学生保健センター

Student Health Care Center

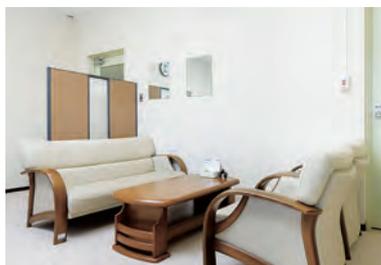
学生保健センターは、学生の就学の健全性を保つために、心身の健康の維持・増進を図ることを目的に設置されています。「保健室」「学生相談室」「多目的学生支援室」で構成され、教員・学校医・カウンセラー・看護師によって運営されています。

In order to maintain the wellness of students, Student Health Care Center offers both physical and mental health care for students.

The center consists of "Health Care Room" "Counseling Room," and "Multi Purpose Student Support Room", supported by teachers, school physicians, counselors and nurses.



保健室前の廊下 Entrance of Student Health Care Center



学生相談室 Counseling Room



多目的学生支援室 Multi Purpose Student Support Room



磐陽会館 Ban'yo Hall

福利厚生施設「磐陽会館」

Ban'yo Student Hall and Health Center

学生・教職員のための福利厚生施設、磐陽会館には、食堂・売店・学生保健センター・男女共同参画支援室等があります。

昼休みや放課後は、ここでくつろぐ多くの学生たちでにぎわっています。



売店 Store



男女共同参画・キャリア教育支援室
Gender Equality and Career Education Support Room



食堂 Cafeteria

Two-storied facility contains a cafeteria, a store, the Student Health Care Center, and a gender equality and career education support room.

Students use this hall to refresh themselves during their lunch break and after school.

学寮「磐陽寮」

Ban'yo Student Dormitory

本校の学寮は磐陽寮と称され、独立した6棟（若葉棟・青葉棟（改修中）・暁棟・白雲棟・曙棟（国際寮）・こずえ棟）からなっています。

寮では起床から就寝まで、日課に従っての生活及び寮生会活動等を通して

- 規律ある生活
- 学力の育成
- 相互理解と親和
- 個性の尊重

を体得するよう指導しています。

The Ban'yo Dormitory consists of six buildings : the Wakaba, Aoba(Under renovation), Akatsuki, Hakuun, Akebono and Kozue Dormitories.

Through daily guidance and activities of the Residents Council, resident students are encouraged to learn the following four principles in their daily lives.

- An orderly life
- Improvement of study skills
- Mutual understanding and friendship
- Respect for individual differences



若葉寮（女子寮） Wakaba Dormitory

1. 定員

男子134名（改修後 178名）、女子109名

2. 施設・設備

● 学生居室

原則として男子低学年は、2名1室、男子高学年は1～2名1室で入居しています。（女子は1名1室）
机・椅子・本箱・ベッド・衣類ロッカー（男子のみ）
シューズラックは貸与

各居室に冷暖房完備・LAN設置

● 共同施設

食堂1ヵ所（給食は業者委託）

浴室（男子用）・浴室（女子用）

各棟に、談話室・自習室・洗濯室等設置

● その他の施設

事務室

1. Resident Capacity

Male:134(178 after renovation), Female:109

2. Facilities and Conveniences

● Resident Rooms

Rooms are shared by two students in the first and second years and occupied by one or two students in the third year.

Rooms are air-conditioned and equipped with desk, chair, bed, loker and shoe rack.(Locker for male students only)

● Public Facilities

A large dining hall

Two bathrooms (a large one for use by male students and a smaller one for female students)

Each building is equipped with a lounge, study room and laundry.

● Other Facilities

An office for daily affair in the dormitory.



曙寮（国際寮）
Akebono Dormitory



曙寮居室 A Boarder's Room

3. 入寮者数 Number of Residents

令和7年4月1日現在 As of April 1, 2025

学科 Department	学年 Year	1年	2年	3年	4年	5年	合計 Total
		1st	2nd	3rd	4th	5th	
機械システム工学科 Mechanical System Engineering		9 (3)	12 (2)	10 (2)△	9 (1)①	3 ①	43 (8)②△
電気電子システム工学科 Electrical and Electronic System Engineering		9 (3)	8	7 (1)①	12 (2)①	4	40 (6)②
化学・バイオ工学科 Applied Chemistry and Biochemistry		11 (8)	11 (5)	6 (3)△	7 (4)△	7 (5)	42 (25)△
都市システム工学科 Civil and Environmental Engineering		6 (1)	6 (3)	6 (3)①	4 (1)①	3 ①	25 (8)③
ビジネスコミュニケーション学科 Communication and Business		8 (7)	11 (9)	6 (4)	6 (3)	2 (1)	33 (24)
合計 Total		43 (22)	48 (19)	35 (13)	38 (11)	19 (6)	183 (71)⑦△

()内は女子内数 ○内は留学生男子内数 △内は留学生女子内数
() Female students; ○ male foreign students △ Female foreign students

学生

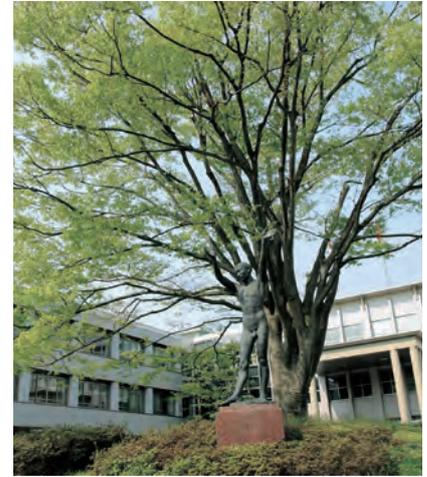
Student Body

●学生定員及び現員 The Number of Students

学 科 Department	入学定員 Allotted Number	現 員 Current Student Population					合計 Total
		1年 1st Year	2年 2nd Year	3年 3rd Year	4年 4th Year	5年 5th Year	
機械システム工学科 Mechanical System Engineering	40	41 (34,7)	43 (40,3)	38 (33,5)	37 (34,3)	36 (35,1)	195 (176,19)
電気電子システム工学科 Electrical and Electronic System Engineering	40	41 (33,8)	44 (40,4)	39 (34,5)	36 (33,3)	36 (31,5)	196 (171,25)
化学・バイオ工学科 Applied Chemistry and Biochemistry	40	41 (21,20)	38 (18,20)	44 (17,27)	42 (19,23)	39 (17,22)	204 (92,112)
都市システム工学科 Civil and Environmental Engineering	40	41 (23,18)	42 (24,18)	43 (27,16)	39 (31,8)	41 (30,11)	206 (135,71)
ビジネスコミュニケーション学科 Communication and Business	40	43 (14,29)	43 (15,28)	39 (19,20)	33 (8,25)	40 (10,30)	198 (66,132)
合計 Total	200	207 (125,82)	210 (137,73)	203 (130,73)	187 (125,62)	192 (123,69)	999 (640,359)

専 攻 科 Advanced Courses	入学定員 Allotted Number	現 員 Current Student Population		合計 Total
		1年 1st Year	2年 2nd Year	
産業技術システム工学専攻 Industrial Technology System Engineering Course	16	16 (10,6)	18 (12,6)	34 (22,12)
ビジネスコミュニケーション学専攻 Business Communicology Course	4	4 (1,3)	5 (1,4)	9 (2,7)
合計 Total	20	20 (11,9)	23 (13,10)	43 (24,19)

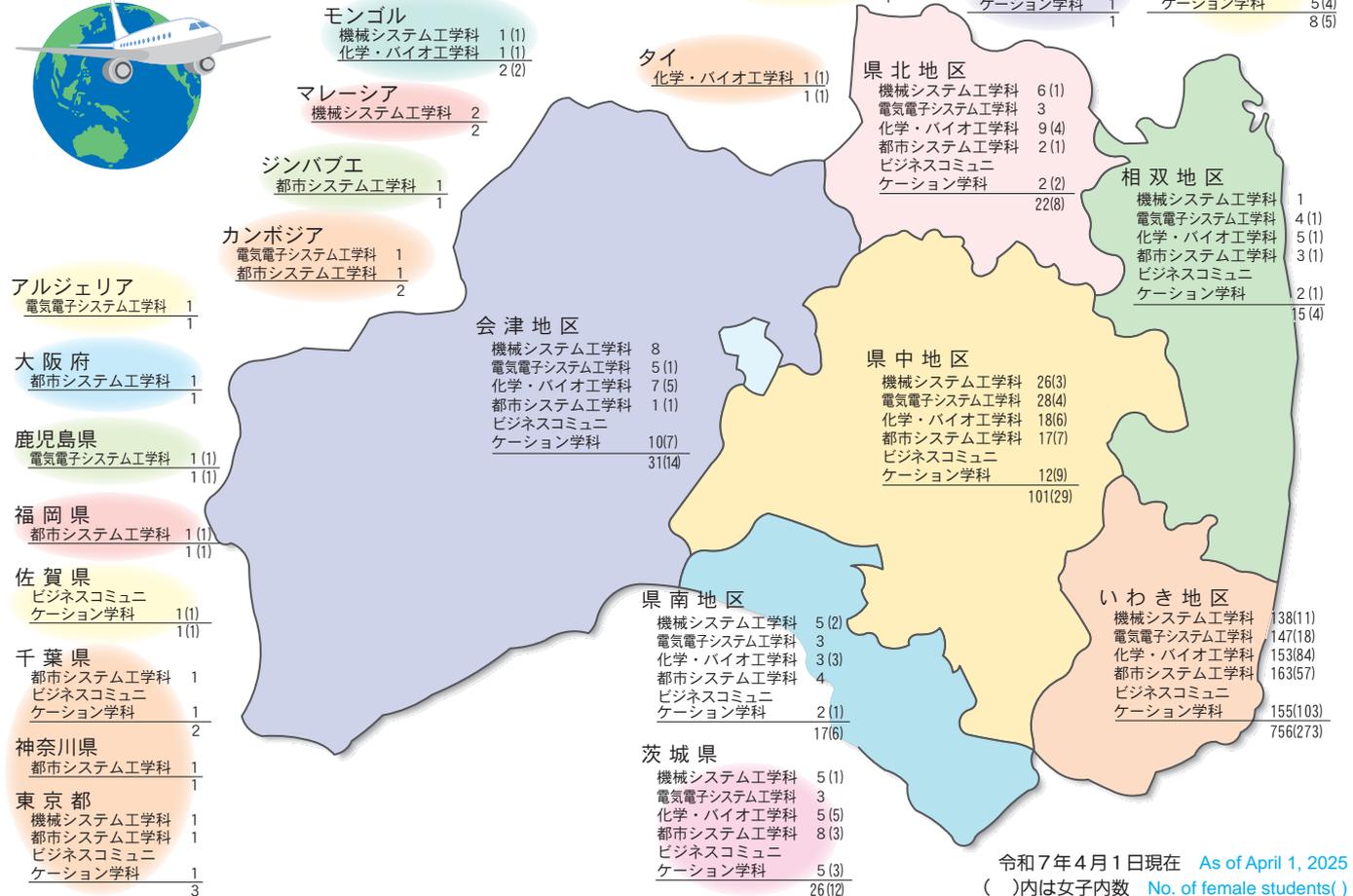
研究生 research student	2 (1,1)	
合計在学者数 Total	1,044 (665,379)	



令和7年4月1日現在 As of April 1, 2025 (,)内は(男子,女子)数 (male female)

- 青森県
ビジネスコミュニケーション学科 1(1)
1(1)
- 山形県
化学・バイオ工学科 1(1)
1(1)
- 宮城県
機械システム工学科 2
化学・バイオ工学科 1(1)
ビジネスコミュニケーション学科 5(4)
ケーション学科 8(5)

●出身地別学生数 The Number of Students by Home District



令和7年4月1日現在 As of April 1, 2025 ()内は女子内数 No. of female students()

●入学志願者状況 The Number of Applicants for Admission

学 科 Department		工 機 械 シ ス テ ム 学 科 Mech.Eng.	シ 電 ス テ ム 気 工 学 電 子 科 Elec.Eng.	工 化 学 ・ バ イ オ 学 科 Chem.Biochem.	工 都 市 シ ス テ ム 学 科 Civil.Eng.	学 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス 科 BC	合 計 Total
入学定員 The Admission Number		40	40	40	40	40	200
令和3年度	志願者数 The Number of applicants	43	47	50	41	35	216
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.1	1.2	1.3	1.0	0.9	1.1
令和4年度	志願者数 The Number of applicants	39	47	46	34	47	213
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.0	1.2	1.2	0.9	1.2	1.1
令和5年度	志願者数 The Number of applicants	46	38	61	53	47	245
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.2	1.0	1.5	1.3	1.2	1.2
令和6年度	志願者数 The Number of applicants	50	53	42	51	60	256
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.3	1.3	1.1	1.3	1.5	1.3
令和7年度	志願者数 The Number of applicants	55	54	55	46	62	272
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.4	1.4	1.4	1.2	1.6	1.4



高専GCON2024(GIRLS SDGs×Technology Contest)でファイナリスト賞と協賛企業（鹿島建設）賞を受賞



全国高専将棋大会で団体戦3位入賞



高専ロボコン2024全国大会出場



第36回知能ロボットコンテスト2024 チャレンジャーズコース優勝及び最優秀技術賞を受賞



全国高専体育大会にて、陸上競技男子1500m草野航輝(2M)第1位、柔道女子52kg級関根史織(1M)第1位

●奨学生数 The Number of Scholarship Students

令和7年4月1日現在 As of April 1, 2025

区分	日本学生支援機構 Japan Student Services Organization	その他の奨学生 ^{注1)} Other Scholarship Students	現員に対する比率 The ratio
2年	0	7	3.3%
3年	0	7	3.4%
4年	0	6	3.2%
5年	26	4	15.6%
合計	26	24	6.3%

注1) 日本学生支援機構は、令和2年4月よりスタートした高等教育の修学支援制度における給付奨学生と、貸与奨学生の合算人数となります。(給付・貸与併用者は1名として数える)

注2) 各自治体、法人及び企業からの奨学生になります。

●卒業生の進路 (令和7年3月卒業生) Career Path of the Graduates, Class of 2024 ()内は女子内数 ()means the Number of the Female Students

区 分 Classification	機械システム工学科 Mech.Eng.	電気電子システム工学科 Elec.Eng.	化学・バイオ工学科 Chem.Biochem.	都市システム工学科 Civil.Eng.	ビジネスコミュニケーション学科 BC	合 計 Total
卒業生数 The Number of Graduates	35 (2)	41 (7)	38 (15)	40 (16)	34 (20)	188 (60)
進学者数 The Number of Students Going to University	14 (2)	20 (3)	17 (6)	21 (6)	19 (11)	91 (28)
就職者数 The Number of Employed	19	19 (4)	20 (8)	18 (10)	13 (8)	89 (30)
各種学校その他 Special Training School etc.	2	2	1 (1)	1	2 (1)	8 (2)

●就職者の産業別分野 Employment by Industry

産業別分野 Field of Industry	機械システム工学科 Mech.Eng.	電気電子システム工学科 Elec.Eng.	化学・バイオ工学科 Chem.Biochem.	都市システム工学科 Civil.Eng.	ビジネスコミュニケーション学科 BC	合 計 Total	
建設業 Construction	0	0	0	11 (7)	0	11 (7)	
製造業 Manufacturing	食料品・飲料 たばこ・飼料 Food / Beverage Products Cigaret / Animal Food	1	0	1	0	1 (1)	3 (1)
	化学工業 石油・石炭製品 Chemical Petroleum / Coal Products	2	0	7 (2)	0	1	10 (2)
	繊維工業 Fiber Industry	0	0	1 (1)	0	0	1 (1)
	印刷・同関連業 Paint / Related Industry	1	0	0	0	0	1
	鉄鋼業・非鉄金属 金属製品 Steel Industry Non-iron Metal Products Metal Products	0	1	2 (1)	0	1	4 (1)
	電子部品・デバイス 電子回路 Electronic Parts Devices / Electronic Circuits	1	1	0	0	1 (1)	3 (1)
	電機・情報通信 機械器具 Electrical machinery / Telecommunications / Machinery	0	1	0	0	0	1
	輸送用機械器具 Transportation Machinery	1	0	0	0	0	1
	製剤・医薬品 Medicines	0	0	8 (4)	0	0	8 (4)
	その他 Others	1	2 (1)	0	0	0	3 (1)
電気・ガス 熱供給・水道業 Electricity / Gas Heat Supply / Water	5	6 (1)	1	4 (2)	1 (1)	17 (4)	
情報通信業 Informations	0	7 (1)	0	0	7 (5)	14 (6)	
不動産取引・賃貸・管理業 Real Estate /Lease/ Management	0	0	0	2 (1)	0	2 (1)	
学術開発研究機構 Academic Development Research Organization	1	0	0	0	0	1	
その他専門・ 技術サービス業 Academic Study etc	1	1 (1)	0	0	1	3 (1)	
地方公務 Local Government Services	0	0	0	1	0	1	

●大学等編入学状況（国公立） Students Continuing Education at National, Public, and Private Universities ()内は女子内数 () means the Number of the Female Students

大学名 University		卒業年度 Graduation Year	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024
国 公 立 大 学	小樽商科大学 Otaru University of Commerce		1			1	
	北海道大学 Hokkaido University		1				1
	室蘭工業大学 Muroran Institute of Technology					1	
	北見工業大学 Kitami Institute of Technology				1 (1)		
	弘前大学 Hirosaki University			1			
	岩手大学 Iwate University		1 (1)		1 (1)		
	東北大学 Tohoku University		3	3	1	1	1
	秋田大学 Akita University		1	1	1		
	山形大学 Yamagata University			2	3 (2)	3 (3)	
	福島大学 Fukushima University		3	1	7 (1)	4 (2)	2 (1)
	茨城大学 Ibaraki University		5	4 (2)	6 (1)	4	4 (1)
	宇都宮大学 Utsunomiya University		5 (3)	1	4 (2)	4 (1)	6 (2)
	群馬大学 Gunma University		1		1	2	1 (1)
	埼玉大学 Saitama University						1
	千葉大学 Chiba University		6 (2)	3	3	2 (1)	2
	横浜国立大学 Yokohama National University		1	1	1	3	2
	山梨大学 University of Yamanashi						1
	信州大学 Shinshu University		1		1	1	
	新潟大学 Niigata University		2 (1)	4 (1)	1 (1)	2 (1)	1
	筑波大学 University of Tsukuba		5 (4)	5 (2)	5 (3)	2	
	長岡技術科学大学 Nagaoka University of Technology		7	11 (2)	20 (4)	7 (1)	14 (1)
	お茶の水女子大学 Ochanomizu University			2 (2)		2 (2)	
	電気通信大学 The University of Electro-Communications		2	1	1	3 (2)	
	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology		1 (1)	1			
	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology		3	2 (1)	4 (1)	2 (1)	1
	東京海洋大学 Tokyo University of Marine Science and Technology		1 (1)				1 (1)
	福井大学 University of Fukui				2	1	1
	岐阜大学 Gifu University			1	1	1	1 (1)
	金沢大学 Kanazawa University						1
	静岡大学 Shizuoka University				1 (1)	2	
	名古屋大学 Nagoya University		1 (1)			1 (1)	
	三重大学 Mie University				2 (1)		
	豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology		5	3	4 (1)	2	8 (2)
	大阪大学 Osaka University						1 (1)
	滋賀大学 Shiga University		1 (1)		1	2 (1)	
	神戸大学 Kobe University			2 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (2)
	奈良女子大学 Nara Women's University						3 (3)
	岡山大学 Okayama University						1 (1)
	和歌山大学 Wakayama University		1 (1)				
	島根大学 Shimane University				1	1	
	広島大学 Hiroshima University			1	2 (2)	1	1
	山口大学 Yamaguchi University				1		
	愛媛大学 Ehime University		1				
	高知大学 Kochi University			1 (1)		1	
	香川大学 Kagawa University						1
九州大学 Kyushu University		2 (2)	2 (1)	1	1	1 (1)	
九州工業大学 Kyushu Institute of Technology						1	
熊本大学 Kumamoto University						1	
琉球大学 University of the Ryukyus			1				
長野大学 Nagano University		1 (1)			1 (1)		
東京都立大学 Tokyo Metropolitan University		1	2	2	1 (1)	1 (1)	
福岡県立大学 Fukuoka Prefectural University		1 (1)					
私 立 大 学	東北芸術工科大学 Tohoku University of Art & Design			1 (1)			1
	東京理科大学 Tokyo University of Science					1	1 (1)
	千葉工業大学 Chiba Institute of Technology			1	1 (1)	1	4
	千葉商科大学 Chiba University of Commerce		1 (1)				
	日本大学 Nihon University					3	
	近畿大学 Kindai University						1
	大阪商業大学 Osaka University of Commerce						1
	大阪芸術大学 Osaka University of Arts						1
	鎌倉女子大学 Kamakura Women's University				1 (1)		
	埼玉工業大学 Saitama Institute of Technology				1		
	駒澤大学 Komazawa University				2 (1)		
	中央大学 Chuo University			1			
	東海大学 Tokai University				1 (1)		
	東京都市大学 Tokyo City University			2 (1)		1	1 (1)
	明治学院大学 Meiji Gakuin University		1			1	
	創価大学 Soka University				1 (1)		
	関西外国語大学 Kansai Gaidai University		1 (1)				
東京国際工科専門職大学 International Professional University of Technology in Tokyo				1			
医療創生大学 Iryo Sosei University						1	
専攻科	福島高専専攻科 Fukushima National College of Technology		26 (6)	26 (10)	20 (8)	23 (10)	20 (9)
計 Total			93 (28)	87 (26)	108 (36)	91 (30)	92 (29)

●専攻科修了生の進路（令和6年度修了） ※9月修了者含む

()内は女子内数 ()means the Number of the Female Students

Place of employment / Graduate school : Advanced Course graduates (Certificate of Graduation from Advanced Course, March 2025)

区分 Classification	産業技術システム工学専攻 Industrial Technology System Engineering Course	ビジネスコミュニケーション学専攻 Business Communication Course	計 Total
修了者数 Number Completion	16 (5)	4 (3)	20 (8)
進学者数 Number Continuing Education	1 (1)	0	1 (1)
就職者数 Number Employed	15 (4)	4 (3)	19 (7)
各種学校その他 Special Training School etc.	0	0	0

●就職者の産業別分野 Employment by industry

産業別分野 Field of Industry	産業技術システム工学専攻 Industrial Technology System Engineering Course	ビジネスコミュニケーション学専攻 Business Communication Course	計 Total
建設業 Construction	4 (2)	0	4 (2)
製造業 Manufacturing	食料品・飲料 Food / Beverage Products	0	1
	たばこ・飼料 Cigaret / Animal Food	1	0
	化学工業 Chemical	0	2 (2)
	石油・石炭製品 Petroleum / Coal Products	2 (2)	0
	鉄鋼業・非鉄金属 Steel Industry Non-iron Metal Products	2	0
	金属製品 Metal Products	0	2
電子部品・デバイス・電子回路 Electronic Parts Devices / Electronic Circuits	0	1 (1)	1 (1)
電機・情報通信機械器具 Electrical machinery / Telecommunications / Machinery	1	0	1
電気・ガス・熱供給・水道業 Electricity / Gas Heat Supply / Water	1	0	1
情報通信業 Informations	1	2 (1)	3 (1)
運輸業・郵便業 Transportation Communications	2	0	2
地方公務 Local Government Services	1	1 (1)	2 (1)
計 Total	15 (4)	4 (3)	19 (7)

●進学状況 Entrance into Graduate Schools

()内は女子内数 ()means the Number of the Female Students

大学院・大学 Graduate School, University	修了年度 Completion Year	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	計 Total
東北大学大学院 Graduate School of Tohoku University			3 (1)		2		5 (1)
山形大学大学院 Graduate School of Yamagata University		1					1
福島大学大学院 Graduate School of Fukushima University			1 (1)				1 (1)
茨城大学大学院 Graduate School of Ibaraki University				1			1
宇都宮大学大学院 Graduate School of Utsunomiya University			1 (1)				1 (1)
横浜国立大学大学院 Graduate School of Yokohama University		1	1 (1)				2 (1)
新潟大学大学院 Graduate School of Niigata University			3 (1)				3 (1)
筑波大学大学院 Graduate School of Tsukuba University				1		1 (1)	2 (1)
北陸先端科学技術大学院大学 Japan Advanced Institute of Science and Technology			1				1
京都大学大学院 Graduate School of Kyoto University			1				1
京都工芸繊維大学大学院 Graduate School of Kyoto Institute of Technology				1			1
高知大学大学院 Graduate School of Kochi University		1					1
慶應義塾大学大学院 Graduate School of Keio University			1				1
計 Total		3	12 (5)	3	2	1 (1)	21 (6)

●収入決算額 Revenue (千円) (¥ In thousands)

区 分 Classification	決算額 Settled Accounts
運営費交付金 Grants-in-Aid for Operating Expenses	53,340
授業料 Tuition Fee	218,079
入学・検定料 Entrance Fee	23,894
財産貸付料 Property Rental Charge	3,833
その他収入 Others	28,697
施設整備費 Grants-in-Aid for Facility Improvement Expenses	0
合 計 Total	327,843

※科学研究費補助金及び外部資金を除く

●支出決算額 Expenditure (千円) (¥ In thousands)

区 分 Classification	決算額 Settled Accounts
人 件 費 Personal Expenses	49,655
教育研究経費 Education Research Expenses	121,858
教育研究支援経費 Education Research support Expenses	33,976
一般管理経費 General Management Expenses	72,907
施設整備費 Facility Improvement Expenses	0
合 計 Total	278,396

※科学研究費補助金及び外部資金を除く

●科学研究費助成事業及び外部資金の受入状況 Grants-in-Aid Scientific Research and Acceptance of External Funds

(千円) (¥ In thousands)

科学研究費助成事業 Grants-in-Aid for Scientific Researches	22	18,540
共同研究 Joint Research	32	26,745
受託研究 Commissioned Research	19	40,773
受託事業 Trustee Business	10	34,128
補助金 Grants	8	82,344
寄附金 Endowments	25	17,460
その他の助成金 Other Endowments	4	3,318

●土地・建物 School Grounds, Buildings and Facilities

●土地 School Grounds

令和7年4月1日現在 As of April 1, 2025

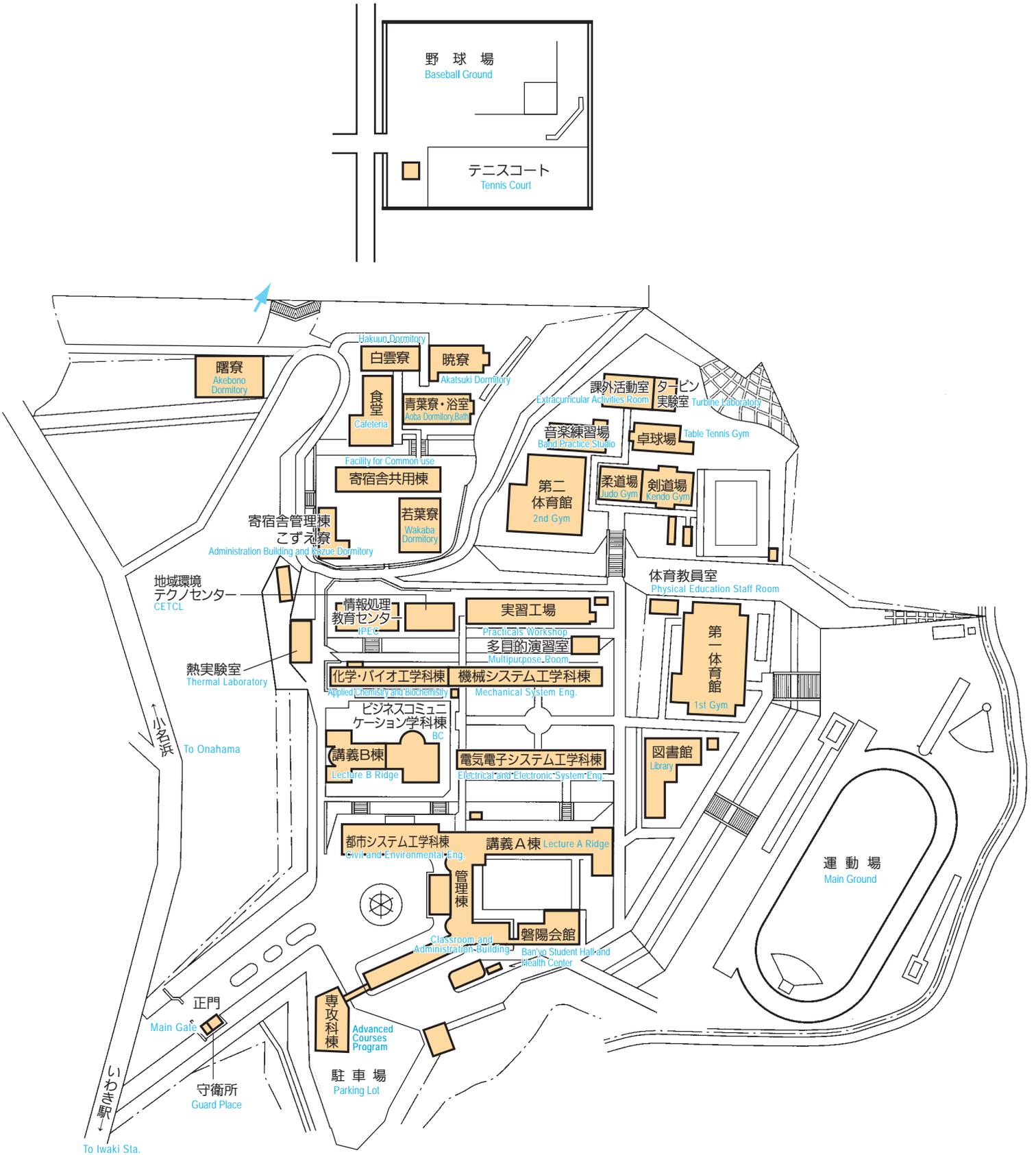
校舎・ 管理施設敷地 Building and Facility Site	屋外運動場 Area of Athletic Fields		寄宿舎敷地 Dormitory Site	その他法地、 湿地 Slope/Damp Ground	小 計 Subtotal	職員宿舍敷地 Official Residence Site	合 計 Total
	陸上競技場300Mトラック Track and Field	第二運動場、野球場、テニスコート Baseball Ground, Tennis Court					
48,096㎡	15,515㎡	18,874㎡	13,399㎡	9,725㎡	107,601㎡	3,737㎡	109,346㎡

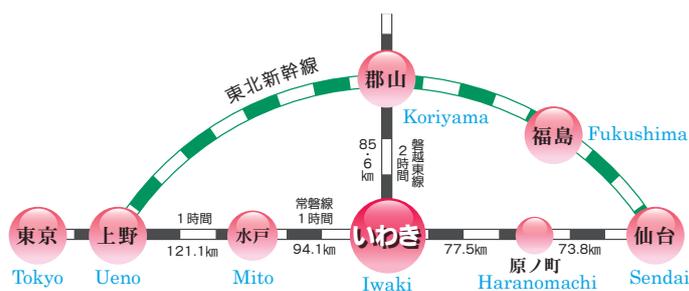
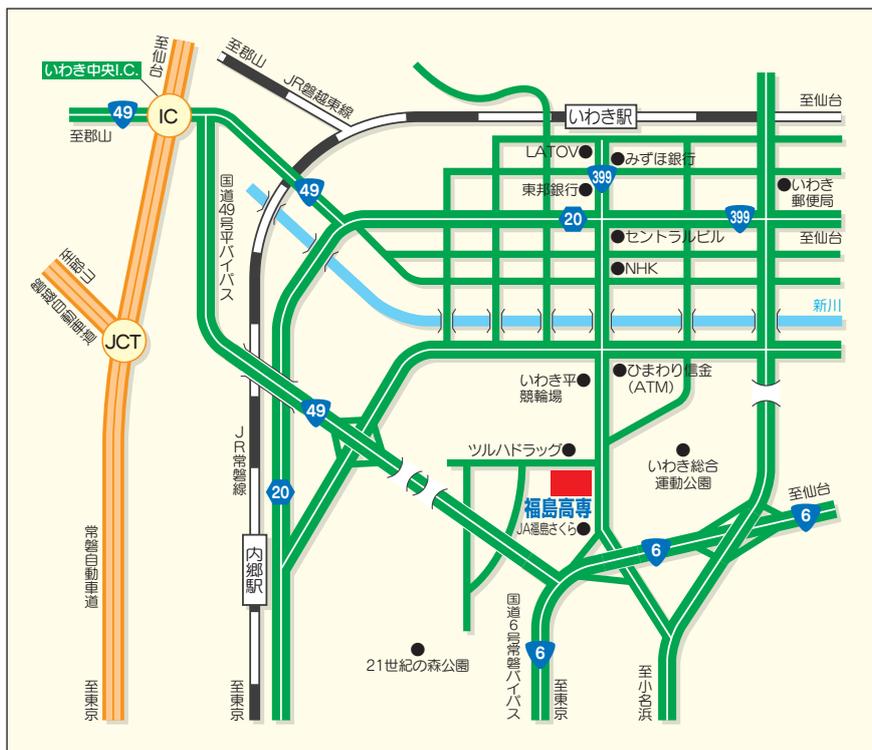
●建物 Buildings

令和7年4月1日現在 As of April 1, 2025

区 分	建物名 Building	延べ 面積㎡	区 分	建物名 Building	延べ 面積㎡	
校 舎	管理棟・講義A棟 Classroom and Administration Building-Lecture A Ridge	5,133	屋外 運動場 付属施設	体育器具庫(3棟) Warehouse	134	
	機械システム工学科棟 Department of Mechanical System Engineering	1,765		更衣室(2棟) Locker Room	82	
	電気電子システム工学科棟 Department of Electrical and Electronic System Engineering	1,736		その他 Others	56	
	講義B棟 Lecture B Ridge	1,990	小 計 Subtotal	272		
	化学・バイオ工学科棟 Department of Applied Chemistry and Biochemistry	1,472	福利厚生 施設等	磐陽会館 Ban'yo Student Hall and Health Center	698	
	都市システム工学科棟 Department of Civil and Environmental Engineering	1,734		音楽練習場 Band Practice Studio	180	
	ビジネスコミュニケーション学科棟 Department of Business Communication	1,851		課外活動室 Extracurricular Activities Room	168	
	専攻科棟 Advanced Courses Program	1,160	小 計 Subtotal	1,046		
	管理部 管理施設等	機械実習工場 Machine Practicals Workshop	636	寄宿舎	寄宿舎管理棟・こずえ寮 Administration Building and Kozue Dormitory	380
		熱実験室 Thermal Laboratory	136		若葉寮 Wakaba Dormitory	1,507
		タービン実験室 Turbine Laboratory	108		青葉寮 Aoba Dormitory	863
		情報処理教育センター Information Processing and Education Center	313		暁寮 Akatsuki Dormitory	745
		地域環境テクノセンター Center for Environmental Technology and Community Liaison	420		白雲寮 Hakuun Dormitory	1,057
		体育教員室 Physical Education Staff Room	41		食堂・浴室 Cafeteria, Bath	671
多目的演習室 Multipurpose Room		93	曙寮 Akebono Dormitory		1,510	
その他 Others		787	寄宿舎共用棟 Facility for Common use		463	
小 計 Subtotal		19,375	小 計 Subtotal		7,196	
図書館 Library		1,689	職員宿舍 Official Residence		2,270	
屋内 運動場	第一体育館 1st Gym	1,193	合 計 Total	34,883		
	第二体育館 2nd Gym	882				
	剣道場 Kendo Gym	450				
	柔道場 Judo Gym	242				
	卓球場 Table Tennis Gym	268				
	小 計 Subtotal	3,035				

建物配置図 Campus Map





- 【JRの場合】最寄りの駅はJR常磐線いわき駅です
 ※東京駅から特急ひたちで約2時間25分
 ※郡山駅から磐越東線で約2時間
 ※仙台駅から特急ひたちで約2時間10分
 ※JR常磐線いわき駅からタクシーで約5分
 ※JR常磐線いわき駅前から新常磐交通バスで約10分
 (⑥番のりば鹿島経由小名浜行き又は医療創生大経由ラパークいわき行きで高専前で下車)
- 【自動車の場合】高速道路利用
 ※常磐自動車道、磐越自動車道ともいわき中央I.C.から車で約15分

福島工業高等専門学校要覧

2025年5月発行

編集発行 福島工業高等専門学校

〒970-8034福島県いわき市上荒川字長尾30

TEL. 0246-46-0700(代表) FAX. 0246-46-0713(総務課)

URL <https://www.fukushima-nct.ac.jp>

